

## 政策 01 安全・安心な暮らしの実現

## 施策 01 地域医療体制の充実

## あるべき姿

必要な時に、必要な医療を受けられるようになっています。

## 施策の成果状況と評価

指標	市内や近隣に、必要な医療機関が整っていると感じる市民の割合 (%)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対基準値
		60.4	60.7	60.7	75	(横ばい)
評価	基準値は、初取得の平成27年度の値					対前年度 (横ばい)
	<p>(状況) 平成30年度は60.7%で、前回調査と同じで横ばいの状態です。男女での差はありませんが、30～50歳代の満足度が低く、年齢が上がるにつれ満足度は高くなっています。</p> <p>(原因) 市民のニーズが多様化する中、専門的な医療を求める声も多くなっていますが、市内・近隣では十分ではありません。あがの市民病院で救急・時間外の受け入れも行ってはいますが、常勤医師の不足等により受け入れられるケースが限られており、医療資源はまだ不足しています。</p>					目標達成度 (低)

# 基本事業の成果状況と評価

## 基本事業01 あがの市民病院の機能強化

指標	外来患者数（人）	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対 基準値
	【健康推進課】	99,561	98,949	99,499	103,000	☀️
評価	基準値は平成26年度の外来患者数					対 前年度
	<p>(状況) 平成30年度は99,499人で、平成29年度より550人(0.6%)増加し、患者数の推移としては横ばいでしたが、総合計画基準値からは10,193人増えています。</p> <p>(原因) 外科常勤医が1名減になったものの、平成30年4月から消化器病センターを設置し、消化器内科常勤医師2名が配置となったことにより内科外来患者数が増加し、外来患者総数の増加につながりました。</p>					☁️ (横ばい)
						目 標 達 成 度
						■ ■ ■ (中)

## 基本事業01 あがの市民病院の機能強化

指標	病床利用率（%）	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対 基準値
	【健康推進課】	65.2	70.2	75.8	88	☀️
評価	基準値は平成26年度の病床利用率					対 前年度
	<p>(状況) 平成30年度は75.8%で、平成29年度より5.6ポイント利用率が増加し、総合計画基準値より9.0ポイント増加しています。目標値に向けて更なる入院患者受入経路の開拓が必要な状況です。</p> <p>(原因) 介護施設からの急病者の積極的な受け入れにより、療養病床利用率が増加したためと考えられます。</p>					☀️ (向上)
						目 標 達 成 度
						■ ■ ■ (低)

## 基本事業01 あがの市民病院の機能強化

指標	救急搬送者のうち、あがの市民病院に搬送された者の割合（%）	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対 基準値
	【健康推進課】	22.6	21.2	26.8	➔	☀️
評価	基準値は平成26年度のあがの市民病院に搬送された割合					対 前年度
	<p>(状況) 平成30年度は26.8%で、平成29年度より5.6ポイント増加し、総合計画基準値からは10.5ポイント増加しています。救急搬送者のうち、あがの市民病院で受け入れた搬送者は435人(阿賀野市消防のみ)で、平成29年度より106人、32.2ポイント増加しています。</p> <p>(原因) 高齢者の救急搬送のうち、軽傷・中等症の受入者数が増加したことが主な要因です。</p>					☀️ (向上)
						目 標 達 成 度
						🏰 (達成)

## 基本事業02 各医療機関の機能分担の強化

指標	かかりつけ医を持っている市民の割合（%）	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対 基準値
	【健康推進課】	64.0	61.3	61.0	70	☁️
評価	基準値は初取得の平成27年度の値					対 前年度
	<p>(状況) 平成30年度は61.0%で、前回調査より0.3ポイント減少していますが、総合計画基準値からは2.5ポイント増加しています。市民アンケートの統計誤差の範囲と考えられ、横ばいの状態です。男女別では女性が4.2ポイント高く、年代別では40歳代までは50%未満で、50歳代58.0%、60歳代71.8%と年代が高くなるほどかかりつけ医を持っています。</p> <p>(原因) 若い年代は定期受診を必要としていない人が多く、かかりつけ医を決めていない割合が高くなる傾向があります。</p>					☁️ (横ばい)
						目 標 達 成 度
						■ ■ ■ (低)

**基本事業02 各医療機関の機能分担の強化**

指標	休日・夜間診療体制を知っている市民の割合（％）	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対 基準値
		【健康推進課】	58.0	58.6	64.3	80
評価	基準値は、初取得の平成27年度の値					対 前年度
	<p>(状況)平成30年度は64.3%となり、前回調査より5.7ポイント、総合計画基準値より8.5ポイント増加しています。                  (原因)年齢別では最も低い20歳代が53.8%で、前回に比べ17.2ポイント増加しています。「暮らしの安心ガイド」の各世帯への配付や、広報、ホームページ、子育て情報資料等でも救急・時間外の受診について周知を図っていることが浸透してきていると考えられます。</p>					☀ (向上)
						目 標 達成度
						■ ■ ■ (低)



政策 01 安全・安心な暮らしの実現

施策 02 健康づくりの推進

あるべき姿

心身の健康が保たれ、元気に生活を送っています。  
市民の自発的な健康づくりの取り組みが活発化しています。

施策の成果状況と評価

指標	健康であると感じる市民の割合（身体）（％）	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対 基準値
		【健康推進課】	89.0	88.1	86.3	→
評価	基準値は、初取得の平成27年度の値					☁️ (横ばい)
	<p>（状況）平成30年度は86.3%で、前回調査より1.8ポイント低下していますが、統計誤差の範囲であり、高い割合を維持しています。</p> <p>（原因）地域差や男女差は見られませんでした。40歳代以下では、約92.7%が健康であると答えています。50歳代を過ぎると「健康でない」と答える割合が高くなりますが、70歳以上の74%が、「健康である」と答えています。</p> <p>施策成果が横ばいの理由としては、構成する基本事業の成果指標の推移も横ばいが多くなっていることが影響しています。</p>					☁️ (横ばい)
						■ (低)

指標	健康であると感じる市民の割合（こころ）（％）	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対 基準値
		【健康推進課】	86.8	87.2	86.5	→
評価	基準値は、初取得の平成27年度の値					☁️ (横ばい)
	<p>（状況）平成30年度は86.5%で、前回調査より0.7ポイント低下していますが、統計誤差の範囲であり、高い割合を維持しています。</p> <p>（原因）地域差や男女差、職業別の差は見られませんでした。年齢別では、20代（85%）、30代（85.7%）よりも、65～69歳（89.3%）の60代前半の高齢者が「健康である」と答える割合が高くなっています。</p> <p>施策成果は横ばいではありますが、高い割合を維持しているのは、こころの健康づくりの取組の成果であると考えられます。</p>					☁️ (横ばい)
						■ (低)

指標	人口千人当たりの病気等での死亡者数（死亡率）（人）	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対 基準値
		【健康推進課】	12.4	12.6	12.8	11
評価	各年度の指標は1年前の値、基準値は平成25年度把握値					☔️ (低下)
	<p>（状況）平成29年は12.8人と、前年より0.2人増加しました。総合計画開始時点より0.9人増加し悪化しています。県平均11.3人と比較しても多い状況です。</p> <p>（原因）平成29年の死亡者数は640人で、うち病気等での死亡者数544人となっています。死因別では、1位がん、2位心疾患と老衰、4位脳卒中、5位肺炎です。男女別がん死亡者数は、男性93人、女性73人、また人口10万対がん死亡率は、県平均351.0に比べ392.7と高い状況です。高齢化により、がん、心疾患、脳卒中死亡が減少することは難しい状況ですが、当市の特定健診や胃がん検診受診率が県平均を下回っていることが原因の一つと考えられます。</p>					☔️ (低下)
						■ (低)

# 基本事業の成果状況と評価

## 基本事業01 望ましい食習慣の確立

指標	朝食の欠食者の割合（20歳代）（％）	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対 基準値
	【健康推進課】	37.1	32.3	33.8	25	☔ (低下)
評価	基準値は、初取得の平成27年度の値					対 前年度
	<p>（状況）平成30年度は33.8%で、前回調査より1.5ポイント悪化しましたが、市民アンケートの指標であり、統計誤差の範囲による横ばい状態です。男女別では、男性は33.3%で前回より8.4ポイント改善し、女性は34.1%で前回より9.4ポイント悪化しています。</p> <p>（原因）生活環境や雇用基盤の変化により不規則勤務や若い世代の夜型生活スタイル等が朝食の欠食につながる要因と考えられます。</p>					☁ (横ばい)

## 基本事業01 望ましい食習慣の確立

指標	適正な体重を維持していない市民の割合（20～60歳代男性の肥満者の割合）（％）	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対 基準値
	【健康推進課】	28.6	31.0	30.8	25	☁ (横ばい)
評価	BMI値25を超える人を「肥満者」と表現					対 前年度
	<p>（状況）平成30年度では平成29年度より0.2ポイント低下していますが、総合計画基準値より1.8ポイント増加しています。</p> <p>（原因）雇用形態の多様化などによる生活リズムの乱れからの食事時間の不規則や欠食、多忙な生活による食事バランスの乱れなどが肥満につながる原因となっています。</p>					☁ (横ばい)

## 基本事業01 望ましい食習慣の確立

指標	適正な体重を維持していない市民の割合（40～60歳代女性の肥満者の割合）（％）	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対 基準値
	【健康推進課】	22.0	22.8	21.5	18	☁ (横ばい)
評価	BMI値25を超える人を「肥満者」と表現					対 前年度
	<p>（状況）平成30年度の女性肥満者は21.5%で平成29年度より1.3ポイント低下しました。総合計画基準値と同じ数値です。</p> <p>（原因）雇用形態の多様化などによる生活リズムの乱れからの食事時間の不規則や欠食、多忙な生活による栄養バランスの乱れなどが肥満につながる原因となっています。</p>					☁ (横ばい)

## 基本事業01 望ましい食習慣の確立

指標	適正な体重を維持していない市民の割合（20歳代女性のやせの者の割合）（％）	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対 基準値
	【健康推進課】	28.3	20.0	28.2	20	☀ (向上)
評価	BMI値18.5未満の人を「やせの者」と表現					対 前年度
	<p>（状況）平成30年度の女性のやせの者は28.2%で、前回より8.2ポイント増加しました。総合計画基準値からは8.5ポイント改善しています。</p> <p>（原因）若い世代のやせ願望等の意識の変化、また生活環境や不規則・夜型生活スタイル等が要因と考えられます。</p>					☔ (低下)

**基本事業02 運動・身体活動の推進**

指標	1日30分以上の軽く汗をかく運動を週2回以上実施している市民の割合(男)(%)	実績値(H28)	実績値(H29)	実績値(H30)	目標値(R02)	対基準値
	【健康推進課】	18.2	17.0	17.1	39	(横ばい)
評価	基準値は、初取得の平成27年度の値					対前年度
	(状況)平成30年度は17.1%で、前回調査より0.1ポイント上昇し、横ばいの状況です。年代別の傾向(男女共通)としては、20歳から59歳の働き盛りの年代で10%を超えているのは40歳代のみで、59歳以下の年代は昨年と比較すると低下傾向です。60から64歳では1.5ポイント上昇して16.4%となり、65歳以上では20%以上が運動を継続しています。 (原因)「元気長生き応援事業」や「塾のコンビニ事業」等に参加する高齢者や中高年は増加し、運動を継続する人も増えていますが、働き盛りの年代の参加は少なく、運動の必要性を啓発する場も限られています。					目標達成度
						(低)

**基本事業02 運動・身体活動の推進**

指標	1日30分以上の軽く汗をかく運動を週2回以上実施している市民の割合(女)(%)	実績値(H28)	実績値(H29)	実績値(H30)	目標値(R02)	対基準値
	【健康推進課】	13.8	15.1	13.4	35	(低下)
評価	基準値は、初取得の平成27年度の値					対前年度
	(状況)平成30年度は13.4%で、前回調査より1.7ポイント低下しています。年代別の傾向(男女共通)としては、20歳から59歳の働き盛りの年代で10%を超えているのは40歳代のみで、59歳以下の年代は昨年と比較すると低下傾向です。60から64歳では1.5ポイント上昇して16.4%となり、65歳以上では20%以上が運動を継続しています。 (原因)「元気長生き応援事業」や「塾のコンビニ事業」等に参加する高齢者や中高年は増加し、運動を継続する人も増えていますが、働き盛りの年代の参加は少なく、運動の必要性を啓発する場も限られています。					目標達成度
						(低)

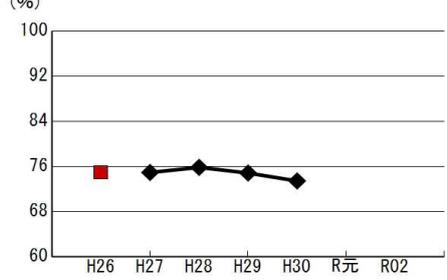
**基本事業02 運動・身体活動の推進**

指標	体操を定期的実施している市民の割合(%)	実績値(H28)	実績値(H29)	実績値(H30)	目標値(R02)	対基準値
	【健康推進課】	12.5	12.0	27.8	20	(向上)
評価	基準値は、初取得の平成27年度の値					対前年度
	(状況)平成30年度は27.8%で、前回調査より1.0ポイント上昇しています。年代別の割合では60~64歳29.5%、65~69歳42.5%、70~74歳40.2%、75~79歳35.1%の実施率で、非常に高くなっています。体操の種類は、ラジオ体操21.5%、水中運動8.6%、けんこつ体操4.7%となっています。 (原因)主に高齢者や中高年を対象として運動継続のきっかけや環境づくりを目的とした「元気長生き応援事業」や「塾のコンビニ事業」、「運動普及員事業」等により運動実施者の拡大が図られているものと思われます。					目標達成度
						(達成)

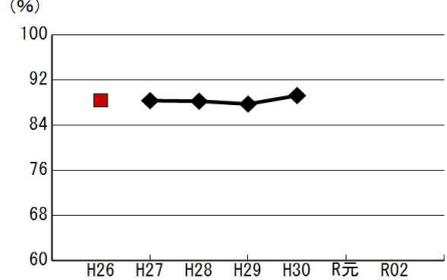
**基本事業03 禁煙と適正飲酒の推進**

指標	習慣的に喫煙している市民の割合(%)	実績値(H28)	実績値(H29)	実績値(H30)	目標値(R02)	対基準値
	【健康推進課】	19.7	18.8	16.5	14	(向上)
評価	基準値は、初取得の平成27年度の値					対前年度
	(状況)平成30年度は16.5%で前年調査から2.3ポイント低下し、習慣的にたばこを吸う人の割合が減少しています。男女別では、男性が27.5%、女性が8.2%と男性が高く、年齢別では、40~49歳が24.9%、50~59歳が23.3%と高い割合となっています。 (原因)健康増進法による受動喫煙防止の取組や、各種健診時やイベント並びに健康相談における普及啓発活動により、たばこの害の意識が徐々に浸透しているものと思われます。毎年行っている各自治会集会所の禁煙分煙の取組調査では、施設内禁煙、敷地内禁煙に取り組む自治会が年々増加しています。					目標達成度
						(中)

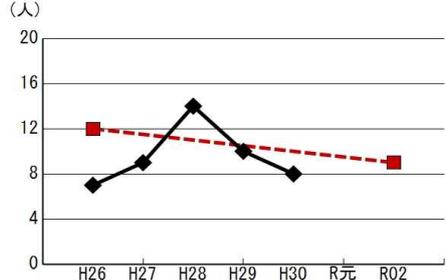
**基本事業03 禁煙と適正飲酒の推進**

指標	適正飲酒を守っている市民の割合（％）	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対 基準値
	【健康推進課】	75.8	74.8	73.4	→	
評価	基準値は、初取得の平成27年度の値					対 前年度
	<p>（状況）平成30年度は73.4%で、前回調査より1.4ポイント低下しましたが、統計誤差の範囲と思われ、横ばいの状況です。</p> <p>（原因）年代別でみると40歳代～65歳までの働き盛りに習慣的飲酒が見られます。男性が多く、女性は少なくなっています。特定健診問診表より国や県、同規模自治体と比較しても飲酒量が多い傾向です。イベントや各種健診、健康相談等で適正飲酒について普及啓発していることから市民の意識の変化には繋がっていると思われます。</p>					対 前年度
						目 標 達 成 度
						
						（低）

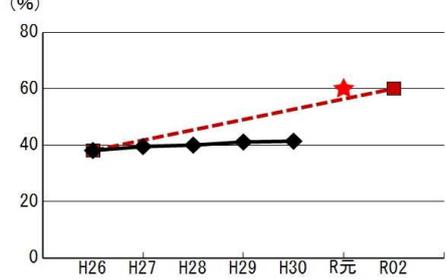
**基本事業04 こころの健康づくりの推進**

指標	悩みを相談できる人や場所を持っている市民の割合（％）	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対 基準値
	【健康推進課】	88.2	87.7	89.2	→	
評価	基準値は、初取得の平成27年度の値					対 前年度
	<p>（状況）平成30年度は89.2%で、前回調査より1.5ポイント上昇しました。</p> <p>（原因）市民アンケートからは、男性は女性より相談できる相手が少ない傾向が見られますが、相談できる人や場所を持っていないと答えた人は減少しています。年代別では30歳代、50歳代、80歳以上で相談できない方が多い傾向がみられます。「こころの健康相談」等の相談窓口をうつチェックシートとともに全戸配付や各種健診・訪問、イベントの機会に配布等行った結果、周知が広がっていると考えられます。関係機関と連携した支援にも取り組んでいます。</p>					対 前年度
						目 標 達 成 度
						
						（高）

**基本事業04 こころの健康づくりの推進**

指標	自殺者数（人）	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対 基準値
	【健康推進課】	14	10	8	9	
評価	基準値は平成24～26年度の平均値					対 前年度
	<p>（状況）平成30年は8名で、平成29年より2名減少しました。総合計画基準値の9人（平成29～31年平均）より改善しています。</p> <p>（原因）相談窓口の普及啓発や、こころの健康づくりに関する講演会の旧町村単位での開催、関係機関との密な連携によるハイリスク者の支援などが予防につながってきていると考えられます。</p>					対 前年度
						目 標 達 成 度
						
						（高）

**基本事業05 健（検）診受診率の向上**

指標	特定健診受診率（％）	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対 基準値
	【健康推進課】	40.0	41.1	41.4	60	
評価	各年度の指標は1年前の値（公表時期による）					対 前年度
	<p>（状況）平成29年度の受診率は41.4%で、平成28年度と比べて0.3ポイント上昇し、総合計画基準値との比較では3.3ポイント向上しています。</p> <p>（原因）県平均の受診率は43.8%で、阿賀野市の年齢別では40歳代前半が27.9%、40歳代後半が26.1%、50歳代前半が29.1%と低いため、40歳と50歳の対象者全員に受診勧奨訪問、45歳と55歳の未受診者に受診勧奨訪問を行っていることが受診率向上に結び付いたと考えられます。</p>					対 前年度
						目 標 達 成 度
						
						（低）

**基本事業05 健（検）診受診率の向上**

指標	特定保健指導実施率（％）	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対 基準値
	【健康推進課】	55.9	55.1	52.1	60	☀
評価	各年度の指標は1年前の値（公表時期による）	(%)				対 前年度
	（状況）平成29年度は52.1％で、対象者の半数以上に特定保健指導を実施しています。平成28年度より3ポイント低下しましたが県平均の36.2％を大きく上回っています。 （原因）訪問による夜間や休日等の個別対応を行っており、日中対応困難なケースにも対応しています。					☁ (横ばい)
						目 標 達 成 度
						■ (低)

**基本事業05 健（検）診受診率の向上**

指標	各種がん検診の受診率（69歳以下）〔肺〕（％）	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対 基準値
	【健康推進課】	43.2	44.9	45.5	50	☁
評価	各年度の指標は1年前の値（公表時期による）	(%)				対 前年度
	（状況）平成29年度の受診率は45.5％で、平成28年度との比較では0.6ポイント向上、総合計画基準値と比較で2.1ポイント向上しています。 （原因）平成29年度の県平均は35.8％となり、県平均を上回っています。対象者への個別通知、未受診者への再通知、土日健診を実施していることが受診者の向上につながっています。					☁ (横ばい)
						目 標 達 成 度
						■ (低)

**基本事業05 健（検）診受診率の向上**

指標	各種がん検診の受診率（69歳以下）〔胃〕（％）	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対 基準値
	【健康推進課】	21.2	22.1	23.3	60	☁
評価	各年度の指標は1年前の値（公表時期による）	(%)				対 前年度
	（状況）平成29年度の受診率は23.3％で平成28年度との比較では1.2ポイントの向上、総合計画基準値と比較しても3.1ポイント向上しています。 （原因）市内医療機関で定期的に胃カメラを受けている人が多いため、県平均26.3％より低い状況が続いていますが、個別通知や再通知、土日健診日を設けたり、無料クーポンの対象を拡大したことで微増につながっています。					☁ (横ばい)
						目 標 達 成 度
						■ (低)

**基本事業05 健（検）診受診率の向上**

指標	各種がん検診の受診率（69歳以下）〔大腸〕（％）	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対 基準値
	【健康推進課】	39.6	41.6	41.6	50	☁
評価	各年度の指標は1年前の値（公表時期による）	(%)				対 前年度
	（状況）平成29年度の受診率は41.6で、平成28年度と同じで、総合計画基準値と比較しても3.5ポイント向上しています。 （原因）県平均の36.3％を上回っています。平成23年度より対象者に無料クーポンを配布し、使用率は20％前後で推移しています。					☁ (横ばい)
						目 標 達 成 度
						■ (低)

**基本事業05 健（検）診受診率の向上**

指標	各種がん検診の受診率（69歳以下）〔乳〕（％）	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対 基準値
	【健康推進課】	57.4	63.2	61.2	60	☀️ (向上)
評価	各年度の指標は1年前の値（公表時期による）					対 前年度
	<p>（状況）平成29年度の受診率は61.2%で、平成28年度との比較では2ポイント低下していますが、目標の60%を上回っています。また、県平均58.7%を上回っています。</p> <p>（原因）平成21年度から対象年齢に無料クーポンを配布しており、無料クーポンの利用率が4割と高いことが成果向上に結び付いたと考えます。</p>					☁️ (横ばい)
						目 標 達 成 度
						🏰 (達成)

**基本事業05 健（検）診受診率の向上**

指標	各種がん検診の受診率（69歳以下）〔子宮〕（％）	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対 基準値
	【健康推進課】	47.0	42.4	43.6	50	☁️ (横ばい)
評価	各年度の指標は1年前の値（公表時期による）					対 前年度
	<p>（状況）平成29年度の受診率は43.6%で、平成28年度との比較では1.2ポイント向上、総合計画基準値との比較では0.3ポイント低下しています。</p> <p>（原因）平成29年度も前年度同様対象者に無料クーポンを配布していますが県平均の50.9%より低い状況です。若い世代の受診率が低いことが原因と考えます。</p>					☁️ (横ばい)
						目 標 達 成 度
						■ ■ (中)

**基本事業06 歯と口腔の健康づくりの推進**

指標	定期的に歯科医院等で歯石除去や歯面清掃を受けている市民の割合（％）	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対 基準値
	【健康推進課】	24.9	27.0	28.7	30	☀️ (向上)
評価	基準値は、初取得の平成27年度の値					対 前年度
	<p>（状況）平成30年度は28.7%で、前回調査より1.7ポイント向上し、順調に推移しています。</p> <p>（原因）平成30年度の市民アンケートで特に目立ったのは、働き盛りの40～49歳が26.7%から34.4%と7.7ポイントと高い数値で向上しており、歯と口腔の健康に対する意識が上がっています。</p>					☀️ (向上)
						目 標 達 成 度
						■ ■ (中)

**基本事業06 歯と口腔の健康づくりの推進**

指標	歯間部清掃用具（デンタルフロスや歯間ブラシ等）を使用している市民の割合（％）	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対 基準値
	【健康推進課】	36.2	38.3	40.5	35	☀️ (向上)
評価	基準値は、初取得の平成27年度の値					対 前年度
	<p>（状況）平成30年度は40.5%で、前回調査より2.2ポイント向上し、目標値35%をさらに更新しています。</p> <p>（原因）市民アンケートから、男性が2.4ポイント。女性の使用者が前年度より更に1.6ポイント増えたことが向上に繋がったと考えられます。地区別で見た場合、一番ポイントの低い安田地区も34.9%になり、総計目標値の数値はクリアしつつあるので、市民に歯間清掃用具を用いた口腔ケアが浸透していていると考えられます。</p>					☀️ (向上)
						目 標 達 成 度
						🏰 (達成)

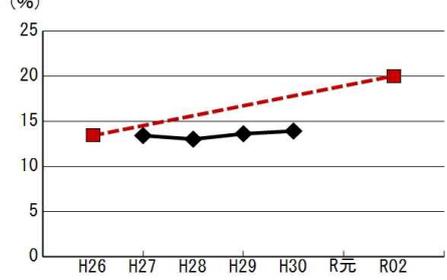
**政策 01 安全・安心な暮らしの実現**

**施策 03 生涯スポーツの充実**

**あるべき姿**

多くの市民がスポーツに親しんでいます。

**施策の成果状況と評価**

指標	週1回以上、スポーツに親しんでいる市民の割合（％）	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対基準値
		【生涯学習課】	13.0	13.6	13.9	20
評価	基準値は、初取得の平成27年度の値					 対前年度
	<p>(状況) 対前年度0.3%の伸びで、横ばいの状況ですが、2年連続微増しております。</p> <p>(原因) 平成29年も同様でしたが、65歳を境に週2回以上の実施者が増えているのは、体育施設個人利用の使用料免除施策が功を奏しているものと思われます。</p>					 (横ばい)  目標達成度  (中)

# 基本事業の成果状況と評価

## 基本事業01 生涯スポーツ施設の利用促進

指標	生涯スポーツ施設の満足度(%)	実績値(H28)	実績値(H29)	実績値(H30)	目標値(R02)	対基準値
	【生涯学習課】	78.7	77.5	74.6	85	☔ (低下)
評価	基準値は、初取得の平成27年度の値					対前年度
	(状況)平成30年度は74.6%で、対前年度2.9ポイント低下しています。 (原因)60歳未満(スポーツ現役世代)の不満度が微増しています。類似施設ばかりでスポーツ施設としての機能回復(床等)や改良が進んでいないことが想定されます。					☔ (低下)

## 基本事業01 生涯スポーツ施設の利用促進

指標	この1年間に生涯スポーツ施設を利用したことがある市民の割合(%)	実績値(H28)	実績値(H29)	実績値(H30)	目標値(R02)	対基準値
	【生涯学習課】	13.2	15.1	14.9	15	☀ (向上)
評価	基準値は、初取得の平成27年度の値					対前年度
	(状況)平成30年度は14.9%で、対前年度0.2ポイントの減少ですが、統計誤差の範囲であり目標値を達成しつつあります。 (原因)過年度までの施策が浸透しつつあると思われます。					☁ (横ばい)

## 基本事業02 スポーツに触れ合う機会の提供

指標	子どもが適度な運動をしていると感じる中学生以下の子どもを持つ保護者の割合(%)	実績値(H28)	実績値(H29)	実績値(H30)	目標値(R02)	対基準値
	【生涯学習課】	60.6	49.8	53.8	70	☁ (横ばい)
評価	授業以外で週2回以上運動しているか(基準値は平成27年)					対前年度
	(状況)平成30年度は53.8%で、対前年度4ポイント増ですが、統計誤差の範囲で横ばいです。 (原因)平成28年度が60.6%であったことからすると、平成29年度の数字が特異であったものと考えられます。ただ、平成30年度のスポーツ少年団の会員が千人を超え増えているにもかかわらず対前年度7ポイント減少していますので、継続して注視していきます。					☁ (横ばい)

## 基本事業02 スポーツに触れ合う機会の提供

指標	定期的に運動をしている中学2年生の割合(男子)(%)	実績値(H28)	実績値(H29)	実績値(H30)	目標値(R02)	対基準値
	【生涯学習課】	92.6	96.4	93.9	98.3	☁ (横ばい)
評価	定期的に運動をしている中学2年生の割合(男子)					対前年度
	(状況)平成30年度は93.9%で、対前年度2.5ポイント低下ですが、小学校時の値が92.9%であったため、統計誤差も考慮し横ばいです。 (原因)目標値に到達していませんが、文部科学省の「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」中の運動部活動に参加しない理由でスポーツは行いたくないと答えた割合が、全国19.8%に対し阿賀野市は3.7%と少なく、スポーツが好きな中学男子は多い状況です。					☁ (横ばい)

### 基本事業02 スポーツに触れ合う機会の提供

指標	定期的に運動をしている中学2年生の割合(女子)(%)	実績値(H28)	実績値(H29)	実績値(H30)	目標値(R02)	対基準値
	【生涯学習課】	76.8	84.5	72.5	87.6	☂ (低下)
評価	(状況)平成30年度は72.5%で、対前年度12ポイント低下しています。 (原因)調査対象者は小学校時の調査で79.5%低かった年代で、文科省「全国体力・運動能力・運動習慣等調査」中の運動部活動に参加したくない理由でスポーツは行いたくないと答えた割合が、全国10.6%に対し阿賀野市15.5%と高い数字を示しています。本年の学年特有である可能性があるため、注視していきます。					対前年度
						☂ (低下)
						目標達成度 ■■ (低)

### 基本事業02 スポーツに触れ合う機会の提供

指標	定期的に運動をしている小学5年生の割合(男子)(%)	実績値(H28)	実績値(H29)	実績値(H30)	目標値(R02)	対基準値
	【生涯学習課】	90.0	93.7	92	94.5	☁ (横ばい)
評価	(状況)平成30年度は92.0%で対前年度1.7ポイント低下ですが、統計誤差範囲で横ばいです。 (原因)文部科学省「全国体力・運動能力・運動習慣等調査」中の「運動スポーツをすることが好きですか。」の設問で好き(やや好き含む)と答えた割合が95.2%で3.3ポイント向上しました。					対前年度
						☁ (横ばい)
						目標達成度 ■■■ (高)

### 基本事業02 スポーツに触れ合う機会の提供

指標	定期的に運動をしている小学5年生の割合(女子)(%)	実績値(H28)	実績値(H29)	実績値(H30)	目標値(R02)	対基準値
	【生涯学習課】	85.3	88.2	72.5	91.7	☂ (低下)
評価	(状況)平成30年度は72.5%で、対前年度15.7ポイントで大幅な低下です。 (原因)文部科学省「全国体力・運動能力・運動習慣等調査」中の、「運動スポーツをすることが好きですか。」の設問で好き(やや好き含む)と答えた割合が88.0%で5.3ポイント低下しています。男子と違い過去の値から上下する幅が大きいので、それぞれの年代で違いが出ているのか注視していきます。					対前年度
						☂ (低下)
						目標達成度 ■■ (中)

### 基本事業02 スポーツに触れ合う機会の提供

指標	スポーツ講座・教室・大会の年間参加者数(人)	実績値(H28)	実績値(H29)	実績値(H30)	目標値(R02)	対基準値
	【生涯学習課】	12,270	19,255	16,293	10,100	☀ (向上)
評価	(状況)平成30年度は16,293人で目標値を大幅に超えています。 (原因)総合型クラブなどが主催する事業は増加しており、市民の参加機会が増えているものと思われます。					対前年度
						☀ (向上)
						目標達成度 ☀ (達成)



**政策 01 安全・安心な暮らしの実現**

**施策 04 地域福祉の推進**

**あるべき姿**

住民同士で相互扶助ができていると思う市民が増えています。

**施策の成果状況と評価**

指標	住民同士で相互扶助ができていると思う市民の割合（％）	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対基準値
		【社会福祉課】	66.7	68.4	66.4	100
評価	基準値は、初取得の平成27年度の値					対前年度
	<p>(状況) 平成30年度は66.4%で、昨年調査から2ポイント減少しましたが、統計誤差の範囲と考えており横ばいと評価します。目標達成には、なお相当な努力が必要です。</p> <p>(原因) 性別では男性が68.5%、女性が59.5%で9ポイントの差が生じています。地域別では笹神地区が最も高く70.2%、また、年代別では20代63.8%、30代73.8%、40代69.8%、50代60.3%、60代61.7%、70代以降が61.2%で、20代が昨年より12.8ポイントと大きく減少しました。近所で見守りが必要な方の有無が分からないと答えた割合が54.9%であるなど、近所とのかかわりの希薄化が背景にあると思われます。</p>					目標達成度
						☁ (横ばい)
						■ ■ ■ (低)

# 基本事業の成果状況と評価

## 基本事業01 地域福祉の担い手の育成

指標	阿賀野市ボランティアセンターへの登録人数(人)	実績値(H28)	実績値(H29)	実績値(H30)	目標値(R02)	対基準値
	【社会福祉課】	1,426	1,443	1,598	1,400	☀️ (向上)
評価	(状況)平成30年度は1,598人で、平成29年度より155人の増で、統計基準値との比較では635人増加し、目標値の1,400人を達成しています。 (原因)社会福祉協議会による広報誌ボランティア通信の毎月発行等により、市民の理解と関心が高まってきている影響と考察されます。					対前年度
						☀️ (向上)
						目標達成度
						🏰 (達成)

## 基本事業01 地域福祉の担い手の育成

指標	この1年間に福祉分野のボランティア活動に参加したことがある市民の割合(%)	実績値(H28)	実績値(H29)	実績値(H30)	目標値(R02)	対基準値
	【社会福祉課】	3.5	2.9	2.8	7	☁️ (横ばい)
評価	基準値は、初取得の平成27年度の値 (状況)平成30年度は2.8%で、前回調査より0.1ポイント低下しましたが、統計誤差の範囲であり、横ばいと考えます。 (原因)年代別では、福祉分野ボランティアの全体を100%とすると、20代6.1%、30代12.1%、40代9.1%、50代6.1%、60代33.3%、70代33.3%と60代、70代の年代のボランティア参加率が多い傾向にあります。					対前年度
						☁️ (横ばい)
						目標達成度
						■ (低)

## 基本事業01 地域福祉の担い手の育成

指標	社会福祉協議会によるボランティア活動活性化年間活動件数(件)	実績値(H28)	実績値(H29)	実績値(H30)	目標値(R02)	対基準値
	【社会福祉課】	27	30	31	25	☁️ (横ばい)
評価	(状況)平成30年度は31件で、平成29年度より1件増加し、総合計画基準値からも11件増加しており、目標を達成している状況です。 (原因)社会福祉協議会による市協議会としてのボランティア活動の活性化に向けた講習会・検討会の開催や、県協議会事業等の積極的な誘致により、件数が増加したものです。 また、講演会によっては保育ルームの設置や手話通訳を準備するなど、参加者が参加しやすい環境を整えていることも活動の活性化につながっているものと考察されます。					対前年度
						☁️ (横ばい)
						目標達成度
						🏰 (達成)

## 基本事業02 地域で見守り合う仕組みづくり

指標	近所で見守りが必要な人の存在を知っている市民の割合(%)	実績値(H28)	実績値(H29)	実績値(H30)	目標値(R02)	対基準値
	【社会福祉課】	46.2	46.0	45.1	54	☁️ (横ばい)
評価	基準値は、初取得の平成27年度の値 (状況)平成30年度は45.1%で、前回調査より0.9ポイント低下していますが、統計誤差の範囲であり、横ばいと考えます。 (原因)地区別では笹神地区がもっとも高く54.7%となっています。また、年代別では、最も低いのは30代で19.4%、最も高いのは70代で61.2%となっています。 統計誤差の範囲内ですが、若い年代ほど近所付き合いが少なく、必然的に見守りが必要な人がいることの把握率も低くなっているものと考察されます。					対前年度
						☁️ (横ばい)
						目標達成度
						■ (低)

**政策 01 安全・安心な暮らしの実現**

**施策 05 セーフティネットの推進**

**あるべき姿**

自立に困難を抱える人が、セーフティネットによって安心して生活を送っています。

**施策の成果状況と評価**

# 基本事業の成果状況と評価

## 基本事業01 生活困窮者自立支援の推進

指標	支援により就労した人員数（累計）（人）	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対基準値
	【社会福祉課】	23	27	31	24	☀️ (向上)
評価	基準値は平成27年度単年の実績値					対前年度
	<p>(状況) 平成30年度は4件で、前年度と同数です。                  (原因) 新規の相談件数は75件で、前年度より28件減少し2年連続の減少となりました。相談の主訴として、収入・生活費等のお金に関する相談33件、仕事探し・就職のこと9件、健康・障がいのこと6件、介護のこと5件、家族や地域のことなど内容は多種多様となっており、未就労による生活困窮の相談者に対しては、個々の状況を聞き取り4人の就労につなげることができました。</p>					☁️ (横ばい)
						目標達成度 🏰 (達成)

## 基本事業01 生活困窮者自立支援の推進

指標	問題を解決できた件数（累計）（件）	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対基準値
	【社会福祉課】	73	87	99	72	☀️ (向上)
評価	基準値は平成27年度単年の実績値					対前年度
	<p>(状況) 平成30年度は22件で、平成29年度より8件増加し、累計では99件となっており目標値72件を27件上回り目標を達成しています。                  (原因) 平成27年度からの新規事業であるため、目標値の妥当性を考慮し、引き続き指標値の向上に努めてまいります。</p>					☀️ (向上)
						目標達成度 🏰 (達成)

## 基本事業02 生活保護制度の適正な実施

指標	生活保護率（‰）	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対基準値
	【社会福祉課】	6.76	今後取得	今後取得		(比較不可)
評価	社会情勢に左右されるため、目標値は設定しません。					対前年度
	<p>(状況) 平成29年度は6.81‰で、平成28年度より0.05ポイント上がっています。平成30年度の実績は今後取得予定です。                  (原因) 新規保護世帯数が28件、就労・収入増による自立件数が8件、死亡による廃止件数が17件となっています。保護世帯は横ばいの状態で、高齢者世帯が109世帯と全体の半数近くを占め、続いて障がい者、傷病者世帯の順となっています。高齢者世帯の占める割合が高くなっている要因として、低年金、無年金で自立が困難な高齢者の申請があります。</p>					(比較不可)
						目標達成度 (---)

政策 01 安全・安心な暮らしの実現

施策 06 防災減災体制の充実

あるべき姿

安心して暮らせる環境が整備されています。

施策の成果状況と評価

指標	災害死傷者数（人）	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対基準値
		【危機管理課】	0	0	0	0
評価	(状況) 平成30年度は0人でした。 (原因) 災害に繋がる台風の直撃や大雨、地震がなかったためです。					対前年度
						☀️ (向上)
						目標達成度
						🏠 (達成)

指標	人口1万人当たりの火災発生件数(出火率)（件）	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対基準値
		【消防本部】	4.2	2.3	5.1	2.7
評価	(状況) 平成30年度は5.1件で、昨年の2.3件と比べ2.8件上昇し不調です。 (原因) 平成30年度に発生した22件の内訳は、建物14件、車両(交通事故) 4件、林野 1件、その他 3件となっています。前年度は10件で、建物 8件、その他 2件でした。建物、車両、林野、その他が増加しています。					対前年度
						☔️ (低下)
						目標達成度
						☔️ (低)

# 基本事業の成果状況と評価

## 基本事業01 防災減災意識の高揚

指標	災害に備え家庭で実践している事項数（平均）（項目）	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対基準値	
		【危機管理課】	3.53	3.52	3.51	7	(横ばい)
評価	全13項目での平均実施項目（基準値は平成27年度取得）	(項目)				(横ばい)	対前年度
	<p>（状況）平成30年度は3.51項目で、前回調査より0.01項目、0.3ポイント低下していますが、ほぼ横ばいです。ただし、目標値より3.49項目低く不調です。</p> <p>（原因）項目別で、「災害広報ダイヤルの電話番号を知っている」が3.9%で一番低く、その他7項目が10%台前半となっており、「自分の身は自分で守る」という基本原則の啓発不足が原因と考えます。</p>					目標達成度	
						(低)	

## 基本事業01 防災減災意識の高揚

指標	防災訓練参加者数（市及び自主防災組織等の訓練）（人）	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対基準値	
		【危機管理課】	1,796	1,992	1,725	1,500	(向上)
評価	（状況）平成30年度は1,725人で、前年度より267人、13.4ポイント低下しましたが、目標値には達しています。	(人)				対前年度	
	<p>（原因）市防災訓練及び自主防災組織での訓練参加者数の減少によるものです。市防災訓練では205人減少、訓練を実施した自主防災組織は31団体で、団体数が18、参加者が62人減少しています。市防災訓練実施場所及び実施自主防災組織の参加人数により増減するものですが、自主防災組織の高齢化等により、訓練実施が困難になってきたことも原因の一つと考えます。</p>					目標達成度	
						(達成)	

## 基本事業02 地域防災力の強化

指標	自主防災組織に加入している世帯の割合（％）	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対基準値	
		【危機管理課】	84.5	87.1	86.8	100	(横ばい)
評価	（状況）平成30年度は86.8%で、平成29年度から0.3ポイント低下しています。組織数は変わらず236団体ですが、新規の組織設立が無く不調です。	(％)				対前年度	
	<p>（原因）0.3ポイントの低下は、世帯数の増加によるものです。自主防災組織設立に前向きな自治会はありますが、組織役員適任者の発掘等に苦慮しています。</p>					目標達成度	
						(中)	

## 基本事業02 地域防災力の強化

指標	防災訓練を実施した自主防災組織及び自治会数（組織）	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対基準値	
		【危機管理課】	49	98	69	55	(向上)
評価	（状況）平成30年度は69組織で、前年度より29組織、29.6ポイント低下していますが、目標値には達しています。	(組織)				対前年度	
	<p>（原因）市主催防災訓練対象自治会が、前年度より11自治会減少していること。また、自主防災組織主催の防災訓練実施の啓発が弱かったことに加え、組織役員の担い手不足や高齢化による実施困難が原因と考えます。</p>					目標達成度	
						(達成)	

**基本事業02 地域防災力の強化**

指標	避難行動要支援者支援計画を策定した自主防災組織及び自治会数（組織） 【危機管理課】	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対基準値
		40	41	24	85	☀️ (向上)
評価	(状況) 平成30年度は24自治会で、前年度より17自治会、41.5ポイント低下し不調です。 (原因) 自治会長への調査結果によるものですが、計画の見直し等を行っていないため、「策定していない」と回答したものと考えられ、策定や見直しへの啓発が足りなかったものと考えられます。					対前年度
						☔️ (低下)
						目標達成度
						■ (低)

**基本事業03 消防団体制の強化**

指標	消防団員の充足率（％） 【消防本部】	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対基準値
		95.2	95.3	95.8	100	☁️ (横ばい)
評価	(状況) 平成30年度は95.8%で、平成29年度から0.5ポイント向上しましたが、横ばいの状況です。定員810人に対する欠員が34人、定員割れの部が76部中29部あり、充足率が前年比で増加した部は19部、減少した部は15部です。充足率が最大の部は140.0%、最小の部は45.5%となっています。 (原因) 各部の充足率の開きは、勧誘の仕方に違いがあることなどから生じていると思われます。					対前年度
						☁️ (横ばい)
						目標達成度
						■ (低)

**基本事業03 消防団体制の強化**

指標	消防団車両・装備の出動時トラブル・不具合件数（件） 【消防本部】	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対基準値
		5	3	7	0	☁️ (横ばい)
評価	(状況) 平成30年度は7件で、平成29年度より4件増加していますが、年間に数件発生する状況が続いています。7件の内訳は、ポンプの充電コードプラグの損傷4件、車の自損事故1件、吸管損傷2件となっています。 (原因) 毎月の点検・取扱い確認や、走行時の安全確認が図れていなかったものです。					対前年度
						☁️ (横ばい)
						目標達成度
						■ (低)

**基本事業04 災害時支援体制の確立**

指標	自治体及び事業者等との災害時応援協定締結数（組織） 【危機管理課】	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対基準値
		32	32	41	39	☀️ (向上)
評価	(状況) 平成30年度は、新規に9者と協定を締結し、合計28.1ポイント上昇の41者となり、目標値に達しています。なお、協定、覚書等の締結総数は53になっています。 (原因) 数量が必要な資機材、まだ協定を締結していない種別、県内全域が被災したことを考慮した食糧の県外企業等からの支援など、流通備蓄強化のための協定締結を行いました。					対前年度
						☀️ (向上)
						目標達成度
						🏰 (達成)

**基本事業04 災害時支援体制の確立**

指標	県の備蓄指針に対する充足率(%)	実績値(H28)	実績値(H29)	実績値(H30)	目標値(R02)	対基準値
	【危機管理課】	95.2	101.5	100	100	(横ばい)
評価	(状況)平成30年度は、県計画に基づく4項目の平均が105.4%となり、目標値に達しています。ただし、4項目のなかで不足しているものは、流通備蓄で対応することとしています。 (原因)保管場所等の関係で、現状、飲料水は流通備蓄で対応することとしています。					対前年度
						(横ばい)
						目標達成度
						(達成)

**基本事業05 耐震化の推進**

指標	指定避難所の耐震化率(%)	実績値(H28)	実績値(H29)	実績値(H30)	目標値(R02)	対基準値
	【危機管理課】	84.4	84.8	100	82.2	(向上)
評価	(状況)平成30年度に指定避難所の見直しを行い、未耐震施設を指定避難所から外しました(46施設から34施設)。この結果、目標値に達しています。 (原因)使用する避難所は災害種別毎に異なりますが、地震を想定した場合、余震等による二次災害の恐れがあることから、指定避難所から外したものです。なお、避難所の合計面積は、13,542人分(2㎡/人)で、避難率(人口×12.5%)から算出した5,362人分は確保されています。					対前年度
						(向上)
						目標達成度
						(達成)

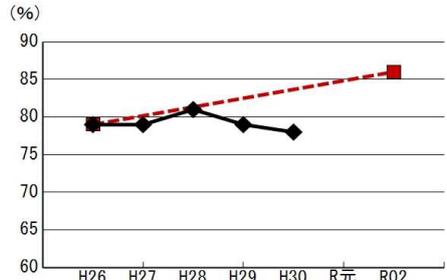
**基本事業05 耐震化の推進**

指標	木造住宅の耐震化率(%)	実績値(H28)	実績値(H29)	実績値(H30)	目標値(R02)	対基準値
	【建設課】	73.9	74.8	75.6	81	(向上)
評価	(状況)平成30年度末での耐震化率は75.6%となり、前年度と比較して0.8ポイント上昇しています。 (原因)今年度の耐震診断件数は4件であり、市民の耐震化への関心はあると感じています。また、他事業の住宅取得支援による住宅の新築や建替えも耐震化率向上の一因と思われます。					対前年度
						(向上)
						目標達成度
						(低)

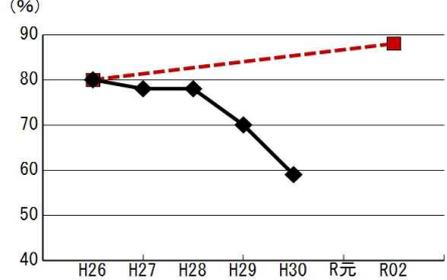
**基本事業06 治水対策の推進**

指標	床上・床下浸水以上の被害に遭った家屋数(棟)	実績値(H28)	実績値(H29)	実績値(H30)	目標値(R02)	対基準値
	【危機管理課】	0	0	0	0	(比較不可)
評価	(状況)平成30年度は0棟でした。平成27年度から0棟の状況が続いています。また、治水対策のため、国・県事業での河川改修等が行われています。 (原因)平成30年度も被害を及ぼす大規模災害がなかったためです。なお、今後も治水対策について、県へ要望してまいります。					対前年度
						(比較不可)
						目標達成度
						(達成)

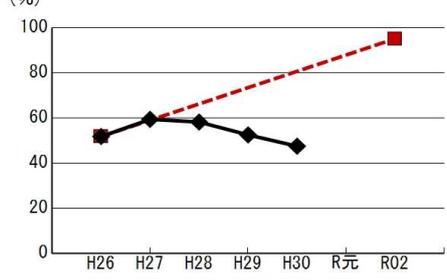
### 基本事業07 防火意識の高揚

指標	住宅用火災警報器の設置率（％）	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対 基準値
		【消防本部】	81	79	78	86
評価	<p>(状況) 平成30年度は78%で、平成29年度に比べて1ポイント減少とほぼ横ばいです。</p> <p>(原因) 平成30年度は全戸訪問調査を実施しました。住宅用火災警報器の効果や重要性をイベント、広報誌、ホームページ掲載などで広く住民への周知に力を入れていますが、誤差の範囲内と考えられます。</p>					対 前年度
			 (横ばい)	目 標 達 成 度	 (低)	

### 基本事業07 防火意識の高揚

指標	初期消火率（％）	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対 基準値
		【消防本部】	78	70	59	88
評価	<p>(状況) 平成30年は59%で、昨年より11ポイント低下しました。</p> <p>(原因) 22件のうち9件は初期消火を実施しませんでした。理由として、日中の人がない場所、深夜の時間帯、車両に消火器具がなかったことが考えられます。</p>					対 前年度
			 (低下)	目 標 達 成 度	 (低)	

### 基本事業08 応急手当の普及

指標	市民による蘇生処置実施率（％）	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対 基準値
		【消防本部】	58.1	52.4	47.4	95
	指標値は1～12月の暦年でカウント					対 前年度
評価	<p>(状況) 平成30年は47.4%で、昨年より5ポイント低下しており順調ではありません。</p> <p>(原因) 緊急時、通報者が傷病者の意識や呼吸等の情報を、正確に通信員へ伝えられず、心肺蘇生法の口頭指導に至らなかったことが原因と考えられます。</p>		 (横ばい)	目 標 達 成 度	 (低)	



政策 01 安全・安心な暮らしの実現

施策 07 防犯対策の充実

あるべき姿

犯罪のない安全なまちになっています。

施策の成果状況と評価

指標	人口1万人当たりの犯罪発生件数（件）	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対基準値
		【総務課】	38.5	37.1	48.0	46.9
評価	指標値は1～12月の暦年でカウント					☂ (低下)
	<p>(状況) 平成30年は48.0件で、平成29年より10.9件増加し、総合計画基準値と比較しても1.1件増加し、目標を達成できませんでした。</p> <p>(原因) 目標を達成できなかった原因は、犯罪種別ごとの発生件数を平成29年と比較すると、窃盗犯が30件減の145件(H29:115件)、風俗犯が増減なしの1件(H29:1件)、総数では、43件増の201件(H29:158件)であり、窃盗犯の増加によるものです。なお、最も多い窃盗犯については、侵入盗が26件増加し、万引きなどの非侵入盗は6件減少しました。</p>					☂ (低下)

# 基本事業の成果状況と評価

## 基本事業01 防犯意識の高揚

指標	自主防犯団体数（累計）（団体）	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対基準値
	【総務課】	35	34	34	41	(横ばい)
評価	(状況)平成30年度は、平成29年度と同数の34団体で、目標値に達していません。 (原因)地域によっては、高齢化などにより活動が難しくなっている状況にありますが、団体の設立に向け、粘り強く働きかけていく必要があります。					対前年度 (横ばい)
						目標達成度 (中)

## 基本事業01 防犯意識の高揚

指標	自主防犯団体の延べ活動従事者数（人）	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対基準値
	【総務課】	8,080	7,927	-	13,000	(比較不可)
評価	(状況)6月に活動状況を調査するため、現状値は未取得です。					対前年度 (比較不可)
						目標達成度 (低)

## 基本事業01 防犯意識の高揚

指標	防犯対策として実践している事項数（平均）（項目）	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対基準値
	【総務課】	3.18	3.13	3.14	7	(横ばい)
評価	全13項目での平均実施項目（基準値は平成27年度取得） (状況)市民アンケート結果では、13項目のうち平成30年度は3.14項目で、平成29年度より0.01項目増加しており、ほぼ横ばいと考えられます。 (原因)防犯対策で実践していることで最も多いのが「自宅を出る際に戸締りを確認している」で、次いで「外出するときは、家族などに行き先を伝えている」「夜間の（歩行での）外出は、なるべく控えている」の順となっています。また、年代別では、70歳代が3.73項目と最も多く、20歳代が2.80項目と最も低くなっています。					対前年度 (横ばい)
						目標達成度 (低)

## 基本事業02 防犯設備の整備充実

指標	防犯灯のLED化実施率（％）	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対基準値
	【建設課】	13	24.9	37.9	30	(向上)
評価	(状況)自治会管理及び市管理防犯灯LED化率は37.9%で、平成29年度より13ポイント増加し、目標値に達成している状況です。 (原因)自治会に対するLED防犯灯補助制度によるLED化促進が功を奏したことと、市管理防犯灯のLED交換数が当初より大幅に増加したことが要因です。					対前年度 (向上)
						目標達成度 (達成)

**基本事業03 消費者に対する防犯対策の推進**

指標	市消費者相談窓口への消費生活に係る犯罪と疑われる事案の相談件数 (件)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対 基準値
		【市民生活課】	18	35	39	
評価	本指標は成果ではなく活動推移を見るものです。					対 前年度
	(状況)平成30年度は39件で、平成29年度より4件増加、総合計画基準値より29件増加で推移しています。 (原因)39件の内訳は、架空請求が34件、ワンクリック請求が1件、不当請求4件となっています。増加の原因は、相談窓口の周知が浸透してきたことなどがあげられます。					☂ (低下)
						目 標 達成度
						■ ■ ■ (低)

**基本事業04 青少年の健全育成**

指標	少年の年間犯罪・補導件数(件)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対 基準値
		【生涯学習課】	3	14	5	➔
評価						対 前年度
	(状況)平成30年度は5件で、平成29年度と比較すると11件減少し、目標値を達している状況です。 (原因)粗暴行為などが8件減少しました。基準値を下回り、達成しておりますので、取り組みを継続します。					☀ (向上)
						目 標 達成度
						🏰 (達成)



政策 01 安全・安心な暮らしの実現

施策 08 交通安全対策の推進

あるべき姿

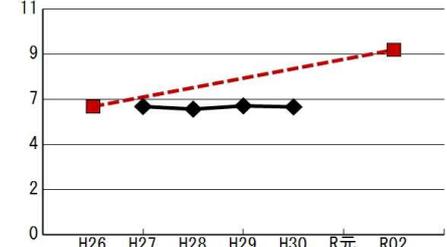
交通事故が少なくなり、死傷者数が減少しています。

施策の成果状況と評価

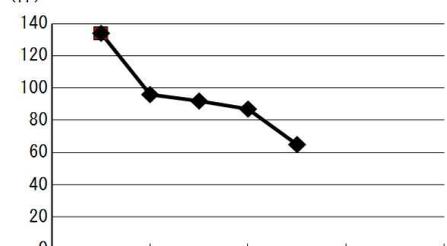
指標	人口1万人当たりの交通事故発生件数(件)	実績値(H28)	実績値(H29)	実績値(H30)	目標値(R02)	対基準値
	【総務課】	16.3	17.3	11.5	22.3	☀️ (向上)
評価	(状況)平成30年は11.5件で、平成29年と比較すると5.8件の減少に転じ、目標値に達している状況です。なお、県平均の16.9件(平成29年:19.0件)を下回り、市町村別では、30市町村中10位となっています。 (原因)発生地別の事故件数をみると、交差点事故が平成29年の46件であったのに対し、平成30年は31件と32.6%減少していることが主な要因です。しかし、交差点事故は、全事故の64.6%を占めており、引き続き交差点における安全確認を徹底する取り組みが必要です。					対前年度 ☀️ (向上) 目標達成度 🏠 (達成)
指標	交通事故負傷者数(人)	実績値(H28)	実績値(H29)	実績値(H30)	目標値(R02)	対基準値
	【総務課】	95	90	50	124	☀️ (向上)
評価	指標値は1~12月の暦年でカウント (状況)平成30年は50人で、平成29年より40人、総合計画基準値より87人減少し、目標値に達している状況です。 (原因)平成30年の高齢者の負傷者数は22人で、平成29年と比較すると4.5%減でしたが、全負傷者数に占める割合は、平成29年の26.4%から平成30年では32.1%と上昇しました。このため、引き続き高齢者の交通事故防止対策を重点的に推進していく必要があります。					対前年度 ☀️ (向上) 目標達成度 🏠 (高)
指標	交通事故死者数(人)	実績値(H28)	実績値(H29)	実績値(H30)	目標値(R02)	対基準値
	【総務課】	0	1	3	0	☔️ (低下)
評価	指標値は1~12月の暦年でカウント (状況)平成30年は、3件の交通死亡事故が発生し、死者数3人となり、目標を達成することができませんでした。 (原因)平成30年は、国道交差点で車両相互の衝突、県道交差点で自転車と乗用車が衝突、国道で歩行者と乗用車が衝突し、高齢者が死亡するという事故が発生しました。このため、引き続き高齢者の交通事故防止対策を重点的に推進していく必要があります。					対前年度 ☔️ (低下) 目標達成度 🏠 (低)

# 基本事業の成果状況と評価

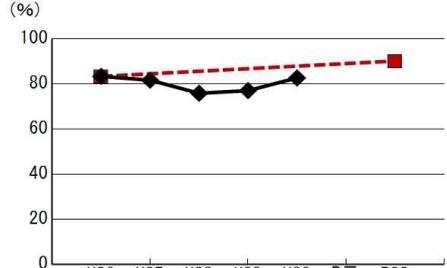
## 基本事業01 交通安全意識の高揚

指標	交通安全のため実践している事項数（平均）（項目）	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対 基準値
	【総務課】	6.11	6.27	6.22	9	
評価	全11項目での平均実施項目（基準値は平成27年度取得）	(項目)				対 前年度
	<p>（状況）平成30年度は6.22項目で、前回調査より0.05項目（0.8%）低下しました。市民アンケートにより実施項目を把握していますが、0.8%は統計誤差の範囲であり、横ばいと考えます。</p> <p>（原因）実施項目のうち、「運転席・助手席のシートベルト着用」は90%を超えていますが、「後部座席のシートベルト着用」34.2%と低く、その他に「夜間の反射材利用」など40%に届いていない項目が3項目あります。一時停止の順守（82.3%）と飲酒運転をしないさせない（75.4%）ことについてはさらに数値を上げていく必要があります。</p>					目 標 達成度  

## 基本事業01 交通安全意識の高揚

指標	市民が第1当事者となった事故件数（件）	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対 基準値
	【総務課】	92	87	65		
評価	指標値は1～12月の暦年でカウント	(件)				対 前年度
	<p>（状況）平成30年は65件で、平成29年より22件減少、総合計画基準値より69件減少しており、減少傾向となっています。しかしながら、人口1万人当たりでは15.6件で、県内30市町村における順位は17位となっています。</p> <p>（原因）高齢者が第一当事者となった人数は18人で、平成29年と比較すると2人増加し、免許保有者1万人当たりの県内30市町村における順位は27位となっています。高齢者が加害者となった事故が増加したことが要因と思われます。</p>					目 標 達成度  

## 基本事業02 交通安全施設の整備充実

指標	交通安全施設の新規整備率（平成28～32年度の整備計画）（%）	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対 基準値
	【建設課】	75.7	76.9	82.5	90	
評価		(% )				対 前年度
	<p>（状況）平成30年度までのカーブミラー（道路反射鏡）の要望箇所数は160箇所、うち新設設置した整備箇所数は132箇所で82.5%となっています。また、要望箇所数は減少（H29:8件、H30:4件）しました。</p> <p>（原因）これまでの要望箇所について対応してきたため、新規整備率が向上し、要望件数が減少したと思われます。</p>					目 標 達成度  

## 政策 02 子どもの育成支援の充実

### 施策 01 子育て環境の充実

#### あるべき姿

産む・育む等の子育て環境が整い、子どもたちがたくさん暮らすまちになっています。

#### 施策の成果状況と評価

指標	子育てしやすい環境になっていると感じる市民の割合（％） 【社会福祉課】	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対 基準値
	基準値は、初取得の平成27年度の値	71.6	68.2	65.0	80	☂ (低下)
評価	（状況）平成30年度は65.0％で、前回調査より3.2ポイント低下しており、目標値にはなお15ポイントの大きな差があります。 （原因）男女別では男性が女性より14％高く、年代別では、50歳代が69.2％と最も高くなっていますが、前年より8.6ポイント減少しています。 市民のニーズが多様化する中、公園等子どもたちが遊ぶ場所、医療機関、公共交通機関の整備不足という意見が多いため、これらが要因と考えられます。					対 前年度 ☂ (低下) 目 標 達 成 度 ■■ (低)
指標	この地域で子育てをしたいと感じる乳幼児の保護者の割合（％） 【社会福祉課】	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対 基準値
	基準値は、初取得の平成27年度の値	94.8	95.3	96.0	100	☀ (向上)
評価	（状況）平成30年度は96.0％で、平成29年度より0.7ポイント向上しています。 （原因）年齢別では3～4か月児では95.4％、1歳6か月児では96.6％、3歳児では95.9％となっています。 指標値が上がった要因として、子育て支援制度を広報でお知らせしたほか、健診時に保護者に直接説明したことにより、子ども医療費助成の対象児童拡大や子育てと就労の両立を支援するための病児保育室、子育て支援センターにここ二等、子育て支援事業が保護者に認識されてきたことが考えられます。					対 前年度 ☀ (向上) 目 標 達 成 度 ■■ (中)
指標	0～15歳未満の人口（人） 【市長政策・市民協働課】	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対 基準値
		4,939	4,839	4,699	4,775	☂ (低下)
評価	（状況）平成30年度は4,699人で、平成29年度より140人減少、総合計画基準値からは520人減少となっていて、想定よりも減少幅が大きくなっています。 （原因）平成29年度に14歳であった381人が抜け、平成30年度の0歳が240人であったことから、その差が減少の原因となっています。出生数が400人程度でなければ減少傾向が数年続く可能性が高くなっています。					対 前年度 ☂ (低下) 目 標 達 成 度 ■■ (低)
指標	合計特殊出生率（人） 【市長政策・市民協働課】	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対 基準値
		1.33	1.20	1.31	1.53	☀ (向上)
評価	（状況）平成30年度の概数値は1.31であり、平成29年度との比較では0.11ポイント増加、総合計画基準値との比較では0.15ポイント増加しています。平成30年の出生数は240人で、平成29年の231人より9人減増加、平成28年の269人より38人減少しています。 （原因）昨年に比べて出生数が微増しましたが、子どもを産む年代である15～49歳までの女性人口が減少していることが原因です。					対 前年度 ☁ (横ばい) 目 標 達 成 度 ■■ (低)

# 基本事業の成果状況と評価

## 基本事業01 未就学児・保護者の交流と不安軽減

指標	子どもを遊ばせる場所が十分にあると感じる保護者の割合(%)	実績値(H28)	実績値(H29)	実績値(H30)	目標値(R02)	対基準値
		【社会福祉課】	49.6	58.9	63.3	55.0
評価	基準値は、初取得の平成28年度の値					☀️ (向上)
	<p>(状況)平成30年度は63.3%で、平成29年度より4.4ポイント上昇し、総合計画目標を達成しました。</p> <p>(原因)3~4か月児では59.6%、1歳6か月児では70.4%、3歳児では59.9%となっており、いずれも上昇しています。外遊びができる公園を整備したことや、雨の日でも遊べる屋内施設支援センターにこにこを整備したことが増加の主な要因と考えられます。また、広報あがのでお知らせしたり、健診時に施設を紹介したことにより市民の認知度が上がったことも一因と考えられます。</p>					☀️ (向上)

## 基本事業01 未就学児・保護者の交流と不安軽減

指標	育てにくさを感じた時に対処できる保護者の割合(%)	実績値(H28)	実績値(H29)	実績値(H30)	目標値(R02)	対基準値
		【健康推進課】	71.1	77.7	70.0	90.0
評価	基準値は、初取得の平成27年度の値					☔️ (低下)
	<p>(状況)平成29年度と比較して7.7ポイント低下しています。未就学児年齢別では、4か月児で18.2ポイント、1歳6か月で5.5ポイント、3歳児で4.4ポイント低下しています。</p> <p>(原因)育てにくさを感じている親の割合は子どもの年齢とともに増加していますし、前年と比較しても増加していますが、相談先など解決方法を知っている割合は、全ての年齢で低下しました。解決方法の回答率が昨年より7.4%低下していたため、対象数が少ないうえに無回答数が多かったことが影響していると思われます。</p>					☔️ (低下)

## 基本事業01 未就学児・保護者の交流と不安軽減

指標	子どもの社会性の発達過程を知っている保護者の割合(%)	実績値(H28)	実績値(H29)	実績値(H30)	目標値(R02)	対基準値
		【健康推進課】	88.0	88.2	90.5	90.0
評価	基準値は、初取得の平成27年度の値					☀️ (向上)
	<p>(状況)基準値の平成27年度より5.2ポイント向上、平成29年度より2.3ポイント向上し総合計画目標を達成しました。年齢別では4か月児91.7%、1歳6か月児97.4%、3歳児82.7%で全ての年齢で向上しました。</p> <p>(原因)乳幼児健診や各種教室、訪問などの事業を通じて、子どもの発達の見通しを継続的に伝えてきたことが要因と考えられます。</p>					☀️ (向上)

## 基本事業02 多様な保育サービスの充実

指標	特別保育の受入れができなかった人数(人)	実績値(H28)	実績値(H29)	実績値(H30)	目標値(R02)	対基準値
		【社会福祉課】	32	15	16	20
評価	基準値は、初取得の平成27年度の値					☁️ (横ばい)
	<p>(状況)平成30年度は、16件受入れができませんでした。平成29年度より1件増加していますが、基準値より12件減少しています。内訳は、障がい児保育2件、未満児保育6件、休日保育1件、一時保育4件、病児保育3件です。</p> <p>(原因)女性の就業率が上昇したため、未満時から保育サービスを受ける保護者が増加していますが、保育サービス提供側の保育施設の努力があることも要因と考えられます。一方で、慢性的な保育士不足により、年度途中における受入れが困難になっています。また、一時保育については、園行事と重なるような場合、受入れできないことになりはなりません。</p>					☀️ (達成)

### 基本事業02 多様な保育サービスの充実

指標	この1年間に子どもを預かってもらえないことがあった保護者の割合(%)	実績値(H28)	実績値(H29)	実績値(H30)	目標値(R02)	対基準値
	【社会福祉課】	7.1	10.6	14.4	0	(低下)
評価	基準値は、初取得の平成27年度の値					対前年度
	(状況)平成30年度は14.4%で、前回調査より3.8ポイント増加しており、順調とは言えません。 (原因)約8割の保護者は親族に預けることができるものの、14.4%の方は「平日や休日の一時預かり(各保育施設やあがの子育て支援センターにここ)」などの保育サービス事業を知らないことが原因と考えられます。					目標準達成度

### 基本事業03 放課後の多様な過ごし方の提供

指標	放課後児童クラブ待機児童数(人)	実績値(H28)	実績値(H29)	実績値(H30)	目標値(R02)	対基準値
	【社会福祉課】	0	0	0	0	(向上)
評価	(状況)待機児童数は総合計画開始以降、0人を維持しており目標を達成しています。 (原因)学童保育施設は全10か所あり、定員数は454人となっており、預入れの基準を満たす方の需要に対する供給が整っているためです。					対前年度
						目標準達成度

### 基本事業03 放課後の多様な過ごし方の提供

指標	放課後の子どもの過ごし方に不満を持っていたり、困っている保護者の割合(%)	実績値(H28)	実績値(H29)	実績値(H30)	目標値(R02)	対基準値
	【社会福祉課】	44.0	40.2	35.8	25	(横ばい)
評価	基準値は、初取得の平成27年度の値					対前年度
	(状況)平成30年度は35.%で、前回調査より4.4ポイント減少しましたが、目標達成までは10.8ポイントの差があります。 (原因)不満理由として、居住地区によっては塾や公園、保育施設数に偏りがあることから、「子どもたちが安全に遊べる場所が少ない」が62.1%、「塾や習い事をする場所が遠くて、子どもだけで通えない」が56.9%となっていることが主な要因と考えます。					目標準達成度

### 基本事業03 放課後の多様な過ごし方の提供

指標	市が放課後に提供する教室・サービス利用者数(放課後児童クラブ延べ利用者数)(人)	実績値(H28)	実績値(H29)	実績値(H30)	目標値(R02)	対基準値
	【社会福祉課】	60,256	62,751	65,544	56,160	(比較不可)
評価	(状況)平成30年度は延べ65,544人の利用があり、前年度より2,793人(4.5%)増加、総合計画基準値との比較では10,199人(18.4%)増加しています。 (原因)子ども子育て支援新制度の施行により、小6までを受入れたことや、家族間でもプライベートについて気を遣う時代になり、転居等による核家族世帯が増加したこと、経済の変化により保護者の勤務形態の多様化等が増加した要因と考えられます。					対前年度
						目標準達成度

### 基本事業03 放課後の多様な過ごし方の提供

指標	市が放課後に提供する教室・サービス利用者数（放課後スクール、温故塾の年間児童・生徒数）（人） 【生涯学習課】	実績値	実績値	実績値	目標値	対基準値
		(H28)	(H29)	(H30)	(R02)	(横ばい)
評価	<p>（状況）平成30年度は前、後期に分け募集したためそれぞれ多い数字を採用し、83名の参加がありました。</p> <p>（原因）小学生を対象とした放課後スクールは週4日4会場、中学生対象の温故塾は毎土曜3会場に拡大して実施しております。</p>	73	88	83	100	(横ばい) (高)

### 基本事業04 母子の健やかな成長の支援

指標	妊婦健診未受診での出産数（人） 【健康推進課】	実績値	実績値	実績値	目標値	対基準値
		(H28)	(H29)	(H30)	(R02)	(向上)
評価	<p>（状況）妊婦健診未受診での出産数は、0人を維持しており、目標を達成しています。</p> <p>（原因）妊婦健診受診券による健診費用の公費負担などの経済的支援は未受診者対策として有効と考えます。妊娠した方が届け出ることによって受診券が交付されるため、早期の妊娠届出につながっていると考えられます。また、中高生の性教育事業を継続して行い、妊婦健診の大切さや、望まない妊娠を防ぐ内容を含む性教育も成果の向上に結びついていると考えられます。</p>	0	0	0	0	(向上) (向上) 目標達成度 (達成)

### 基本事業04 母子の健やかな成長の支援

指標	乳幼児健診平均受診率（％） 【健康推進課】	実績値	実績値	実績値	目標値	対基準値
		(H28)	(H29)	(H30)	(R02)	(横ばい)
評価	<p>（状況）平成30年度は98.5%で平成29年度より0.6ポイント向上しました。健診ごとの受診率は4か月児健診98.4%、10か月児健診95.2%、1歳6か月児健診100%、3歳児健診100%でした。</p> <p>（原因）10か月児健診の受診率が3.3%低下しましたが、その他の健診はすべて向上しました。受診率に影響を与える要因として、未熟児や先天性疾患の治療のための長期入院や病院での受診が考えられます。なお、対象者数が少ないため、未受診者が1人でもいると数値の変動は大きいです。</p>	98.5	97.9	98.5	100	(横ばい) (横ばい) 目標達成度 (低)

### 基本事業04 母子の健やかな成長の支援

指標	むし歯がない3歳児の割合（％） 【健康推進課】	実績値	実績値	実績値	目標値	対基準値
		(H28)	(H29)	(H30)	(R02)	(向上)
評価	<p>（状況）平成29年度より2.6ポイント向上し、総合計画基準値からは8.0ポイント向上して、目標値を達成しています。</p> <p>（原因）乳幼児歯科健診の保健指導などで、仕上げ磨きの重要性を理解している保護者やフッ化物の応用を継続している幼児が増加し、かかりつけ歯科医院を持つ幼児も増えていることが要因と考えられます。</p>	87.1	88.0	90.6	85.4	(向上) (向上) 目標達成度 (達成)

**基本事業05 地域子育て力の向上**

指標	近所の子どもにあいさつなど声かけを行っている市民の割合（％）	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対 基準値
	【社会福祉課】	76.9	78.2	73.9	80	☂ (低下)
評価	基準値は、初取得の平成27年度の値					対 前年度
	<p>(状況)平成30年度は73.9%で、前回調査より4.3ポイント減少し、基準値より1.2ポイント下回りました。</p> <p>(原因)年代別にみると、20歳代は35.1%で最も低く、30歳代・40歳代・70歳代は6割を超えているものの、50歳代と60歳代は6割を超えていません。</p> <p>子育て世代に限らず、地域で交通安全運動期間中や防犯活動、登下校時の安全安心見守り活動等において、子どもに声かけやあいさつを行っています。全世代において総計基準値を超えていないことが要因です。</p>					☂ (低下)
						目 標 達 成 度
						■ ■ ■ (低)

**基本事業05 地域子育て力の向上**

指標	この1年間に子育て行事に参加したことがある市民の割合（％）	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対 基準値
	【社会福祉課】	38.2	51.2	49.9	38	☀ (向上)
評価	基準値は、初取得の平成27年度の値					対 前年度
	<p>(状況)平成30年度は49.9%で、前回調査より1.3ポイント減少していますが統計誤差の範囲であり、目標を達成しています。</p> <p>(原因)子ども会行事、保育園や幼稚園行事、小中学校行事に参加したことがある市民の割合は、男性18.4%、女性32.4%で、男性より女性のほうが14%多く、年代別では、20歳代は12%と低いものの、30歳40歳の子育て世代では約7割以上が行事等に参加しています。子育て世代に限らず、60歳代以上においても、町内会行事や防犯パトロールに参加する割合が高くなっています。</p>					☀ (向上)
						目 標 達 成 度
						☀ (達成)

**基本事業06 保護者負担の軽減**

指標	3人目以降の保育料の無料化（千円）	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対 基準値
	【社会福祉課】	8,624	7,197	11,772	➔	☀ (向上)
評価	表は、軽減している保育料の合計額					対 前年度
	<p>(状況)平成30年度は対象者72人、年額11,772千円分の軽減を行い、昨年度からは4,575千円増加しています。</p> <p>(原因)対象となる2歳児の人数が増えたことや、2歳児と3歳児の保護者の収入が昨年度より高く、本来保育料が増加したことが考えられます。</p>					☀ (向上)
						目 標 達 成 度
						■ ■ ■ (高)

**基本事業06 保護者負担の軽減**

指標	子どもが2人以下の世帯への医療費の助成（千円）	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対 基準値
	【社会福祉課】	16,063	16,419		➔	(比較不可)
評価	表は、助成した医療費の合計額					対 前年度
	<p>(状況)すでに「子どもが2人以下の世帯」という要件を撤廃しているため、成果指標としての数値は現状にそぐわなく、評価は保留とします。</p>					(比較不可)
						目 標 達 成 度
						(---)

**基本事業07 結婚意識の向上**

指標	婚姻率（人口千人当たり）（％）	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対 基準値
		【市長政策・市民協働課】	3.9	3.3	3.1	4.4
評価	<p>(状況)平成30年度は3.1%、平成29年度と比較して0.2ポイント、総合計画基準値から0.5ポイント下回りました。平成30年度の婚姻数は130件で、平成29年度の142件より12件減少しました。</p> <p>(原因)結婚に対してマイナスイメージを持つ独身主義者の増加や個人の収入格差、女性の社会進出等が原因です。</p>					対 前年度
						目 標 達 成 度
						■ ■ ■ (低)

政策 02 子どもの育成支援の充実

施策 02 学校教育の充実

あるべき姿

子どもたちが魅力ある学校で楽しく学ぶことにより、生きる力が育まれています。

施策の成果状況と評価

指標	全国学力・学習状況調査結果の標準化得点（児童）（点）	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対基準値
		【学校教育課】	100	99.5	99.2	101
評価	6年生全員の結果となります。					☀️ (向上)
	(状況) 前年度より0.3点低下、総合計画基準値比では0.2点向上しています。阿賀野市の児童の学力は、ほぼ全国平均と考えられます。 (原因) 新学習指導要領の主旨を踏まえた授業改善が進んでいることが要因として考えられます。					☔️ (低下)
						目 標 達 成 度
						■ ■ ■ (低)

指標	全国学力・学習状況調査結果の標準化得点（生徒）（点）	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対基準値
		【学校教育課】	99	98	96.6	101
評価	3年生全員の結果となります。					☔️ (低下)
	(状況) 前年度より1.4点低下、総合計画基準値比1.4点低下しています。 (原因) 平成29年度中に生徒指導上落ち着かない状況があり、学習内容が十分に身につけていない学校があったことが全体の点数を引き下げていると考えられます。					☔️ (低下)
						目 標 達 成 度
						■ ■ ■ (低)

指標	学校生活が楽しいと感じる児童生徒の割合（児童）（％）	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対基準値
		【学校教育課】	91.5	86.4	95.2	95
評価	6年生全員の結果となります。					☀️ (向上)
	(状況) 前年度より8.8ポイント向上し、総合計画基準値より5.8ポイント向上しています。 (原因) 学校におけるいじめ・不登校を生まない学校づくりの取り組みが成果につながっていると考えられます。 前年度までは全国学力・学習状況調査の調査項目から引用していましたが、今年度調査項目から削除されたため、年度末の学校評価調査時に内容と対象者を同じに設定し調査を実施しました。年度末の調査であるため、年度の取組の成果が児童自身の肯定的評価につながりやすいと推測できます。					☀️ (向上)
						目 標 達 成 度
						🏰 (達成)

指標	学校生活が楽しいと感じる児童生徒の割合（生徒）（％）	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対基準値
		【学校教育課】	82.2	78.8	99.4	90
評価	3年生全員の結果となります。					☀️ (向上)
	(状況) ほぼ全員が学校生活が楽しいと感じています。 (原因) 学校におけるいじめ・不登校を生まない学校づくりが功を奏していると考えられます。 前年度までは全国学力・学習状況調査の調査項目から引用していましたが、今年度調査項目から削除されたため、年度末の学校評価調査時に内容と対象者を同じに設定し調査を実施しました。年度末の調査であるため、年度の取組の成果が生徒自身の肯定的評価につながりやすいと推測できます。					☀️ (向上)
						目 標 達 成 度
						🏰 (達成)

# 基本事業の成果状況と評価

## 基本事業01 確かな学力の向上

指標	授業が分かる児童生徒の割合（児童）（％）	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対 基準値
	【学校教育課】	86.0	88.9	87.4	85	☀ (向上)
評価	6年生全員の結果となります。					対 前年度
	（状況）前年度より1.5ポイント低下し、総合計画基準値より6.4ポイント向上しています。 （原因）前年度よりは低下していますが、目標には達しているため、授業改善の取組が成果となっていると考えられます。					☁ (横ばい)
						目 標 達成度
						■ (達成)

## 基本事業01 確かな学力の向上

指標	授業が分かる児童生徒の割合（生徒）（％）	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対 基準値
	【学校教育課】	72.8	69.5	71.1	80	☔ (低下)
評価	3年生全員の結果となります。					対 前年度
	（状況）前年度より1.6ポイント向上し、総合計画基準値より7.2ポイント低下していますが、全国平均と同程度です。 （原因）数年来取り組んでいる学力向上プログラム等の授業改善により現状を維持できていると考えられます。					☁ (横ばい)
						目 標 達成度
						■ (低)

## 基本事業01 確かな学力の向上

指標	1日1時間以上の家庭学習をしている児童生徒の割合（児童）（％）	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対 基準値
	【学校教育課】	86.1	79.3	78	85	☔ (低下)
評価	6年生全員の結果となります。					対 前年度
	（状況）前年度より1.3ポイント低下、総合計画基準値より1.7ポイント低下しています。全国平均より11.8ポイント向上しています。 （原因）家庭学習プランニングの取組や、メディア時間のコントロールへの取組等、家庭学習環境への支援が成果につながり全国平均以上の水準を維持できていると考えられます。					☁ (横ばい)
						目 標 達成度
						■ (低)

## 基本事業01 確かな学力の向上

指標	1日1時間以上の家庭学習をしている児童生徒の割合（生徒）（％）	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対 基準値
	【学校教育課】	69.3	67.4	66.7	70	☁ (横ばい)
評価	3年生全員の結果となります。					対 前年度
	（状況）前年度より0.7ポイント低下し、総合計画基準より3.5ポイント向上しています。 （原因）家庭学習プランニングの取組や、メディア時間のコントロールへの取組等、家庭学習環境への支援が成果につながっていると考えられます。					☁ (横ばい)
						目 標 達成度
						■ (中)

### 基本事業02 こころとからだの健全育成

指標	新体力テストにおける全種目の全国平均を上回る児童生徒の割合（児童）（％）	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対基準値
	【学校教育課】	71.2	67.2	60.7	70	☔ (低下)
評価	5年生全員の結果となります。					対前年度
	（状況）前年度より6.5ポイント低下し、総合計画基準値より4.5ポイント低下しています。 （原因）男女ともに体力が低下してきています。握力・長座体前屈・ソフトボール投げが良好な一方、反復横跳び・50m走・シャトルランは低迷しております。					☔ (低下)
						目標達成度 ■ ■ ■ (低)

### 基本事業02 こころとからだの健全育成

指標	新体力テストにおける全種目の全国平均を上回る児童生徒の割合（生徒）（％）	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対基準値
	【学校教育課】	51.1	57.5	50.2	60	☔ (低下)
評価	2年生全員の結果となります。					対前年度
	（状況）前年度より7.3ポイント低下し、総合計画基準値より3.5ポイント低下しています。前年度指標が大幅に向上したものの、その状況を維持できず一昨年度と同程度となりました。 （原因）放課後や休日に運動する習慣がない、体力面に自信がない生徒が増加しており、体力テストへの意欲関心の低さが数値の低下に大きく影響していると考えられます。					☔ (低下)
						目標達成度 ■ ■ ■ (低)

### 基本事業02 こころとからだの健全育成

指標	不登校率（児童）（％）	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対基準値
	【学校教育課】	0.39	0.44	0.65	0.3	☔ (低下)
評価						対前年度
	（状況）平成30年度は0.65％で、平成29年度より0.21ポイント高くなりました。総合計画基準値との比較でも0.19ポイント高く、県平均（H29 0.42％）と比べても高い状況にあります。 （原因）学校における人間関係に問題を抱えているケースが多いことから、コミュニケーション能力・社会性の育成等に関わる能力の育成や安心できる居場所づくりなどが重要と考えられます。					☔ (低下)
						目標達成度 ■ ■ ■ (低)

### 基本事業02 こころとからだの健全育成

指標	不登校率（生徒）（％）	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対基準値
	【学校教育課】	3.15	3.96	4.61	2.5	☔ (低下)
評価						対前年度
	（状況）平成30年度は4.61％で、平成29年度より0.65ポイント高くなりました。総合計画基準値との比較でも1.26ポイント高く、県平均（H29 3.04％）と比べても高い状況にあります。 （原因）学校における人間関係に問題を抱えているケースが多いことから、コミュニケーション能力・社会性の育成等に関わる能力の育成や安心できる居場所づくりや、複雑な親子関係など家庭に問題を抱えているケースも多いことから、親子関係の改善等に向けたカウンセリングや専門機関との連携が重要と考えられます。					☔ (低下)
						目標達成度 ■ ■ ■ (低)

### 基本事業02 こころとからだの健全育成

指標	基本的な生活習慣ができている児童生徒の割合（児童）（％）	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対 基準値
		【学校教育課】	91.4	91.0	88.9	90
評価	6年生全員の結果となります。					☁️ (横ばい)
	(状況) 前年度より2.1ポイント低下し、総合計画基準値と同程度となっています。 (原因) 規則的に就寝する児童が、前年度より3.5ポイント低下していることが影響していると考えられます。					☔️ (低下)
						■ ■ (中)

### 基本事業02 こころとからだの健全育成

指標	基本的な生活習慣ができている児童生徒の割合（生徒）（％）	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対 基準値
		【学校教育課】	89.3	88.2	88.9	92
評価	3年生全員の結果となります。					☁️ (横ばい)
	(状況) 前年度より0.7ポイント向上し、総合計画基準値より1.4ポイント低下しています。 (原因) 前年度並みを維持していますが、依然として規則的に就寝する生徒の割合が低下しています。					■ ■ (中)
						■ ■ (中)

### 基本事業03 教育環境の充実

指標	学校施設の維持管理上の不具合による教育支障件数（件）	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対 基準値
		【学校教育課】	1	0	0	0
評価	(状況) 平成30年度は平成29年度に引き続き0件で、目標を達成しました。 (原因) 日常の点検と修繕及び再発防止を徹底したことが考えられます。					☁️ (横ばい)

### 基本事業03 教育環境の充実

指標	学校におけるセキュリティ管理に関する事故・トラブル件数（件）	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対 基準値
		【学校教育課】	0	0	0	0
評価	(状況) 平成30年度は0件で、総合計画開始以降、0件を維持しており順調です。 (原因) 学校情報ネットワークの構築及び学校情報セキュリティポリシーに基づく運用を行ったためと考えられます。					☀️ (向上)

### 基本事業03 教育環境の充実

指標	心地よい学校生活を送るための施設・備品改善件数（計画期間内累計）（件）	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対 基準値
	【学校教育課】	5	18	20	50	☀️ (向上)
評価	平成27年度以前は単年の実績値					対 前年度
	<p>（状況）平成30年度は、20件の整備を行いました。平成29年度より2件増加しています。</p> <p>（原因）20件の内訳は、施設系が16件、教材系が4件となっています。</p>					☀️ (向上)
						目 標 達 成 度
						■ ■ ■ (中)

### 基本事業04 安全な学校生活・通学環境の確保

指標	学校管理下（通学含む）における事故発生件数（件）	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対 基準値
	【学校教育課】	213	215	305	210	☔️ (低下)
評価	<p>（状況）前年度より90件発生件数が増加しています。</p> <p>（原因）軽傷ながらも眼部や歯部のけがが引き続き増加していますが、死亡事故や後遺症の残る重大な事案は発生していません。発生件数を災害共済給付金の申請件数としていることから、申請方法の見直しをしたことで、軽微な事故でも申請に至るケースが増加し、指標値が大幅に増大したと考えられます。</p>					対 前年度
						☔️ (低下)
						目 標 達 成 度
						■ ■ ■ (低)

### 基本事業04 安全な学校生活・通学環境の確保

指標	通学環境に関する満足度（％）	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対 基準値
	【学校教育課】	89.4	-	87.8	90.0	☁️ (横ばい)
評価	基準値は、初取得の平成28年度の値					対 前年度
	<p>（状況）アンケートを実施したところ、「満足」「やや満足」の割合は、対基準値（平成28年度）から1.6ポイント低下しました。統計誤差の範囲であり、横ばい状態（現状維持）です。</p> <p>（原因）学校区が広域な地区において、「不満」「やや不満」の回答も一定数みられますが、通学路の設定や通学バスの運行方法について、前年度から大きな変更を行っていないことが要因と考えられます。</p>					☁️ (横ばい)
						目 標 達 成 度
						■ ■ ■ (高)

### 基本事業05 学校・家庭・地域の協働体制の推進

指標	地域等と連携した特色ある教育活動の支援者数（人）	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対 基準値
	【学校教育課】	2,303	1,822	1,470	2,500	☔️ (低下)
評価	<p>（状況）平成30年度は、1,470人で、平成29年度より352人減少で2年連続で減少となりました。</p> <p>（原因）前年度から減少した理由として、小中1ヶ校ずつで前年度に集計のミスがあり、そのミスを修正して今回の数値を出したため217人の減少が生じました。また、京ヶ瀬小学校で登山をとりやめたため、その学校行事に協力していた方95人も減少となったためです。</p>					対 前年度
						☔️ (低下)
						目 標 達 成 度
						■ ■ ■ (低)

### 基本事業06 経済的負担の軽減

指標	就学援助対象項目（項目）	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対 基準値
	【学校教育課】	471	490	449		☀ (向上)
評価	表とグラフは、就学援助対象人数を記載しています。	(項目)				対 前年度
	(状況)平成30年度は、449人に対し10項目(中学生は11項目)の就学援助費の支給を行いました。支給人数は前年度より41人減少しました。 (原因)前年度は、要綱を改正し、小学校就学予定者に対し新入学児童学用品費の支給を当該年度新入学児童分と合わせ、入学前に行いましたので、今年度の実減少数は20人であり(4.2ポイントの減)、卒業など自然減と新規対象数が減少したことが原因と考えられます。					目 標 達 成 度
						☀ (達成)

### 基本事業07 故郷への愛着意識の醸成

指標	阿賀野市に愛着を持っている児童生徒の割合(児童)(%)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対 基準値
	【学校教育課】	95.8	-	95.4	97.0	☁ (横ばい)
評価	基準値は、初取得の平成28年度の値	(%)				対 前年度
	(状況)一昨年度より0.4ポイント低下し、総合計画基準値より0.4ポイント低下していますが、大差でなく横ばいと言えます。 (原因)総合や生活科等の各教科、あがの子ども未来フォーラム等、地域に密着した学習活動の成果と考えられます。					目 標 達 成 度
						☁ (中)

### 基本事業07 故郷への愛着意識の醸成

指標	阿賀野市に愛着を持っている児童生徒の割合(生徒)(%)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対 基準値
	【学校教育課】	88.7	-	84.5	90.0	☔ (低下)
評価	基準値は、初取得の平成28年度の値	(%)				対 前年度
	(状況)一昨年度より4.2ポイント低下し、総合計画基準値より4.2ポイント低下しています。 (原因)あがの子ども未来フォーラムの実施等地域に密着した学習活動が成果を上げている一方、全国平均と比較すると地域の大人に勉強やスポーツを教えてもらったり一緒に遊んだりする割合が低いことから、中学生になると地域の人との接点が増え、地域への関心や意識が薄れる傾向があると推測されます。					目 標 達 成 度
						☔ (低)

### 基本事業07 故郷への愛着意識の醸成

指標	地域行事に参加している児童生徒の割合(児童)(%)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対 基準値
	【学校教育課】	85.2	83.5	78.4	90	☔ (低下)
評価		(%)				対 前年度
	(状況)前年度より5.1ポイント低下し、総合計画基準値より6.0ポイント低下しています。 (原因)地域行事の減少や縮小が影響していると考えられます。					目 標 達 成 度
						☔ (低)

**基本事業07 故郷への愛着意識の醸成**

指標	地域行事に参加している児童生徒の割合（生徒）（％）	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対 基準値
	【学校教育課】	49.9	47.1	50.5	60	☂ (低下)
評価	(状況) 前年度より3.4ポイント向上し、総合計画基準値より4.4ポイント低下しています。 (原因) 地域行事の減少や縮小が影響していると考えられます。					対 前年度
		☀ (向上)	目 標 達成度			
						■ (低)

**基本事業07 故郷への愛着意識の醸成**

指標	学校給食における地場産農産物使用率（％）	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対 基準値
	【学校教育課】	18.4	15.4	16.6	15	☀ (向上)
評価	(状況) 平成30年度は、16.6%で、平成29年度より1.2ポイント上昇しました。総合計画の基準値との比較では、9.2ポイントの向上で、前年同様に目標達成状況を維持しています。 (原因) 前年度の使用率減少結果を踏まえ、人的要因（発注不備）に伴う部分を改善しました。供給食材は、天候に依存するところもありますが、過去の実績結果に基づけば、まだまだ使用率の向上は図れるものと考えられます。					対 前年度
		☀ (向上)	目 標 達成度			
						🏰 (達成)



**政策 03 高齢者や障がい者福祉の充実**

**施策 01 高齢者福祉の充実**

**あるべき姿**

住み慣れた地域で、可能な限り自立した生活を送っています。

**施策の成果状況と評価**

指標	元気で介護状態にならずに生活している高齢者の割合 ( % )	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対基準値
		【高齢福祉課】	79.6	80.6	81.0	79.3
評価	<p>(状況) 前年度比0.4ポイント向上しました。総合計画基準値より1.7ポイント向上し、目標値を達成している状況が保たれています。</p> <p>(原因) 分母となる第1号被保険者は13,691人と前年度比188人の増となりました。一方、分子には本年度から介護予防・日常生活支援総合事業の事業対象者を加え、要介護・要支援を受けている人と合わせて2,593人となり、前年度比33人の減となりました。元気な高齢者の割合が増えています。</p>					対前年度

# 基本事業の成果状況と評価

## 基本事業01 医療介護の連携

指標	介護保険利用者における医療と介護連携の満足度（％） 【高齢福祉課】	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対 基準値
	基準値は、初取得の平成27年度の値	68.0	66.5	68.9	75	(横ばい)
評価	(状況)平成30年度は68.9%で、平成29年度より2.4ポイント増加、総合計画開始時から1.7ポイントの増加となっており、横ばい状態と考えます。 (原因)市民アンケートの結果、連携できていると答えた割合の男女差はなく、年代別では60歳台が3割以上でどの年代よりも高くなっていました。介護保険を使い始める年代であり、60歳台前半は介護する側でもあるため、この事業が介護保険サービスを必要とする年代に有効に活用されていると考えます。					対 前年度
						(横ばい)
						目 標 達 成 度
						(中)

## 基本事業02 認知症施策の推進

指標	認知症の人の在宅割合（％） 【高齢福祉課】	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対 基準値
		59.9	59.0	77.9	63	(向上)
評価	(状況)平成30年度に要介護認定を受け、認知症高齢者の日常生活自立度 a 以上の人の在宅割合は77.9%で、平成29年度より18.9ポイント増加し総合計画基準値を16.7ポイント大幅に上回っています。 (原因)介護保険法改正に伴い施設入所要件が厳しくなっている影響が大きいと思われませんが、明確な原因は不明です。					対 前年度
						(向上)
						目 標 達 成 度
						(達成)

## 基本事業02 認知症施策の推進

指標	認知症を正しく理解している市民の割合（％） 【高齢福祉課】	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対 基準値
	基準値は、初取得の平成27年度の値	72.5	71.1	70.9	75	(横ばい)
評価	(状況)平成30年度は70.9%で、前回調査より0.2ポイント、基準値より1.9ポイント減少しましたが、市民アンケートの指標であり、統計誤差の範囲であり、横ばい状態です。 (原因)市民アンケートでは親の介護が現実化する世代から認知症に対する理解は高くなる傾向にあります。認知症は世代を問わず誰でもなりうる病気であるという認識が低いことや認知症について正しく理解できていないことが原因と思われます。また、認知症関連事業への若い世代の参加者が少ないことも要因の一つと考えられます。					対 前年度
						(横ばい)
						目 標 達 成 度
						(高)

## 基本事業02 認知症施策の推進

指標	認知症の人に声をかけられる市民の割合（％） 【高齢福祉課】	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対 基準値
	基準値は、初取得の平成27年度の値	63.2	60.3	61.9	65	(横ばい)
評価	(状況)平成30年度は61.9%で、前回の調査より1.6ポイント増加、基準値よりは1.8ポイント減少しましたが、市民アンケートの指標であり、統計誤差の範囲内で横ばいの状態です。 年齢別では20～30代は49%、40～64歳が約60%、65～74歳までが約70%となっており、昨年より20～30代の若年層の割合が微増しております。 (原因)若い世代向けの認知症をテーマにしたテレビドラマや認知症高齢者が関係する事故等マスコミでも取り上げられることが多かったことが要因の一つと考えられます。					対 前年度
						(横ばい)
						目 標 達 成 度
						(高)

**基本事業03 日常生活の支援**

指標	市で実施している買物支援や家事支援等の生活支援メニュー利用者数(人) 【高齢福祉課】	実績値(H28)	実績値(H29)	実績値(H30)	目標値(R02)	対基準値
		86	90	90	100	(横ばい)
評価	(状況)平成30年度は90人で、前年度と同数になっています。そのうち要支援者は41人で、介護予防・日常生活支援総合事業の事業対象者が49人となっています。 (原因)平成29年度から、介護予防・日常生活支援総合事業に移行しており、認定を受けなくても、サービスが利用できます。単身、高齢者世帯が増加しており、生活支援ニーズも多様化しており、多様な担い手による生活支援体制整備が必要です。					対前年度
						(横ばい)
						目標達成度
						(中)

**基本事業03 日常生活の支援**

指標	ボランティア・NPO法人等が実施している買物支援や家事支援等の生活支援メニュー数(メニュー) 【高齢福祉課】	実績値(H28)	実績値(H29)	実績値(H30)	目標値(R02)	対基準値
		1	2	2	5	(横ばい)
評価	(状況)平成30年度も2メニューとなっており、横ばいとなっています。 (原因)平成30年度は、拠点の居場所を開設し、居場所から、人と人がつながり、助け合いを生み出すことを目指しております。安田地区に「ふれあい広場やすだ」が11月に開設しており、他の3地区については次年度に開設予定となっています。					対前年度
						(横ばい)
						目標達成度
						(中)

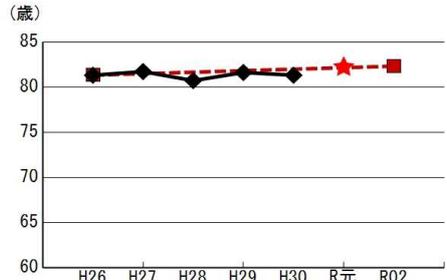
**基本事業03 日常生活の支援**

指標	外出時の移動に困っている高齢者の割合(%) 【高齢福祉課】	実績値(H28)	実績値(H29)	実績値(H30)	目標値(R02)	対基準値
		10.6	10.9	7.9	8	(横ばい)
評価	基準値は、初取得の平成27年度の値 (状況)平成30年度は7.9%と前年度に比べて3ポイント減少していますが、統計誤差の範囲であり、横ばいと考えます。75歳以上になると困っている人が増加し、地区別では、笹神地区が他の地区に比べると割合が高くなっています。 (原因)市営バスや公共交通の本数や路線、停留所までの距離が遠いためと考えられます。					対前年度
						(横ばい)
						目標達成度
						(中)

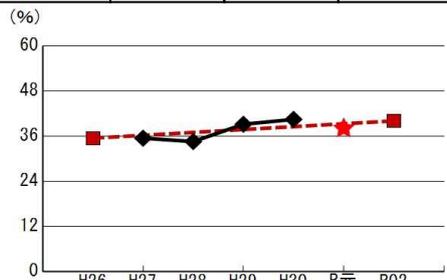
**基本事業03 日常生活の支援**

指標	買物に困っている高齢者の割合(%) 【高齢福祉課】	実績値(H28)	実績値(H29)	実績値(H30)	目標値(R02)	対基準値
		6.9	5.0	6.9	5	(横ばい)
評価	基準値は、初取得の平成27年度の値 (状況)平成30年度は6.9%と前年度に比べると1.9ポイント増加しておりますが、統計誤差の範囲であり、横ばいと考えます。 (原因)要因としては、移動手段がない、徒歩圏内に買い物をする場所がない、重い荷物を持って帰れない等が考えられます。地域のスーパーが近隣のみ配達したり、食材の配達業者、生協や農協なども食材の配達を利用している方もいます。					対前年度
						(横ばい)
						目標達成度
						(低)

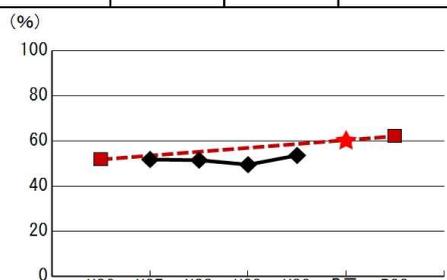
### 基本事業04 介護予防・社会参加の推進

指標	要支援認定の新規該当者の平均年齢（歳）	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対 基準値
	【高齢福祉課】	80.7	81.6	81.3	82.3	
評価	（状況）平成30年度は81.3歳で前年度と比較すると0.3歳年齢が下がっています。総合計画基準値と同数となっています。					対 前年度
	（原因）平成30年度は、利用率、悪化率も上昇しており背景には介護認定更新案内時の対応方法の変更（サービス未利用者に対し、更新希望の有無を確認する文書を郵送し申し出がない場合は再案内せず更新しない）によるものと考えられます。より支援の必要な方が更新され、今回の指標値となったと思われます。					対 前年度 
						目 標 達 成 度 
						（低）

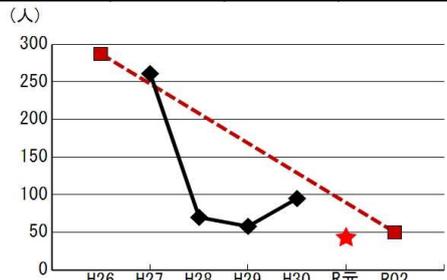
### 基本事業04 介護予防・社会参加の推進

指標	社会参加・交流している高齢者の割合(サロン、老人クラブ) (%)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対 基準値
	【高齢福祉課】	34.5	39.1	40.4	40	
評価	基準値は、初取得の平成27年度の値					対 前年度
	（状況）平成30年度は前年度に比べ40.4%と1.3ポイント増加しています。他者との交流の場としては、「就労による他者との交流」が最も高くなっています。反面、「あまり外出せず交流もしていない」の項目が5項目中もっとも高く35.6%となっています。					対 前年度 
	（原因）現在の社会情勢として高齢者の年代でもまだまだ就労されている方も多くその点での社会参加の割合が上昇していると思われます。					目 標 達 成 度 
						（高）

### 基本事業05 介護サービスの質と量の充実

指標	介護サービスの満足度 (%)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対 基準値
	【高齢福祉課】	51.4	49.4	53.5	62	
評価	基準値は、初取得の平成27年度の値					対 前年度
	（状況）平成30年度は53.5%で、前回調査より4.1ポイント増加していますが、昨年度は2ポイント減少し、一昨年と比較して2.1ポイント増加していますが、市民アンケートの指標であり、統計誤差の範囲内で、横ばい（現状維持）です。					対 前年度 
	（原因）全体で不満のポイントが改善されており、特に「介護職員等の対応」が大きく20ポイント改善されています。事業所での接遇マナー等の研修による成果が上がっています。「料金」の不満は49ポイントで、不満の中では一番高くなっていますが、国が示す介護報酬が適用されているため、改善には結びつきません。					目 標 達 成 度 
						（高）

### 基本事業05 介護サービスの質と量の充実

指標	入所待機者数(要介護度3以上) (人)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対 基準値
	【高齢福祉課】	70	58	95	50	
評価	基準値は、初取得の平成25年度の値					対 前年度
	（状況）平成29年度末には58名だった待機者が37名増加しました。					対 前年度 
	（原因）介護認定者数は昨年より大幅減っていますが、施設入所申込者となる要介護3以上の認定者は51名増加の1085名になっています。また、平成28年度の増床された定員が満床となったこと、市外の入所者が増えたことにより、入所待機者数が増えたことが考えられます。					目 標 達 成 度 
						（中）

政策 03 高齢者や障がい者福祉の充実

施策 02 障がい者福祉の充実

あるべき姿

障がい者がその障害の特性及び環境に応じて、地域で安心して自立し社会参加しています。

施策の成果状況と評価

指標	在宅で生活している障がい者の割合 (%)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対基準値
		【社会福祉課】	97.0	97.2	97.2	97.2
評価	(状況) 平成30年度は97.2%で、平成29年度と変動なく横ばいの状況です。 (原因) 障害者手帳所持者は昨年度から8人減り、2,364人となり、2,299人が在宅で生活しています。 新たな入所者が2名、退所者が2名と入所者は66名と変化がなかったことが要因と考えられます。					対前年度
						目標達成度

指標	在宅で安心して生活できていると感じる障がい者の割合 (%)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対基準値
		【社会福祉課】	77.6	81.3	82.7	85.0
評価	基準値は、初取得の平成28年度の値 (状況) 平成30年度は82.7%で、平成29年度の81.3%より1.4ポイント増え、順調です。 (原因) 身体障害者手帳所持者が85%、療育手帳所持者が83%、精神障害者保健福祉手帳所持者が66.2%と障がいの種別で差が生じています。 精神障がい者が低くなっている要因は、疾病の特性も考えられますが、社会の障がいの理解が十分でないことが要因と考えられます。					対前年度
					目標達成度	

# 基本事業の成果状況と評価

## 基本事業01 障がい者への適切な支援

指標	自立支援給付サービスの利用者数(人)	実績値(H28)	実績値(H29)	実績値(H30)	目標値(R02)	対基準値
	【社会福祉課】	8,772	9,093	9,331	10,600	☀️ (向上)
評価	(状況)平成30年度は9331人で、平成29年度より238人増加しています。 (原因)内訳は障がい児が利用するサービスは11人減、障がい者が利用するサービスは249人となっています。 障がい者の利用は増加していますが、出生数の減少により障がい児の利用者は横ばいの状況です。H29年に新たに事業所が開設し利用環境が整い利用できる回数が増えたことにより給付費は増加しています。					対前年度
						☀️ (向上)
						目標達成度 ■■■ (高)

## 基本事業01 障がい者への適切な支援

指標	障がいの特性や能力に応じて適切なサービスを受けられていると感じる障がい者の割合(%)	実績値(H28)	実績値(H29)	実績値(H30)	目標値(R02)	対基準値
	【社会福祉課】	78.4	71.3	80.6	85.0	☀️ (向上)
評価	基準値は、初取得の平成28年度の値 (状況)平成30年度は80.6%で、平成29年度より9.3ポイント上昇し順調な状況です。 (原因)身体障害者手帳所持者が82%、療育手帳所持者が85.7%、精神障害者保健福祉手帳所持者が67.3%と障がいの種別により差が生じています。精神障がい者が低い要因としては、発達障がいなど障がいの特性に応じた適切なサービスを提供できる事業所が不足していることが考えられます。また、視覚障がい者や重度の知的障がい者等が外出や余暇活動時に利用できる事業所が不足していることも要因と考えられます。					対前年度
						☀️ (向上)
						目標達成度 ■■ (中)

## 基本事業02 地域生活支援の基盤づくり

指標	住み慣れた地域で生活を送ることができていると感じる障がい者の割合(%)	実績値(H28)	実績値(H29)	実績値(H30)	目標値(R02)	対基準値
	【社会福祉課】	91.2	86.3	82.7	93.0	☔️ (低下)
評価	基準値は、初取得の平成28年度の値 (状況)平成30年度は82.7%で、平成29年度より3.6ポイント減り順調とはいえない状況です。 (原因)身体障害者手帳所持者が84.9%、療育手帳所持者が83%、精神障害者保健福祉手帳所持者が66.2%と障がいの種別により差が生じています。精神障がい者の割合が低い要因としては、市内にグループホームが不足しているため、やむを得ず市外のグループホーム等で生活しなければいけないことが考えられます。					対前年度
						☔️ (低下)
						目標達成度 ■■ (低)

## 基本事業02 地域生活支援の基盤づくり

指標	地域生活支援事業の利用者数(人)	実績値(H28)	実績値(H29)	実績値(H30)	目標値(R02)	対基準値
	【社会福祉課】	2,494	2,413	2,739	2,900	☀️ (向上)
評価	(状況)平成30年度は2,739人で、平成29年度より326人増加し成果は順調です。 (原因)地域生活支援事業は微増ですが、地域活動支援センターの利用者は296人増加しています。平成30年度から移転し施設が広くなり、他の障害福祉サービス事業所等が併設されているなど利用しやすい環境となったことが利用者の増加につながったと考えます。					対前年度
						☀️ (向上)
						目標達成度 ■■ (中)

**基本事業03 社会参加の促進**

指標	就労訓練を受けることができる障害福祉サービス事業所数（箇所）	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対基準値
		【社会福祉課】	6	6	6	6
評価	<p>（状況）平成30年度は6事業所で、昨年度と変化なく、目標の6事業所を達成しています。</p> <p>（原因）水原地区に2事業所、安田地区に2事業所、笹神地区に2事業所が就労訓練を実施しています。また、今年度は、安田地区で自立訓練（生活訓練）のサービスを新たに開始しました。就労訓練が難しい障がい者を対象とするサービスとなっています。</p>	<p>(箇所)</p>				対前年度
			(横ばい)	目標達成度	(達成)	

**基本事業03 社会参加の促進**

指標	就労訓練施設から就職し、1年以上働き続けている障がい者数（人）	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対基準値
		【社会福祉課】	10	15	18	15
評価	<p>（状況）平成30年度は18人で、平成29年度より3人増え目標の15人を3人上回りました。</p> <p>（原因）平成29年度中に就職した6人のうち5人の障がい者が離職することなく働き続けています。しかし、平成30年度は3名が離職しています。職場の人間関係が上手くいかず離職する障がい者がいるため継続的な支援が必要となります。</p>	<p>(人)</p>				対前年度
			(向上)	目標達成度	(達成)	



政策 04 地域経済の活性化

施策 01 農業の振興

あるべき姿

農産物の作付面積や生産規模が維持され、安定経営、付加価値化により農業所得が増えています。

施策の成果状況と評価

指標	農産物の作付面積 (ha)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対基準値
		【農林課】	6,125	6,131	6,108	6,090
評価	(状況) 平成30年度は6,108haで、平成29年度より23ha減少し、総合計画基準値(平成26年度)との比較では37ha減少していますが、現状は目標値の作付面積を維持しています。 (原因) 耕作条件が悪い水田は受託されておらず、減少した箇所は保全管理面積となっています(126ha)。					対前年度
						目標達成度
						(達成)

指標	市内総生産額(農業)(百万円)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対基準値
		【農林課】	3,884	3,742	5,096	5,543
評価	各指標値は2年前の値 (状況) 平成28年度市内総生産(農業)の実額は、5,096百万円でした。 (原因) 増加の原因は、本市が含まれる下越北の水稻収穫量が、平年より10a当たり43kg増加したことによるものです。(下越北作況指数108)					対前年度
						目標達成度
						(高)

# 基本事業の成果状況と評価

## 基本事業01 担い手の育成と経営規模拡大への支援

指標	1経営体当たり経営面積 (ha)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対基準値
		【農林課】	3.3	3.3	3.3	4.5
評価	(状況) 2015農林業センサスの経営体数を使っていますので、平成29年度と同値ですが、総合計画基準値との比較では0.4ha増加しています。なお、担い手(619経営体)の1経営体あたり経営面積は、6.3haとなっています。 (原因) 高齢化による離農後の農地を、他の経営体が受託したことにより、1経営体あたりの面積が増加しています。					☀ (向上)

## 基本事業01 担い手の育成と経営規模拡大への支援

指標	新規就農者数 (平成27～32年度累計) (人)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対基準値
		【農林課】	11	19	23	100
評価	基準値は平成26年度単年の実績値 (状況) 平成30年度の新規就農者数は4名で、基準値からの累計が23名となりました。ただし、目標値達成に向けては、まだまだ努力が必要です。 (原因) 平成30年度の4名は、法人への就業1名、法人以外への就農3名、形態別では離職転入1名、在宅離職が3名となっております。					☀ (向上)

## 基本事業02 経営の組織化・法人化の推進

指標	農業生産法人数 (水稻主体の法人) (法人)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対基準値
		【農林課】	17	18	20	42
評価	(状況) 平成30年度末の水稻主体法人は20法人で、平成29年度より2法人増加、総合計画基準値より6法人増加していますが、目標値達成にはまだ努力が必要です。 (原因) 平成30年度に設立された2法人は水原地区の法人で、離農者の農地を受託し、地域農業を担っていくために設立されたものです。					☀ (向上)

## 基本事業02 経営の組織化・法人化の推進

指標	市内農産物の作付面積に占める農業生産法人 (水稻主体の法人) 経営面積の割合 (%)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対基準値
		【農林課】	5.2	6.5	7.5	20
評価	(状況) 平成30年度は7.5ポイントで、平成29年度より1ポイント、総合計画基準値より3.5ポイント増加し、法人の経営面積の割合が少しずつですが大きくなっています。 (原因) 各法人の経営面積増加に加え、平成30年度に水原地区で設立した2法人の面積加算によるものです。					☀ (向上)

### 基本事業03 生産基盤の整備

指標	圃場整備率 (%)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対基準値
		【農林課】	9.5	9.5	9.8	11
評価	(状況) 平成30年度の整備率は9.8%で、昨年度から0.3ポイント増加しました。 (原因) モデル5地区のうち、中ノ通地区4haの面工事が整備済みとなったことによるものです。					☀️ (向上)
						☀️ (向上)

### 基本事業04 産地化・ブランド化の推進

指標	重点5品目の作付面積 (ha)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対基準値
		【農林課】	6	5.3	5.2	20
評価	(状況) 平成30年度は5.2haで、総合計画基準値より0.6ha増加していますが、平成28年度より0.8ha減少し、目標値達成には更なる努力が必要です。 (原因) 5品目の内訳は、いちじく0.9ha、ばれいしょ2.1ha、たまねぎ0.4ha、カリフラワー1.1ha、いちご0.7haとなっています。平成30年度での増減は、ばれいしょ0.4haの増加、たまねぎ0.3ha減少、カリフラワー0.2ha減少となっています。 減少品目は露地野菜であることから、天候に左右されること、重量野菜であること等が減少の理由です。					☔️ (低下)
						☀️ (向上)

### 基本事業04 産地化・ブランド化の推進

指標	6次産業化した経営体数 (経営体)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対基準値
		【農林課】	4	4	4	6
評価	(状況) 平成30年度行政の支援により6次産業化した経営体はありませんでしたが、総合計画基準値からは3経営体増加しています。 (原因) 新潟県6次産業化サポートセンター(農林公社内)に相談して取り組みをしている経営体があるものと思われます。					☁️ (横ばい)
						☀️ (向上)

### 基本事業05 畜産振興と耕畜連携

指標	家畜頭羽数 (頭)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対基準値
		【農林課】	3,885	3,727	5,226	3,450
評価	(状況) 平成30年度は5,226頭で、平成29年度より1,499頭増加、総合計画基準値より1,774頭増加し、目標値を大きく達成している状況です。 (原因) 乳用牛は飼養頭数が45頭増加、肉用牛が1,454頭増加しています。肉用牛の法人と繁殖農家が増加をけん引しています。しかしながら、乳用牛1戸、肉用牛1戸が高齢により廃業しています。					☀️ (向上)
						🏰 (達成)

**基本事業05 畜産振興と耕畜連携**

指標	家畜頭羽数（羽）	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対 基準値
	【農林課】	149,196	151,200	129,228	142,300	☂ (低下)
評価	(状況)平成30年度は129,228羽で、平成29年度より21,972羽減少、総合計画基準値からは13,000羽減少し、目標値を下回っている状況です。 (原因)飼育農家の増減はなく、採卵鶏が9,164羽、ブロイラーが12,508羽、ブロイラー用種鶏300羽減少したものです。					対 前年度
						☂ (低下)
						目 標 達 成 度
						■ ■ ■ (低)

**基本事業05 畜産振興と耕畜連携**

指標	たい肥散布面積（ha）	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対 基準値
	【農林課】	667	686	648	1,000	☂ (低下)
評価	(状況)平成30年度は648haで、平成29年度より38ha減少、総合計画基準値との比較では107ha減少しており、順調とは言えない状況です。 (原因)慣行栽培より減々栽培では、草刈等手間がかかる等取り組む農家が高齢化となり継続できない場合が増えています。また、稲作りの経費節減で堆肥散布を実施しない傾向があります。					対 前年度
						☂ (低下)
						目 標 達 成 度
						■ ■ ■ (低)

**基本事業06 地産地消の推進と消費者との交流促進**

指標	市内農産物の直売・店舗販売額（農産物直売所販売高）（千円）	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対 基準値
	【農林課】	139,476	149,212	125,913	500,000	☀ (向上)
評価	(状況)平成30年度は1.26億円で、平成29年度より2,300万円減少しましたが、総合計画基準値より1,300万円増加しています。 (原因)スーパー内に設置した地場産コーナーの売上が42%を占めており、農産物以外の買物の際に地場産を購入する人が多いことを示しています。					対 前年度
						☂ (低下)
						目 標 達 成 度
						■ ■ ■ (低)

**基本事業06 地産地消の推進と消費者との交流促進**

指標	年間農業体験交流者数（人）	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対 基準値
	【農林課】	2,074	2,069	4,094	13,000	☀ (向上)
評価	(状況)平成30年度は4,094人と約2,000人増加しましたが、目標達成には努力が必要です。 (原因)現状値の把握は、一農協による田植え、稲刈り、体験ツアー等の参加者数を主に計上していますが、農業体験ということで各小学校で実施している体験学習の交流者数も含めています。					対 前年度
						☀ (向上)
						目 標 達 成 度
						■ ■ ■ (低)

政策 04 地域経済の活性化

施策 02 商工業の振興

あるべき姿

工業の製造品出荷額や市内購買の増加により、にぎわいや雇用が創出され、地域経済が活性化しています。

施策の成果状況と評価

指標	製造品出荷額等（百万円）	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対 基準値
	【商工観光課】	126,335	124,686	122,170	142,574	☀️ (向上)
評価	指標値は、公表時期の関係で2年前の数値	(百万円)				対 前年度
	<p>(状況) 前年度比で2.0ポイント減少しているものの、総合計画基準値との比較では48億円(4.1ポイント)増加しており、順調に推移しています。</p> <p>(原因) 市内の事業所数はほぼ横ばいであることから、事業所数の増加でなく、景気の緩やかな回復基調のもとでの設備投資等を要因とした生産体制の拡大により、1事業所当たりの製造出荷額が増加していると考えられます。</p> <p>なお、業種別の出荷額では、食料品製造業、化学工業、電子部品・回路製造業の順となっています。</p>					☁️ (横ばい) 目 標 達 成 度 ■ ■ ■ (低)

指標	市内総生産額（第2次・第3次産業）（百万円）	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対 基準値
	【商工観光課】	143,056	140,568	145,264	150,874	☀️ (向上)
評価	指標値は、公表時期の関係で2年前の数値	(百万円)				対 前年度
	<p>(状況) 前年度比で4.0ポイント増加、総合計画基準値と比較しても152億円(11.6ポイント)増加しており、増加基調で推移しています。</p> <p>(原因) 市内の事業所数はほぼ横ばいであることから、事業所数の増加ではなく、景気の緩やかな回復基調のもとでの設備投資等を要因とした生産体制の拡大により、1事業所当たりの生産額が増加していると考えられます。</p> <p>生産額では、製造業が4割、不動産業・建設業が2割を占めています。</p>					☁️ (横ばい) 目 標 達 成 度 ■ ■ ■ (低)

# 基本事業の成果状況と評価

## 基本事業01 企業誘致の推進

指標	県東部産業団地の事業所で働いている人の数（累計）（人）	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対 基準値
	【商工観光課】	301	339	394	313	☀ (向上)
評価	(状況)平成30年度は394人で、平成29年度よりも55人増加、総合計画基準値より145人増加しており、総合計画目標値を達成しました。 (原因)平成30年度において、新たに1社が操業を開始したことや操業している事業所を有する企業の市外からの本社移転が行われたことが要因として考えられます。					対 前年度
						☀ (向上)
						目 標 達成度
						☀ (達成)

## 基本事業02 創業・事業展開の支援

指標	創業件数（平成27～32年度の累計）（件）	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対 基準値
	【商工観光課】	13	36	60	30	☀ (向上)
評価	(状況)平成30年度は24件の創業があり、総合計画期間の累計創業件数も60件であり、総合計画目標を達成しました。 (原因)市場調査や設備導入のための経費について、国・県の補助金・助成金を活用できたことが創業に結びついた一つの要因と考えられます。					対 前年度
						☀ (向上)
						目 標 達成度
						☀ (達成)

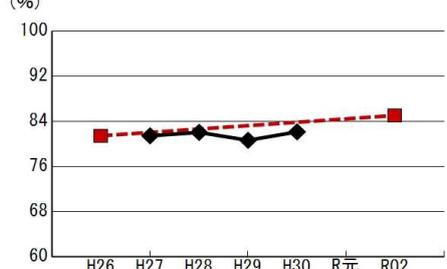
## 基本事業02 創業・事業展開の支援

指標	新規事業化支援件数（平成27～32年度の累計）（件）	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対 基準値
	【商工観光課】	47	124	187	25	☀ (向上)
評価	(状況)平成30年度は63件、平成29年度は71件、平成28年度は47件、平成27年度の支援件数6件と合わせて187件の支援を行いました。目標の支援件数は達成している状況です。 (原因)新商品開発やネット販売の取り組みに対して専門家への相談や専門業者とのマッチング支援のほか、国庫補助金獲得のためのサポートを行ったことが増加の要因です。					対 前年度
						☀ (向上)
						目 標 達成度
						☀ (達成)

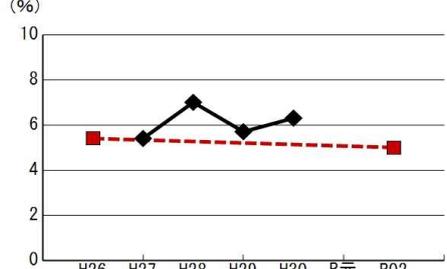
## 基本事業03 事業所の経営支援

指標	法人税割を納めている事業所数（事業所）	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対 基準値
	【商工観光課】	380	396	406	445	☀ (向上)
評価	本指標は、黒字経営の事業所数を示す指標 (状況)平成30年度は406事業所で、平成29年度より10事業所増加、総合計画基準値より29事業所増加の微増傾向にあります。 (原因)法人市民税均等割を納めている事業所数は、平成27年度は829事業所、平成28年度は842事業所、平成29年度は856事業所、平成30年度は851事業所と推移している中、法人税割を納めている事業所の割合は、平成27年度は45.2%、平成28年度は45.1%、平成29年度は46.3%、平成30年度は47.7%となっています。 市内で新規事業者が増加している一方で、高収益体質である事業所が限られていることが考えられます。					対 前年度
						☁ (横ばい)
						目 標 達成度
						■ (低)

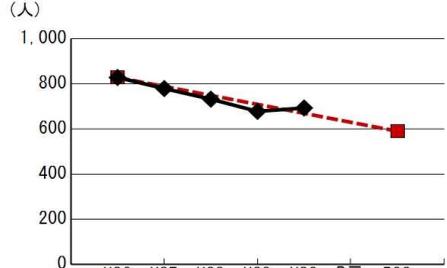
### 基本事業04 買物環境改善による市内購買力向上

指標	日用品や食料品を市内で買う市民の割合(%)	実績値(H28)	実績値(H29)	実績値(H30)	目標値(R02)	対基準値
	【商工観光課】	82.0	80.6	82.1	85	 (横ばい)
評価	基準値は、初取得の平成27年度の値					対前年度
	<p>(状況)平成30年度は82.1%で、前年比で1.5ポイント増加していますが、統計誤差の範囲と考えられ、横ばいの状況です。市内での買物促進のため、水原露店市場の平日開催日に買物支援事業を平成29年度から開始し、平成30年度は22回実施し、177名の参加がありました。</p> <p>(原因)安田地区は84.7%、水原地区は84.3%と高くなっている一方、京ヶ瀬地区では56.7%と低くなっており、新潟市と距離が近いことが要因と考えられます。全体として指標に大きな変化がないのは、商業店舗の立地状況に大きな変化はなく、市民の買物動向に影響が及んでいないためと考えられます。</p>					目標達成度
						 (低)

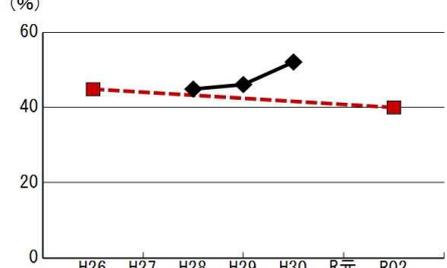
### 基本事業04 買物環境改善による市内購買力向上

指標	日用品や食料品の買物に困っている市民の割合(%)	実績値(H28)	実績値(H29)	実績値(H30)	目標値(R02)	対基準値
	【商工観光課】	7.0	5.7	6.3	5	 (低下)
評価	基準値は、初取得の平成27年度の値					対前年度
	<p>(状況)平成30年度は6.3%で、前回調査より0.6ポイント低下しています。年齢別でみると75歳以上では、12.4%の方が困っている状況です。地区別では安田地区5.4%、京ヶ瀬地区4.6%、水原地区6.4%、笹神地区7.4%となっています。</p> <p>(原因)全国的な少子高齢化社会の中で、本市においても高齢者人口が年々増加してきていることが要因と考えられます。</p>					目標達成度
						 (低)

### 基本事業05 就労の促進

指標	有効求職者数(市民)(人)	実績値(H28)	実績値(H29)	実績値(H30)	目標値(R02)	対基準値
	【商工観光課】	731	677	692	589	 (向上)
評価	基準値は、初取得の平成27年度の値					対前年度
	<p>(状況)平成30年度は692人で、平成29年度と比較し15人(2.2ポイント)増加しましたが、総合計画基準値より135人(16.3ポイント)減少しており、仕事がなく仕事を求めるという状況(求職)が解消・改善されています。</p> <p>(原因)緩やかな景気回復基調のもとで、市内の1事業所当たりの製造出荷額は増加しており、設備投資と併せた雇用の拡大が要因と考えられます。</p>					目標達成度
						 (低)

### 基本事業05 就労の促進

指標	人手が不足している市内事業所の割合(%)	実績値(H28)	実績値(H29)	実績値(H30)	目標値(R02)	対基準値
	【商工観光課】	44.9	46.1	52.1	40.0	 (低下)
評価	基準値は、初取得の平成28年度の値					対前年度
	<p>(状況)平成30年度は52.1%で前年度比で6.0%増加しています。</p> <p>(原因)平成30年度の阿賀野市内事業所の業種別の求人の状況は、建設業・福祉業、製造業が全体の7割を占めています。有効求人倍率が前年度から上昇しており、十分な人材を確保できないことが要因と考えられます。また、収益が上がらず新規に雇用できない事業所もあることが考えられます。</p>					目標達成度
						 (低)



政策 04 地域経済の活性化

施策 03 観光の振興

あるべき姿

観光客数が増え、特に、リピーターの獲得により、観光交流人口が拡大しています。

施策の成果状況と評価

指標	観光客入込数（人）	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対基準値
		【商工観光課】	1,153,736	1,077,365	1,160,464	1,400,000
評価	(状況) 平成30年は116.0万人で、平成29年より8.3万人の増加であり、総合計画基準値より2.1万人減少となりました。 (原因) 平成29年との比較で、減少人数の大きかった地点は五頭山麓うららの森が2.3万人、サントピアワールドが1.8万人、五十嵐邸ガーデン・瓢湖屋敷の杜ブルワリーが1.4、増加した地点は瓢湖水きん公園が4.9万人、新規地点の瓦テラスが2.1万人となっています。 瓢湖については前年の鳥インフルエンザの影響がなくなり、増加したものの、大型連休中の天候不順が影響して各地点で横ばいであったと考えられます。					対前年度 ☀ (向上) 目標達成度 ■ (低)
指標	宿泊施設に占めるリピーターの割合（2回以上）（%）	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対基準値
	【商工観光課】	34	41.8	41.4	→	☀ (向上)
評価	基準値は、初取得の平成28年度の値 (状況) 前年度比較で0.4%減少となりました。 (原因) 自然、温泉、食等を求める一定のリピーターがあり、五頭温泉郷は顧客満足度調査（新潟県観光地満足度調査）で常に上位となっており、既に高い水準にあります。					対前年度 ☔ (低下) 目標達成度 🏰 (達成)

## 基本事業の成果状況と評価

### 基本事業01 地域資源を生かした観光の活性化

指標	宿泊施設の連泊(2泊以上)利用者数(人)	実績値(H28)	実績値(H29)	実績値(H30)	目標値(R02)	対基準値
		【商工観光課】	6,146	5,401	5,461	→
評価	基準値は、初取得の平成28年度の値					☂ (低下)
	(状況)前年度比で60人、1.1ポイント増加しました。 (原因)各宿泊施設でのPR活動が少しずつではありますが、誘客に結びついて来ていると思われます。					☀ (向上)
						■ (中)

### 基本事業02 情報発信の強化

指標	シティーセールスサポーター数(人)	実績値(H28)	実績値(H29)	実績値(H30)	目標値(R02)	対基準値
		【商工観光課】	0	16	16	60
評価	基準値は、初取得の平成28年度の値					☂ (低下)
	(状況)平成29年度において16名が登録され、より情報発信力の高い若者を募集していますが新規登録者がありません。 (原因)具体的な活動内容の周知が不足していることが原因と考えます。					☁ (横ばい)
						■ (低)

### 基本事業02 情報発信の強化

指標	阿賀野市観光協会フェイスブックのフォロワー数(人)	実績値(H28)	実績値(H29)	実績値(H30)	目標値(R02)	対基準値
		【商工観光課】	834	968	1,006	2,400
評価	基準値は、初取得の平成28年度の値					☂ (低下)
	(状況)平成29年度より38人増加しており、少しずつではあるが増えていきます。 (原因)PR活動の不足が考えられます。					☀ (向上)
						■ (低)

### 基本事業03 観光施設の維持管理と整備充実

指標	観光施設の満足度(%)	実績値(H28)	実績値(H29)	実績値(H30)	目標値(R02)	対基準値
		【商工観光課】	86.7	90.3	86.7	90.0
評価	基準値は、初取得の平成28年度の値					☂ (低下)
	(状況)平成30年度の観光施設の満足度は、86.7%の方が「満足」「普通」と回答されています。「大変満足」「満足」と回答された方は60.2%と17.8ポイントの減となりました。 (原因)満足度が下がった大きな原因は、うらの森で食事の提供を止めたため、昨年100%から70.7%と大幅に下がり、不便・不満の声が多くあることが原因と考えられます。					☂ (低下)
						■ (中)

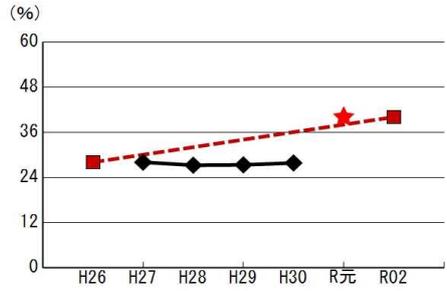
**政策 05 生活に密着した住環境整備の促進**

**施策 01 土地の有効利用**

**あるべき姿**

各地区の特性を踏まえたバランスのとれた土地の有効活用が行われています。

**施策の成果状況と評価**

指標	各地区の特性を踏まえた開発・にぎわいづくりなどバランスのとれた土地活用(整備)が行われていると感じる(%)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対基準値
		【建設課】	27.2	27.3	27.8	40
評価	基準値は、初取得の平成27年度の値					 (横ばい)
	(状況) 平成30年度は土地活用整備の満足度は27.8%で前回調査から0.6ポイント増ですが統計誤差の範囲であり、横ばいとなっています。 (原因) 空き家や空き地もあり、土地が有効利用されていると感じられないのではないかと考えられます。					 (横ばい)
						目標達成度  (低)

# 基本事業の成果状況と評価

## 基本事業01 新たな生活・交流の拠点形成

指標	拠点形成への事業化が決定した箇所数（か所）	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対基準値
	【建設課】	0	1	1	2	(横ばい)
評価	<p>(状況) 道の駅予定地への造成準備を進めています。駅前街路事業は県との協議を進めています。</p> <p>(原因) 道の駅整備では河川事務所工事で発生した良質な土砂の受け入れるため借地を行い、4月から搬入を行うこととしています。駅前街路事業は県と費用対効果について協議し、計画幅員を検討しています。</p>					対前年度 (横ばい) 目標達成度 (中)

## 基本事業02 適正な開発の促進

指標	転入者の住宅取得件数（平成28～32年度の累計）（件）	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対基準値
	【建設課】	41	71	104	150	(向上)
評価	<p>平成27年度以前は単年の実績値</p> <p>(状況) 転入者の住宅取得件数累計は前年度から33件増の104件となっています。</p> <p>(原因) 新潟市に近い京ヶ瀬地区で宅地開発が行われていることや、住宅取得の補助で、転入者への加算額を設けられていることなどが増加の一因となっていると思われます。</p>					対前年度 (向上) 目標達成度 (中)

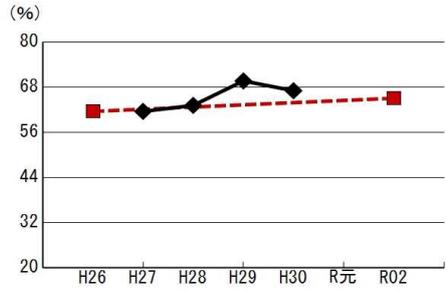
## 基本事業02 適正な開発の促進

指標	商業工業施設の開発面積（平成28～32年度の累計）（ha）	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対基準値
	【建設課】	1.5	3.2	3.8	→	(向上)
評価	<p>平成27年度以前は単年の実績値</p> <p>(状況) 平成30年度は商工業施設の開発面積が0.6ha増加し、累計で3.8haとなりました。前年度、総合計画目標値を達成しています。</p> <p>(原因) 今年度は市内業者の事業所の拡大のみで、大きな開発はありませんでした。</p>					対前年度 (向上) 目標達成度 (達成)

## 基本事業03 土地・家屋の適正利用と有効活用

指標	管理不全な空き家数（件）	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対基準値
	【建設課】	586	583	512	309	(向上)
評価	<p>(状況) 平成30年度は昨年度から71件減少した512件です。</p> <p>(原因) 指導、助言を行った成果として除却や管理が行われたものもありますが、大幅に減った要因は、平成30年度に空き家実態調査を実施したことにより調査精度が高まったことが影響しています。（精査により空き家ではないことが判明した等）</p>					対前年度 (向上) 目標達成度 (低)

**基本事業04 公園の維持管理と整備充実**

指標	憩の場としての公園の満足度(%)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対 基準値
		【公園管理事務所】	63.1	69.6	67.0	65
評価	基準値は、初取得の平成27年度の値					対 前年度
	<p>(状況)平成30年度は67.0%と統計目標値の65%は上回ったものの、前回調査より2.6ポイント下降しました。                  (原因)遊具の新設や適切な維持管理を行い魅力が向上した反面、老朽化の進む遊具を有する公園が多いことから、公園の長寿命化計画を促進し、安心してご利用いただけるよう引き続き適切な維持管理を行います。</p>					 (低下)  目 標 達成度   (中)



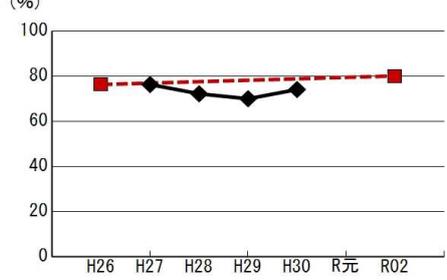
**政策 05 生活に密着した住環境整備の促進**

**施策 02 道路環境の充実**

**あるべき姿**

市内外への安全かつ円滑な移動が可能となっています。

**施策の成果状況と評価**

指標	道路の整備状況が充実していると感じる市民の割合（％）	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対基準値
		【建設課】	72.1	69.9	74.0	80
評価	基準値は、初取得の平成27年度の値					対前年度
	<p>(状況) 平成30年度は74%で、前回調査と比べ4.1ポイント増加しており、統計誤差の範囲内ですが、目標値には6.0ポイントの大きな差が認められます</p> <p>(原因) 国道49号阿賀野バイパスや関連アクセス道路は整備中で、供用するまで移動時間に変化がないことが要因と考えます。今後は、国道49号阿賀野バイパス等の開通により、市内の道路整備状況の満足度が向上すると考えられます。</p>					目標達成度
						 (横ばい)
						■■ (中)

# 基本事業の成果状況と評価

## 基本事業01 市外へのアクセス向上

指標	新潟東部産業団地から新潟亀田ICまでの移動時間(分)	実績値(H28)	実績値(H29)	実績値(H30)	目標値(R02)	対基準値
		【建設課】	31	31	31	24
評価	(状況) 平成30年度も昨年同様31分で、総合計画開始時から変化はありません。 (原因) 国道49号阿賀野バイパスは順調に整備が進んでいますが、供用するまでに移動時間に変化がないことが原因です。 令和3年度(平成33年度)の全線暫定開通に向け、平成30年度も前年比約25%増の予算が投入され、事業の進捗が図られました。					対前年度
						(横ばい)
						目標達成度
						(低)

## 基本事業02 生活道路の維持管理と整備充実

指標	市内の車での移動に対する満足度(%)	実績値(H28)	実績値(H29)	実績値(H30)	目標値(R02)	対基準値
		【建設課】 基準値は、初取得の平成27年度の値	68.5	66.5	69.5	75
評価	(状況) 平成30年度は69.5%で、前回調査と比べ3.0ポイント増加しており、統計誤差の範囲内ですが、目標値には5.5ポイントの大きな差が認められます。 (原因) 市内の移動に關しての大きな道路改良等による変化がなかったことが要因と考えます。地区別にみると笹神地区は、満足度が61.7%と低くなっています。その理由は集落が点在し、幹線道路や市街地から離れている地形特性によるものと考えます。					対前年度
						(横ばい)
						目標達成度
						(中)

## 基本事業03 効率的な除排雪の推進

指標	除排雪に満足している市民の割合(%)	実績値(H28)	実績値(H29)	実績値(H30)	目標値(R02)	対基準値
		【建設課】 基準値は、初取得の平成27年度の値	58.9	43.7	67.0	65
評価	(状況) 平成30年度は67.0%で、前回調査と比べて23.3ポイント増加しており、満足度は増加しております。 (原因) 平成30年度は、少雪により満足度へ影響があった可能性があります。また、消雪施設の計画的な更新も要因の一つと考えます。					対前年度
						(向上)
						目標達成度
						(達成)

## 基本事業04 橋りょうの長寿命化

指標	橋りょうの長寿命化率(%)	実績値(H28)	実績値(H29)	実績値(H30)	目標値(R02)	対基準値
		【建設課】	0	6.2	50	100
評価	(状況) 平成30年度現在、長寿命化対象の16橋のうち長寿命化対策が終了した橋りょうは8件で、長寿命化率は50%です。 なお、危険度「非常に危険な橋りょう」はありません。 (原因) その他の工事については順次進めていきます。					対前年度
						(向上)
						目標達成度
						(中)

**政策 05 生活に密着した住環境整備の促進**

**施策 03 公共交通の充実**

**あるべき姿**

公共交通が充実し、市民生活における移動の利便性が向上しています。

**施策の成果状況と評価**

指標	公共交通機関の満足度 (%)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対基準値
		【総務課】	55.3	53.9	44.9	65
評価	基準値は、初取得の平成27年度の値					☂ (低下)
	<p>(状況) 平成30年度は44.9%で、前回調査より9.0ポイント低下しています。</p> <p>(原因) 満足度が依然として低く推移しているのは、市営バスを除く公共交通機関は前年度と変化がなく、鉄道、路線バスの運行時刻、運行頻度など利用者ニーズと現状の差異が解消していないことが要因と思われます。不便さの解消には鉄道の増便が上位を占めており、主に20～64歳までの世代が多い状況です。市内移動では、20～59歳まで不満を感じており、特に20～29歳までの世代の満足度が低い状況です。</p>					☂ (低下)
						目標達成度
						☐ (低)

# 基本事業の成果状況と評価

## 基本事業01 市内の交通手段の確保

指標	市営バスの年間総利用者数（人）	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対基準値
	【総務課】	108,765	102,345	96,986	→	☔ (低下)
評価	(状況) 平成30年度は9.7万人で、前年度と比較すると5,359人減少（5.2%）し、総合計画基準値との比較では17,170人減少（15.0%）となり、順調とはいえません。 (原因) 路線別では、前山線で21.9%減、折居大日線で12.2%減、駒林線で12.1%減と大きく落ち込んでいます。全体としては、経費面等の制約により利用者ニーズに十分対応しきれていないことと人口減少に伴う自然減も影響していると考えられます。また、デマンド交通の実証運行を実施している5路線はいずれも前年比で減少しています。事前予約を必要とするため、利用者にとって抵抗感があることが要因と捉えています。					対前年度
						☔ (低下)
						目標達成度
						■ (低)

## 基本事業01 市内の交通手段の確保

指標	市内移動の公共交通機関の満足度（%）	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対基準値
	【総務課】	65.9	62.9	47.4	70	☔ (低下)
評価	基準値は、初取得の平成27年度の値 (状況) 平成30年度は47.4%で、前回調査より15.5ポイント低下しています。 (原因) 昨年と比較すると年齢別では20～59歳で平均12.9%、70～79歳で平均5.2%満足度低くなり、地区別では水原地区、安田地区で満足度が低くなっています。満足度が低下した要因としては、状況が前年度と大きく変わっておらず、路線や運行時刻、運行頻度など利用者ニーズと現状に差異があり、それが縮小していないことと思われまます。また、高齢者の満足度の低下は、一部路線で試験運行したデマンド交通の事前予約制に抵抗感があることが要因と考えられます。					対前年度
						☔ (低下)
						目標達成度
						■ (低)

## 基本事業02 市外への交通手段の確保

指標	市外移動の公共交通機関の満足度（%）	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対基準値
	【総務課】	44.6	44.9	41.9	60	☁ (横ばい)
評価	基準値は、初取得の平成27年度の値 (状況) 平成30年度は41.9%で、前回調査より3.0ポイント低下しています。 (原因) 年齢別では60～69歳、地区別では安田地区の満足度が低くなっています。 新潟方面へのアクセス改善ニーズが高いですが、地区ごとに経路やアクセスポイント、交通手段（電車、バス等）が異なっていることが特徴となっており、新潟方面へのアクセスが改善されていないなど、状況が前年度と大きく変わっていないことが横ばいの要因です。					対前年度
						☁ (横ばい)
						目標達成度
						■ (低)

## 基本事業02 市外への交通手段の確保

指標	水原駅の1日平均乗者数（人）	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対基準値
	【総務課】	809	805	787	→	☔ (低下)
評価	(状況) 直近公表数値（平成29年度乗車人員）は787人で、前年度指標値より18人減少、総合計画基準値との比較では28人減であり、低下しました。 (原因) 羽越本線の1日あたり運行本数に変化がないこと、市外高校へ通学する生徒数が平成29年度から4.6%減少していることが要因です。また、利用者の多い通勤・通学時間帯において、水原駅における接続を考慮し、JRダイヤに合わせて市営バスのダイヤを設定し、利便性を確保してきましたが、前年度以上の利用者確保までには至りませんでした。					対前年度
						☔ (低下)
						目標達成度
						■ (低)

政策 05 生活に密着した住環境整備の促進

施策 04 上水道の安定供給

あるべき姿

安全な水道水が安定的に供給されています。

施策の成果状況と評価

指標	安全・安心な水道水が供給されていると感じる市民の割合（％） 【（上水道）】	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対 基準値
	評価	<p>（状況）平成30年度は97.4%で、前回調査より0.7ポイント増加していますが、統計誤差の範囲と思われ、横ばいと考えます。 （原因）性別、年齢別、地区別においても大きな差が見られない状況です。現状の水質、維持管理状況が適切に管理されている結果と考えます。</p>	95.6	96.7	97.4	98

指標	大規模断水事故件数（件） 【（上水道）】	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対 基準値
	評価	<p>（状況）平成30年度は大規模断水の発生はありませんでした。 （原因）配水管にかかる他工事の事前協議徹底により、事故防止に努めたためです。</p>	1	0	0	0

# 基本事業の成果状況と評価

## 基本事業01 安定供給の推進

指標	管路の耐震化率（％）	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対 基準値
	【（上水道）】	8.6	9.2	9.7	11.2	☀ (向上)
評価	（状況）平成30年度は9.7%で、平成29年度より0.5ポイント向上、新水道ビジョンとの比較でも目標に近づいており、順調です。 （原因）平成28年度に策定した新水道ビジョンの事業計画に基づき、耐震管（鋳鉄管やポリエチレン管）に布設替えを、計画的に実施できています。 【30年度実績】24路線 2,184mの耐震化（耐震適合管を含む）					対 前年度
		☀ (向上)	目 標 達成度	■ ■ (中)		

## 基本事業01 安定供給の推進

指標	浄水施設の耐震化率（％）	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対 基準値
	【（上水道）】	72.1	75.4	77.0	78.7	☀ (向上)
評価	（状況）平成30年度は77.0%で、平成29年度より1.6ポイント向上しており、計画通りに推移しています。 （原因）平成30年度は沈砂池耐震補強工事が完了したことにより耐震化工事が計画的に進んでいます。					対 前年度
		☀ (向上)	目 標 達成度	■ ■ (中)		

## 基本事業02 安全供給の推進

指標	浄水施設の機能不全件数（件）	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対 基準値
	【（上水道）】	0	0	0	0	☀ (向上)
評価	（状況）平成30年度は0件で、総合計画開始以降、0件を維持しており順調です。 （原因）毎日の維持点検等による小修繕の迅速な実施、設備機器の定期点検補修及び設備更新計画の着実な推進を行っている結果です。					対 前年度
		☀ (向上)	目 標 達成度	🏰 (達成)		

## 基本事業02 安全供給の推進

指標	水道水の水質検査において基準を上回った件数（件）	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対 基準値
	【（上水道）】	0	0	0	0	☀ (向上)
評価	状況）平成30年度は0件で、総合計画開始以降、0件を維持しており、順調です。 （原因）年1回の法定検査51項目及び毎日検査項目である残留塩素濃度、品質管理（濁り、臭い、色、pH）を着実に実行し、適切な設備保全を実施しているためです。					対 前年度
		☀ (向上)	目 標 達成度	🏰 (達成)		

**基本事業03 健全経営の推進**

指標	有収率（％）	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対基準値
		【（上水道）】	84.26	85.77	85.79	88
評価	<p>（状況）平成30年度は、85.79%で前年度から0.02ポイント向上しています。</p> <p>（原因）配水管網を5ブロックに分割し、今年度1ブロックを対象に専門業者による詳細漏水調査を実施し、10箇所の漏水を発見、修理を行い、有収率の向上を図りました。</p>					対前年度
		☀️ (向上)	目標達成度			
						🏠 (達成)

**基本事業03 健全経営の推進**

指標	経常収支比率（一般会計基準外繰入金除く）（％）	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対基準値
		【（上水道）】	105.4	107.9	105.7	102.9
評価	<p>（状況）平成30年度は105.7%で黒字経営です。前年度より2.2%低下していますが、目標値の102.9%を上回っており、良好な状態を維持しています。</p> <p>（原因）平成30年度は、経常費用は微増（537万円、0.5%）だったものの、経常収益では給水人口の減少等に伴い給水収益が大幅に減少（2,554万円、2.5%）したことにより1,914万円減少（1.6%）し、経常収支比率は低下しました。</p>					対前年度
		☔️ (低下)	目標達成度			
						🏠 (高)



**政策 05 生活に密着した住環境整備の促進**

**施策 05 汚水処理の推進**

**あるべき姿**

公共用水域の水質の保全のため、適正に汚水処理する世帯が増えています。

**施策の成果状況と評価**

指標	汚水処理人口普及率（％）	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対基準値
		【上下水道局（下水道）】	92.83	94.24	95.24	96
評価	(状況) 平成30年度は95.2%で平成29年度より1.0ポイント向上し、総合計画基準値との比較では4.7ポイント向上しており、順調です。 (原因) 水原地区2.8km、笹神地区1.7kmの下水道管を整備したことにより、下水道施設を利用できる市民が年々増加しています。					対前年度

# 基本事業の成果状況と評価

## 基本事業01 汚水処理施設の整備と接続の促進

指標	水洗化率（％）	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対基準値
		【上下水道局（下水道）】	69.0	69.9	70.8	73
評価	状況)平成30年度は70.8%で、平成29年度より0.9ポイント向上し、総合計画基準値との比較では3.6ポイント向上し、順調です。 (原因)新規接続は251戸、うち平成30年度から供用開始された地域(供用開始1年目)での接続は52戸となっています。また分母である供用区域の世帯数は、157世帯の増加となっています。これらの計算結果から、0.9ポイント増加しました。					☀️ (向上)
		対前年度	☀️ (向上)	目 標 達 成 度	■ ■ ■ (低)	

## 基本事業01 汚水処理施設の整備と接続の促進

指標	単独浄化槽設置基数（基）	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対基準値
		【上下水道局（下水道）】	2,886	2,728	2,645	1,750
評価	(状況)平成30年度は2,645基で、平成29年度より83基減少(改善)し、総合計画基準値との比較では、416基減少(改善)されました。 (原因)リフォーム補助金、普及促進事業の活用等により単独処理浄化槽から下水道への切り替えがおこなわれたため、減少となりました。これにより住環境の改善、自然水域の保全が図られました。					☀️ (向上)
		対前年度	☀️ (向上)	目 標 達 成 度	■ ■ ■ (低)	

## 基本事業02 汚水処理施設の維持管理の推進

指標	浄化センター・管路施設の不具合・トラブル件数（件）	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対基準値
		【上下水道局（下水道）】	0	0	0	0
評価	(状況)平成30年度は0件で、総合計画開始以降、0件を維持しており、順調です。 (原因)施設の不具合・トラブルの発生を未然に防ぐために、日常の点検・メンテナンスを怠ることなく実施しています。また、施設の老朽化や消耗の具合などを勘案し、必要に応じて予防保全または事後保全を適切に実施しており、市民生活に影響を及ぼすような事象は発生しておりません。					☀️ (向上)
		対前年度	☀️ (向上)	目 標 達 成 度	🏰 (達成)	

## 基本事業03 持続可能な下水道経営の推進

指標	経常収支比率（％）	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対基準値
		【上下水道局（下水道）】	-	-	-	-
評価	(状況)平成31年4月1日に地方公営企業法を適用しました。このため、現時点では算定できません。平成31年度末に分析して報告します。					対前年度
		(比較不可)	目 標 達 成 度	(---)		

**基本事業03 持続可能な下水道経営の推進**

指標	一般会計からの法定外繰出金（千円）	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対 基準値
		【上下水道局（下水道）】	-	-	-	-
評価	（状況）平成31年4月1日の地方公営企業法適用に向けて準備 作業中のため、現在算定できません。平成31年度以降の企業会 計移行後に、報告する予定です。					(比較不可)
						対 前年度
						(比較不可)
						目 標 達成度
						(---)





# 基本事業の成果状況と評価

## 基本事業01 3Rの推進

指標	市民1人当たりのごみの年間排出量 [リデュース] (kg)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対基準値
	【市民生活課】	271	270	267	265	☀️ (向上)
評価	家庭ごみの総排出量/人口					対前年度
	<p>(状況) 1人当たりのごみの年間排出量は前年度から3kg減少しています。</p> <p>(原因) ごみ処理の現状についての広報紙での周知や環境講座の開催などを通じ、市民にごみの減量の大切さが理解されてきているものと推測しています。</p>					☀️ (向上)
						目標達成度
						■ (中)

## 基本事業01 3Rの推進

指標	中古品・フリーマーケット・詰替品等で積極的に再利用している市民の割合 [リユース] (%)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対基準値
	【市民生活課】	7.8	7.2	8.2	10	☀️ (向上)
評価	基準値は、初取得の平成27年度の値					対前年度
	<p>(状況) 平成30年度は8.2%で、前年度より1ポイント上昇しています。</p> <p>(原因) 近年は中古品の売買が個人でもインターネットを通じて容易にできるようになったこともあり、また、経済性の観点などからも、安価な中古品や詰替品の利用をする人が増えているものと推測されます。</p>					☀️ (向上)
						目標達成度
						🏰 (達成)

## 基本事業01 3Rの推進

指標	ごみの資源化率 [リサイクル] (%)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対基準値
	【市民生活課】	17	18	16	20	☔️ (低下)
評価						対前年度
	<p>(状況) 平成30年度は16%で、前年度から低下し、目標には至っていません。</p> <p>(原因) 安田地区では容器包装ごみの分別を行っていないため、資源化率が他の地区より低くなっています。また、近年はごみの減量への取り組みが浸透し、ごみの収集量は減少傾向にありますが、特に古紙類や粗大ごみ(金属)など資源化の対象となるごみの減少が著しいため、相対的に資源化率が低下しているものと推測しています。</p>					☔️ (低下)
						目標達成度
						■ (低)

## 基本事業02 生活衛生・環境の確保

指標	公害(騒音・振動・悪臭・水質汚濁)苦情件数(件)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対基準値
	【市民生活課】	19	26	11	16	☀️ (向上)
評価						対前年度
	<p>(状況) 平成30年度は前年度より16件減少となりました。内訳は、公害苦情処理が4件、稲わら等焼却に関する苦情が7件でした。</p> <p>(原因) 公害苦情案件が減少したことによります。稲わら等焼却については、指導訪問しても「必要だからやっている」という農家もあり、くん炭や稲わら焼却に頼らない農業への転換が進んでいない現状があります。</p>					☀️ (向上)
						目標達成度
						🏰 (達成)

### 基本事業02 生活衛生・環境の確保

指標	空き地の管理及び害虫獣に関する苦情件数（件）	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対 基準値
	【市民生活課】	24	31	31	15	☂ (低下)
評価	<p>(状況)平成30年度は、前年度と同じ件数でした。内訳は、空き地案件が15件、ハクビシン関連が16件です。                  (原因)空き地関連は、管理者等が市外に居住していることから、近隣住民が所有者等を把握していないために苦情となるものがほとんどで、管理者等と連絡がとれない場合や相続問題などにより、草刈り等の対応がとられない事案も増えてきています。また、5件が再発案件でした。                  ハクビシンは平成28年度より市で捕獲事業を行っていることもあり、市民のハクビシンによる家屋進入被害への認知度が上がっているため、駆除依頼の件数が増加傾向にあります。</p>					対 前年度
		☁ (横ばい)	目 標 達成度	☐☐☐ (低)		

### 基本事業02 生活衛生・環境の確保

指標	犬・猫の飼育マナーに関する苦情件数（件）	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対 基準値
	【市民生活課】	23	23	42	14	☂ (低下)
評価	<p>(状況)平成30年度は、前年度より19件増加しています。内訳は、犬6件、猫36件でした。                  (原因)猫の苦情は前年度(11件)の3倍以上と、野良猫や外飼いの猫を不快に思っている市民が増えてきており、猫の飼い方などに関する啓発チラシや広報等を見て、「これまで、猫のことで苦情を言うのもと遠慮してきた。」と言って相談してくる市民もいることから、野良猫等に関する苦情は今後更に増えるものと予想されます。</p>					対 前年度
		☂ (低下)	目 標 達成度	☐☐☐ (低)		

### 基本事業03 適正なごみ処理の推進

指標	不法投棄の発生確認件数（件）	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対 基準値
	【市民生活課】	40	45	50	33	☀ (向上)
評価	<p>(状況)平成30年度は、前年度より5件増加しています。半数が林道を含む道路脇への不法投棄で、捨てられるごみも半数がテレビ等の廃家電や廃タイヤなどの処理困難物で、建築または農業用廃材など産業廃棄物の投棄もありました。                  (原因)依然廃家電や廃タイヤを安易に不法投棄する個人や処理事業者がいるためと推測されます。</p>					対 前年度
		☂ (低下)	目 標 達成度	☐☐☐ (中)		

### 基本事業03 適正なごみ処理の推進

指標	野焼きの苦情件数（件）	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対 基準値
	【市民生活課】	17	22	15	8	☂ (低下)
評価	<p>(状況)平成30年度は、前年度より7件減少しています。                  (原因)依然、家庭ごみや建築廃材等を安易に野外焼却する人がいるためですが、庭木や落ち葉、畑からの野菜くずや雑草等の処理に苦慮して焼却する事案も5件ありました。</p>					対 前年度
		☀ (向上)	目 標 達成度	☐☐☐ (低)		

### 基本事業03 適正なごみ処理の推進

指標	分別不適合率(焼却量に対する不燃物の含有率) (%)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対基準値
		【市民生活課】	1.9	4.7	0.6	0.7
評価	(状況) 平成30年度のごみ焼却量に対する不燃物の含有率は0.6%で、前年度の4.7%から大きく低下し、目標を達成しました。 (原因) ごみの分別に対する理解が深まっているものと思われます。					対前年度 ☀️ (向上)
						目標達成度 🏠 (達成)

### 基本事業04 ごみ処理体制の適正化

指標	市民1人当たりのごみの処理コスト (円)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対基準値
		【市民生活課】	10,402	10,984	12,465	10,700
評価	(状況) 平成30年度は1,481円増加し、12,465円となったため目標を達成できませんでした。 (原因) 平成35年度に稼働が予定されている新しいごみ処理場の整備に向け基本設計などが実施されたため、それに伴う経費が増えたことによるものと思われます。					対前年度 ☔️ (低下)
						目標達成度 ■ (低)

### 基本事業04 ごみ処理体制の適正化

指標	ごみ処理における事故件数 (件)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対基準値
		【市民生活課】	0	0	1	0
評価	(状況) ごみ供給コンベアで発火現象が生じたため、現場確認に向かった作業員が足を滑らせ転倒し、頭部に裂傷を負いました。 (原因) 突然の発火現象に作業員があわててしまい、現場確認の際に足を滑らせたことによるものです。このため、あらためて事故発生時の対応など安全教育を徹底しました。					対前年度 ☔️ (低下)
						目標達成度 ■ (低)

政策 05 生活に密着した住環境整備の促進

施策 07 地球環境・自然環境の保全

あるべき姿

自然を守り、地球にやさしい暮らしや事業を推進しています。

施策の成果状況と評価

指標	自然環境に満足している市民の割合（％）	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対基準値
		【市民生活課】	92.8	94.5	93.3	95
評価	基準値は、初取得の平成27年度の値					対前年度
	<p>(状況) 平成30年度は93.3%で、前回調査から1.2ポイント低下しましたが、統計誤差の範囲であり、横ばいの状況です。</p> <p>(原因) 年齢や地区にかかわらず五頭連峰や田園風景、瓢湖などの自然環境に満足しています。ごみの不法投棄の防止や河川の水質調査など環境保全の取り組みが一定の成果をあげているものと考えます。</p>					目標達成度
						(中)

指標	地球にやさしい取組みの平均実践項目数（項目）	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対基準値
		【市民生活課】	5.78	5.88	5.82	7
評価	全16項目での平均実践項目（基準値は平成27年度取得）					対前年度
	<p>(状況) 平成30年度は全16項目中5.82項目が実践されています。前回調査は5.88項目でほぼ変化がなく、横ばいとなっています。</p> <p>(原因) 地球温暖化への対策などは世界共通の課題ですが、市民からは十分な理解が得られていないものと考えられます。</p> <p>上位2項目は「ごみは分別して捨てる」83.2%、「外出先で出たごみはポイ捨てせずに持ち帰る」65.4%です。前回との比較では「冷暖房の設定温度に配慮する」が29.6%から42.3%へ12.7ポイント高くなる一方で「照明をこまめに切る」が81.2%から63.6%へ17.6ポイント低下しています。</p>					目標達成度
						(中)

# 基本事業の成果状況と評価

## 基本事業01 大気・水質の保全

指標	大気の基準値を上回った件数（件）	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対 基準値
	【市民生活課】	0	0	0	0	☀ (向上)
評価	(状況)平成30年度は0件で、総合計画開始以降0件を維持しています。 (原因)大気汚染に関する注意報等の発令基準値(PM2.5一日平均70μg/m3以上、光化学スモッグ0.12PPM以上)内で推移しており、良好な環境が保たれていると考えられます。					対 前年度
						☀ (向上)
						目 標 達 成 度
						🏰 (達成)

## 基本事業01 大気・水質の保全

指標	河川等の水質基準を上回った件数（件）	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対 基準値
	【市民生活課】	0	0	0	0	☀ (向上)
評価	(状況)平成30年度は、全調査地点において年間の水質が環境基準に適合しており、総合計画開始年より0件を維持しています。 (原因)定期的な水質調査により、水質の悪化がみられた河川については原因を調査のうえ、発生源が事業所の場合は、県等と連携して、改善するよう指導を行っています。					対 前年度
						☀ (向上)
						目 標 達 成 度
						🏰 (達成)

## 基本事業02 自然資源の保全・活用

指標	自然環境保全活動に参加している市民の割合（％）	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対 基準値
	【市民生活課】	3.7	2.8	2.2	3	☔ (低下)
評価	基準値は、初取得の平成27年度の値 (状況)自然環境保全活動に参加している市民の割合は2.2%に低下しています。 (原因)自然環境保全活動に参加している市民の割合が低下したのは統計誤差の範囲と考えられ、自然環境保全に対する市民の理解に大きな変化はないものと推測されます。					対 前年度
						☔ (低下)
						目 標 達 成 度
						▬▬ (中)

## 基本事業02 自然資源の保全・活用

指標	森林間伐（育林）面積（ha）	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対 基準値
	【市民生活課】	14.56	11.17	11.48	9	☀ (向上)
評価	(状況)平成30年度は11.48haで、前年度から0.31%増加しています。 (原因)間伐は森林組合により計画的に実施されています。平成30年度は堀越地区や里地区などで実施されましたが、実施面積は土地の形状などにも影響されるため、実施面積の増減は計画的なものです。					対 前年度
						☀ (向上)
						目 標 達 成 度
						🏰 (達成)

**基本事業03 地球環境の保全**

指標	再生可能エネルギーによる発電総出力 (MW)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対基準値
		【市民生活課】	21	21	21	31
評価	<p>(状況) 現在1MW以上の大型の太陽光発電所は県と民間企業によるものがそれぞれ一か所ずつ稼働していますが、発電所数及び発電量とも横ばいで推移しています。</p> <p>(原因) 大規模な施設整備には用地取得や送電網の整備に係る費用負担などが課題となり、導入が進まないものと推測されます。</p>					対前年度
		(横ばい)	(横ばい)	目標達成度	(低)	

**基本事業03 地球環境の保全**

指標	市の施設における温室効果ガス (CO2) 排出量 (t-CO2)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対基準値
		【総務課】	9,861	10,143	-	10,000
評価	<p>(状況) 指標値は、まだ取得していません。</p> <p>(原因) 毎年8月に現状値を取得する指標のためです。</p>					対前年度
		(比較不可)	(比較不可)	目標達成度	(低)	



**政策 06 市民協働の推進**

**施策 01 市民によるまちづくり活動の推進と支援**

**あるべき姿**

市民と行政が協働してまちづくりを行っています。

**施策の成果状況と評価**

指標	市民と行政が協働してまちづくりを行っていると感じる市民の割合（％）	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対基準値
		【市長政策・市民協働課】	54.7	51.8	52.2	55
評価	基準値は、初取得の平成27年度の値					(横ばい)
	<p>(状況) 平成30年度は52.2%で、平成29年度と比較して0.4ポイント増加しています。また、基準値との比較では、0.9ポイント増加しています。</p> <p>(原因) 70～74歳が73.8%で昨年度と比較し16.7ポイント増加したことが原因と思われます。なお、割合の最も低いのは40歳代の45.3%となっています。</p> <p>地区別では京ヶ瀬地区が58.5%と最も高く、他3地区は51.0%前後となっています。</p>					目標達成度
						(低)

指標	コミュニティ活動に参加している市民の割合（％）	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対基準値
		【市長政策・市民協働課】	54.0	52.1	55.2	60
評価	基準値は、初取得の平成27年度の値					(横ばい)
	<p>(状況) 平成30年度は55.2%で、平成29年度と比較して3.1ポイント増加しています。また、基準値との比較では、1.0ポイント低下しています。</p> <p>(原因) 昨年度と比較し、若い世代（20歳代～40歳代）の自治会活動等への参加が増加したことが原因と思われます。なお、割合が最も高いのが60歳～64歳の68.4%となっています。</p> <p>地区別では笹神地区が高く64.0%、安田地区が57.4%、京ヶ瀬地区が55.9%、水原地区が50.1%となっています。</p>					目標達成度
						(低)

# 基本事業の成果状況と評価

## 基本事業01 コミュニティ施設の利用促進

指標	コミュニティ施設（自治会集会施設）に対する自治会長の満足度（％） 【総務課】	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対基準値
		72.4	76.8	-	90	(---)
評価	基準値は、初取得の平成28年度の値					対前年度
	（状況）6月現在、現状値は未取得です。8月以降に取得する予定です。 （原因）これまでは、4月の自治会長会議の際にアンケートを実施し、現状値を取得していましたが、4月に自治会長が交代する自治会が多いため、「代わったばかりで状況がよくわからない。」という声が寄せられたためです。					目標達成度
						(---)

## 基本事業01 コミュニティ施設の利用促進

指標	コミュニティ施設（自治会集会施設）が有効に使われていると感じる自治会長の割合（％） 【総務課】	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対基準値
		89.8	87.7	-	95	(---)
評価	基準値は、初取得の平成27年度の値					対前年度
	（状況）6月現在、現状値は未取得です。8月以降に取得する予定です。 （原因）これまでは、4月の自治会長会議の際にアンケートを実施し、現状値を取得していましたが、4月に自治会長が交代する自治会が多いため、「代わったばかりで状況がよくわからない。」という声が寄せられたためです。					目標達成度
						(---)

## 基本事業02 自治会活動の活性化

指標	活動が困難になっている行事がある自治会の割合（％） 【総務課】	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対基準値
		42.4	24.4	-	35	(---)
評価	基準値は、初取得の平成27年度の値					対前年度
	（状況）6月現在、現状値は未取得です。8月以降に取得する予定です。 （原因）これまでは、4月の自治会長会議の際にアンケートを実施し、現状値を取得していましたが、4月に自治会長が交代する自治会が多いため、「代わったばかりで状況がよくわからない。」という声が寄せられたためです。					目標達成度
						(---)

## 基本事業03 市民活動の活性化

指標	市民活動団体・ボランティア活動団体登録数（累計）（団体） 【市長政策・市民協働課】	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対基準値
		112	111	106	140	(横ばい)
評価	（状況）平成30年度は106団体で、平成29年度と比較して5団体減少していますが、ほぼ横ばいです。また、基準値との比較では、同数となっています。 （原因）団体構成員や活動参加者の高齢化等で、活動の継続が難しくなり、休止した団体が増加したことなどが原因と考えます。					対前年度
						目標達成度
						(横ばい)
						(低)

### 基本事業03 市民活動の活性化

指標	ボランティア活動に取り組む市民の割合（％） 【市長政策・市民協働課】	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対基準値
	基準値は、初取得の平成27年度の値	11.3	10.5	8.8	15	☔ (低下)
評価	(状況)平成30年度は8.8%で、平成29年度と比較して1.7ポイント低下していますが、ほぼ横ばいです。また、基準値との比較でも、3.5ポイント低下しています。 (原因)60歳以上の年代では10%を超えていますが、20歳～59歳の年代では、6%前後にとどまっているのが原因です。男女別では、男性9.5%に対し、女性8.3%と低くなっています。					対前年度
						☔ (低下)
						目標達成度 ■■ (低)

### 基本事業03 市民活動の活性化

指標	市民活動団体・ボランティア活動団体との連携・協働によるまちづくり事業数（事業） 【市長政策・市民協働課】	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対基準値
		57	64	62	70	☀ (向上)
評価	(状況)平成30年度は62件で、平成29年度と比較して2件減少していますが、ほぼ横ばいと考えます。また、基準値との比較では、13件増加しています。 (原因)市民活動団体の数そのものは減少しましたが、活動件数はほぼ横ばいであり、公益活動に取り組む市民活動・ボランティア活動事業の支援や活動事例の紹介などの取り組みにより、市民の連携・協働したまちづくりの認識が、少しずつ広がってきているものと思われる。					対前年度
						☁ (横ばい)
						目標達成度 ■■ (中)

### 基本事業04 ポイント制度を活用した地域の活性化の推進

指標	地域ポイントカードの発行枚数（累計）（枚） 【企画財政課】	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対基準値
	本事業は平成27年3月に開始	10,653	14,435	15,361	30,000	☀ (向上)
評価	(状況)平成30年度末時点の累計は15,361枚の発行となっており、29年度の14,435枚に比べて6.4%増加しているため、地域ポイントカードが順調に市民へ普及していますが、目標には遠い状況です。 (原因)付与ポイント数の高いあがの市民病院での分娩や人間ドックがポイントカードの認知度を高めていることと、見守りメール配信サービスの浸透による利用者数の増加が原因と考えます。					対前年度
						☀ (向上)
						目標達成度 ■■ (中)

### 基本事業04 ポイント制度を活用した地域の活性化の推進

指標	地域ポイントカード加盟店数（店） 【企画財政課】	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対基準値
		17	32	31	200	☀ (向上)
評価	(状況)平成30年度は31店舗で、平成29年度に比べると1店舗減っています。 (原因)店舗減や新規加入が停滞している主な原因は、事業所がポイントカード利用による売り上げ増や宣伝効果といったメリットを見出せていないことだと考えます。カードの認知度を高め、事業所がメリットを実感できるように浸透させていくことが必要だと考えます。					対前年度
						☁ (横ばい)
						目標達成度 ■■ (低)



政策 06 市民協働の推進

施策 02 生涯学習の充実

あるべき姿

生涯学習に取り組み、豊かな人生を過ごしているとともに、学習成果を地域や社会に還元する市民が増えています。

施策の成果状況と評価

指標	生涯学習活動に取り組んでいる市民の割合（％）	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対基準値
		【生涯学習課】	11.7	10.9	11.5	15
評価	文化芸術スポーツ、街づくり等の定期学習(基準値H27取得)					(横ばい)
	(状況) 平成30年度は11.5%で対前年度0.6ポイント上昇していますが、統計誤差の範囲で横ばいです。 (原因) 前年同様、現役世代(60歳未満)の割合が低いからです。					目標達成度 (低)

指標	学習成果を地域や社会に還元している市民の割合（％）	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対基準値
		【生涯学習課】	7.4	6.6	7.9	10
評価	基準値は、初取得の平成27年度の値					(横ばい)
	(状況) 平成30年度は7.9%で、対前年度1.3ポイント上昇していますが統計誤差範囲で横ばいです。 (原因) 学習しているだけで、還元する機会を見つけていないものと思われます。					目標達成度 (低)

## 基本事業の成果状況と評価

### 基本事業01 主体的な学習活動の推進

指標	市民主体の年間学習活動回数（延べ）（回）	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対 基準値
		【生涯学習課】	5,431	6,296	5,875	4,967
評価	(状況)平成30年度は5,875回で、前年度に比べ421回減少していますが、総合計画基準値を上回り目標達成しています。 (原因)人口減少に伴い、文化団体・社会教育団体が減少しているものです。					☀️ (向上)
		☀️ (向上)	☀️ (向上)	☀️ (向上)	☀️ (向上)	☀️ (向上)

### 基本事業01 主体的な学習活動の推進

指標	社会教育関係団体認定件数（件）	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対 基準値
		【生涯学習課】	92	92	88	104
評価	(状況)平成30年度は88件で、前年度に比べ4件減少しています。 (原因)人口減少により、各団体の会員数が減り登録団体が減っています。					☔️ (低下)
		☔️ (低下)	☔️ (低下)	☔️ (低下)	☔️ (低下)	☔️ (低下)

### 基本事業01 主体的な学習活動の推進

指標	事業計画に社会還元のための講座等を組み入れている社会教育関係団体の割合（％）	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対 基準値
		【生涯学習課】	66.3	66.3		78.4
評価	(状況)調査をしていません。 (原因)調査をすべく進めています。					☔️ (低下)
		☔️ (低下)	☔️ (低下)	☔️ (低下)	☔️ (低下)	☔️ (低下)

### 基本事業02 学習機会の提供と生涯学習施設の利用促進

指標	学習機会（テーマ・教室）が充実していると感じる市民の割合（％）	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対 基準値
		【生涯学習課】	8.3	7.2	8.8	10
評価	満足度は満足、やや満足の合計(基準値は平成27年取得) (状況)平成30年度は8.8%で、対前年度1.6ポイントの上昇でした、統計誤差範囲であり横ばいです。 (原因)満足するポイント数に変化はありませんが、不満と答えた数が多いので市民のニーズに合っていない可能性があります。					☁️ (横ばい)
		☁️ (横ばい)	☁️ (横ばい)	☁️ (横ばい)	☁️ (横ばい)	☁️ (横ばい)

**基本事業02 学習機会の提供と生涯学習施設の利用促進**

指標	生涯学習施設の満足度（％）	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対 基準値
	【生涯学習課】	84.7	81.9	79.9	85	☂ (低下)
評価	満足度は満足、やや満足、ふつうの合計(基準は平成27年)					対 前年度
	<p>(状況)平成30年度は79.9%で、対前年度2ポイント低下で、過去統計誤差ととらえていたが、緩やかな低下を続けています。 (原因)各施設の老朽化が進み、多様なニーズに施設機能が追いつかず、不満方向の数が増えている。</p>					☂ (低下)
						目 標 達成度
						■■■ (高)

**基本事業02 学習機会の提供と生涯学習施設の利用促進**

指標	この1年間に生涯学習施設を利用したことがある市民の割合（％）	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対 基準値
	【生涯学習課】	18.3	18.2	18.8	20	☁ (横ばい)
評価	基準値は初取得の平成27年度の値					対 前年度
	<p>(状況)平成30年度は18.8%で対前年0.6ポイント上昇しましたが、統計誤差の範囲であり横ばいです。 (原因)図書館の使用年代は60歳以下の利用が多く、対前年5%上昇しておりますが、公民館は60歳以上の利用が多いのですが、対前年8%減少しております。</p>					☁ (横ばい)
						目 標 達成度
						■■ (低)

**基本事業03 文化財の保護・活用**

指標	指定文化財件数〔国〕（件）	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対 基準値
	【生涯学習課】	7	9	9	9	☀ (向上)
評価						対 前年度
	<p>(状況)平成29年度目標値の9件になり目標達成です。その後、新たな追加はありません。</p>					☀ (向上)
						目 標 達成度
						🏰 (達成)

**基本事業03 文化財の保護・活用**

指標	指定文化財件数〔県〕（件）	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対 基準値
	【生涯学習課】	12	12	12	13	☁ (横ばい)
評価						対 前年度
	<p>(状況)指定文化財は12件です。指定文化財としては、以下が登録されています。 【絵画】方便法身尊像【彫刻】木造 阿彌陀如来坐像 【工芸品】華報寺墓跡出土品（宋筆泉窯青磁四耳壺）、華報寺墓跡出土品（青銅筒（骨蔵器）他） 【書籍典籍】古論草【古文書】齋藤家所蔵文書 【考古資料】華報寺墓跡出土品（正安元年在銘青銅製経筒他）、上野林J遺跡出土品 【史跡】越後府（天長山）、安田城跡</p>					☁ (横ばい)
						目 標 達成度
						■■ (低)

**基本事業03 文化財の保護・活用**

指標	指定文化財件数〔市〕(件)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対基準値
		【生涯学習課】	48	48	48	49
評価	(状況)市指定文化財は前年度増減なく48件です。指定文化財としては、以下のほか、建造物、美術工芸品、民俗文化財などが登録されています。 【天然記念物】十郎杉、田崎仁義生家のヒイラギ、立石、観音寺の大ケヤキ・大イチョウ・大スギ、石井家の大ケヤキ、宗寿寺の大イチョウ 【史跡】堀越館跡、水原城跡及水原代官所跡、火除土手、赤松城山、笹岡城址、旧市島次郎吉家(角市市島家)跡 【名勝】岩瀬の清水					対前年度
		(横ばい)	対前年度	(横ばい)	目標達成度	■ ■ ■ (低)

**基本事業03 文化財の保護・活用**

指標	資料館・博物館の利用及び文化行政事業に参加したことがある市民の割合(%)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対基準値
		【生涯学習課】	7.3	8.8	10.5	12
評価	基準値は、初取得の平成27年度の値 (状況)平成30年度は10.5%で、対前年1.7ポイント向上しました。 (原因)五頭の麓のくらし館は閉館中ですが、企画展等の実施により、個人及び団体の来館者を維持しています。					対前年度
		(横ばい)	対前年度	(横ばい)	目標達成度	■ ■ ■ (中)

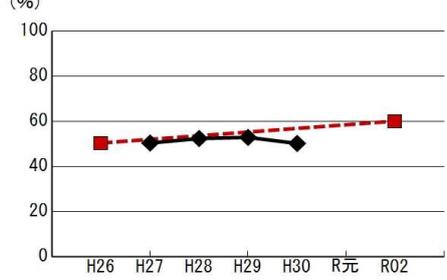
**政策 06 市民協働の推進**

**施策 03 人権を尊重するひとづくり**

**あるべき姿**

人権尊重の理念が根付き、差別や偏見のないまちになっています。

**施策の成果状況と評価**

指標	差別や偏見のないまちになっていると感じる市民の割合（％）	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対基準値
		【市民生活課】	52.3	52.8	50.1	60
評価	(状況) 平成30年度は50.1%で、前回調査より2.7ポイント下降しています。指標値の低下は見られましたが、統計誤差の範囲とも考えられ、横ばいと考えます。 (原因) 学校やイベントを通して、教育啓発活動を行いました。が、一般市民への啓発機会がまだ十分でないことが原因のひとつと考えます。					対前年度
						 (横ばい)
						目標達成度
						 (低)

# 基本事業の成果状況と評価

## 基本事業01 高齢者の人権擁護の推進

指標	高齢者虐待認知件数（件）	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対基準値
		【高齢福祉課】	24	16	17	0
評価	<p>(状況) 件数はほぼ横ばいで推移しております。                      (原因) 複合世帯での虐待が多く、同居家族が居ても介護者がひとりで介護を抱え込まなければならない現状があります。また、認知症の介護は精神的・身体的負担が大きく虐待に至ってしまう現状もあります。</p>					対前年度
		(中)				

## 基本事業02 障がい者の人権擁護の推進

指標	障がい者虐待認知件数（件）	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対基準値
		【社会福祉課】	1	7	4	0
評価	<p>(状況) 虐待と疑われる件数は4件で、そのうち虐待と認知されたものは2件でした。関係支援者側から3件、警察からは1件で虐待者はいずれも家族でした。                      (原因) 支援者側が研修会等で知識を得たことで早急な通報・相談につながっています。</p>					対前年度
		(中)				

## 基本事業03 児童虐待やいじめ防止対策の推進

指標	児童虐待認知件数（件）	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対基準値
		【健康推進課】	39	58	66	0
評価	<p>(状況) 平成30年度は66件で総合計画基準値から昨年度同様に増加しています。平成30年度末の要保護・要支援継続児童数は15人(57世帯)で横ばいです。種類別の内訳は、ネグレクト 39.1%、心理的虐待38.3%、身体的虐待22.6%で、昨年度に比べ心理的虐待が増えています。年齢別では、昨年度に比べ、乳児、小学生が多い状況です。                      (原因) 児童虐待の理解が深まり、関係機関からの相談が増えていること、特定妊婦の支援に取り組んでいること、トラブルを繰り返す家庭や面前DVもあることが、件数増加の原因と考えられます。</p>					対前年度
		(低)				

## 基本事業03 児童虐待やいじめ防止対策の推進

指標	いじめの認知件数（件）	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対基準値
		【学校教育課】	32	52	115	0
評価	<p>(状況) 平成30年度は速報値で115件で、平成29年度より63件増加、総合計画基準値より72件増加しており、順調とはいえません。                      (原因) 小学校の認知件数は89件で、平成29年度より65件増加したのが主な原因です。これまでいじめとして取り扱っていなかった子ども同士のトラブルもいじめの初期段階として認知した結果で、件数は大幅に増加していますが、適切に対応している様子が伺え、その点では好ましい状況と考えます。</p>					対前年度
		(低)				

### 基本事業04 男女共同参画の推進

指標	固定的な性別役割分担意識を持つ市民の割合（％） 【市長政策・市民協働課】	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対 基準値
	基準値は、初取得の平成27年度の値	34.1	34.2	31.6	30	(横ばい)
評価	(状況)平成30年度は31.6%で、平成29年度と比較して2.6ポイント低下していますが、ほぼ横ばいです。また、基準値との比較では、2.8ポイント低下しています。 (原因)男女別では、男性が40.9%、女性が22.3%となっています。 20歳～59歳までの年代では10～20%代となっていますが、60歳以上になると30%を超え、75～79歳では58.3%と最も高くなっています。年齢が高くなるにつれて、性別役割分担の意識が高くなっていくことが原因と考えられます。					対 前年度
						(横ばい)
						目 標 達 成 度
						(中)

### 基本事業04 男女共同参画の推進

指標	家庭において男女共同参画を行っている市民の割合（％） 【市長政策・市民協働課】	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対 基準値
	基準値は、初取得の平成27年度の値	38.7	41.8	38.9	45	(横ばい)
評価	(状況)平成30年度は38.9%で、平成29年度と比較して2.9ポイント低下しています。基準値との比較では、1.0ポイント低下しています。統計誤差の範囲であり、ほぼ横ばいであると考えられます。 (原因)男女別では、男性の約半数は家庭で男女平等と思っていますが、女性においては3人に1人の割合になっています。年齢別では、30歳代から75歳代が40%前後となっています。 地区別では、安田地区が40.5%、京ヶ瀬地区41.2%、水原地区38.3%、笹神地区36.8%となっています。					対 前年度
						(横ばい)
						目 標 達 成 度
						(低)

### 基本事業05 同和問題の意識の高揚

指標	同和問題を知っている市民の割合（％） 【市民生活課】	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対 基準値
	基準値は、初取得の平成27年度の値	29.8	31.9	29.0	45	(横ばい)
評価	(状況)平成30年度は29.0%で、前回調査より2.9ポイントの下降となります。数値の変動は、統計誤差の範囲であり、横ばいと考えます。 (原因)学校やイベントを通じた教育啓発活動を継続していますが、一般市民への啓発機会が十分でないことが原因のひとつと考えます。					対 前年度
						(横ばい)
						目 標 達 成 度
						(低)

### 基本事業06 人権意識の向上

指標	水俣病に関する偏見・差別が存在することを知っている市民の割合（％） 【市民生活課】	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対 基準値
	基準値は、初取得の平成27年度の値	52.0	53.0	48.9	70	(横ばい)
評価	(状況)平成30年度は48.9%で、前回調査より4.2ポイントの下降となります。数値の変動は、統計誤差の範囲であり、横ばいと考えます。 (原因)学校やイベントを通じた教育啓発活動を継続していますが、一般市民への啓発機会が十分でないことが原因のひとつと考えます。					対 前年度
						(横ばい)
						目 標 達 成 度
						(低)

基本事業06 人権意識の向上

指標	この1年間に人権侵害を受けたことがある市民の割合(%)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対 基準値
		【市民生活課】	17.8	17.3	16.9	10
評価	基準値は、初取得の平成27年度の値					対 前年度
	<p>(状況) 平成30年度は16.9%で、前回調査から0.4ポイント低下し、対基準値においても0.9ポイント低下していますが、統計誤差の範囲と考えます。</p> <p>(原因) 内容的には、パワーハラスメントが53.2%で、次いで女性の人権が18.9%となっています。高い数値になっているのは、時代背景と世代による認識の違いが原因と考えられます</p>					目 標 達成度
						 (低)

政策 06 市民協働の推進

施策 04 開かれた市政の推進と効果的な情報発信

あるべき姿

必要な情報が適宜提供され、情報公開や広聴等の仕組みにより開かれた行政になっています。情報発信が効果的に行われ、阿賀野市の知名度が上がっています。

施策の成果状況と評価

指標	市からの情報提供に満足している市民の割合 (%)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対基準値
	【市長政策・市民協働課】	89.2	89.5	86.9	88.5	
評価	基準値は、初取得の平成27年度の値					対前年度
	<p>(状況) 平成30年度は86.9%で、前年より2.6ポイント減少しましたが、統計誤差であり、ほぼ横ばいと考えています。</p> <p>(原因) 満足している割合で「量」は88.3%、「質や内容」は85.6%となっています。年代別では、全ての年代で80%を超え、特に70～74歳では95.8%と高い数値となっています。</p> <p>広報紙は、文字サイズやレイアウト、デザインを変更し、より読みやすく分かりやすい紙面編集に取り組んでいます。</p> <p>市ホームページは、担当課でページを管理・更新できるCMS(コンテンツマネージメントシステム)を導入し、速やかな情報発信を行ったことが原因と考えます。</p>					目標達成度
						(高)

指標	市からの情報発信や広聴等により、開かれた行政になっていると感じる市民の割合 (%)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対基準値
	【市長政策・市民協働課】	72.0	72.6	69.7	70	
評価	基準値は、初取得の平成27年度の値					対前年度
	<p>(状況) 平成30年度は69.7%で、前回調査より2.9ポイント低下しましたが、統計差の範囲であり、ほぼ横ばいと考えます。</p> <p>(原因) 市ホームページによる速やかな情報発信やパブリックコメント、市長へのたよりや市政モニターによる広聴制度により、市民に近い対応を図っていることが認識されているものと思われま。</p> <p>年齢別では、すべての年代で60%を超え、70～74歳では87.0%と最も高くなっています。</p>					目標達成度
						(高)

指標	阿賀野市の知名度の県内順位 (位)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対基準値
	【市長政策・市民協働課】	18	17	16	15	
評価	出展：『地域ブランド調査』の認知度					対前年度
	<p>(状況) 平成30年度は県内20市中16位で、平成29年度より1つ順位が上がりました。</p> <p>(原因) ふるさと納税が増えたことにより返礼品の周知度が高まり、産品購入意欲度が昨年の全国917位から673位に上昇したことが原因と考えます。</p> <p>なお、近隣市の県内順位は、新潟市1位、新発田市14位、胎内市20位、五泉市19位となっています。</p>					目標達成度
						(高)

指標	阿賀野市の知名度の全国順位 (位)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対基準値
	【市長政策・市民協働課】	798	807	749	700	
評価	出展：『地域ブランド調査』の認知度					対前年度
	<p>(状況) 平成30年度1,047自治体中749位で、平成29年度より順位が58位上がっています。</p> <p>(原因) ふるさと納税が増えたことにより返礼品の周知度が高まり、産品購入意欲度が昨年の全国917位から673位に上昇したことが原因と考えます。</p> <p>なお、近隣市の全国順位は、新潟市60位、新発田市562位、胎内市903位、五泉市882位となっています。</p>					目標達成度
						(中)

# 基本事業の成果状況と評価

## 基本事業01 情報提供の充実

指標	広報紙で定期的に市政情報を見ている市民の割合（％） 【市長政策・市民協働課】	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対基準値
	基準値は、初取得の平成27年度の値	71.0	68.0	69.4	70	(横ばい)
評価	(状況)平成30年度は69.4%で、前回調査より1.4ポイント上昇しました。 (原因)読者へのアンケート調査を行い、記事の取捨選択、文字サイズやレイアウト等の変更を行い、読みやすく、読みやすくなったことが原因と考えます。 年代別では、75～79歳が87.0%と最も高く、年代が高くなるにつれて見ている市民の割合は高くなるものの、20歳代では25.3%と最も低く、市政情報については広報紙以外の手段によって得ているものと考えます。 地区別では大きな変化は見られません。					対前年度 (向上)
						目標達成度 (高)

## 基本事業01 情報提供の充実

指標	ホームページの内容充実度（％） 【市長政策・市民協働課】	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対基準値
	基準値は、初取得の平成27年度の値	71.4	68.6	65.3	75	(低下)
評価	(状況)平成30年度は65.3%で、前回調査より3.3ポイント低下し基準値からは7.2ポイント低くなっています。 (原因)男女別では、前年度比で男性が62.0%から66.0%に4.0ポイント増加していますが、女性が74.6%から63.8%に10.8ポイント減少したことが原因と考えられます。 年代別では75歳以上が86.7%と最も高くなっていますが、20歳～64歳までは50～60%台に推移しています。 地区別で差異は見られません。					対前年度 (低下)
						目標達成度 (低)

## 基本事業01 情報提供の充実

指標	年間ホームページアクセス数（万回） 【市長政策・市民協働課】	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対基準値
	ページビューで算定（基準値は平成27年度取得）	156	160	165.8	178	(向上)
評価	(状況)平成30年度のアクセス数は160万回で平成29年度より5.8万回増加し、アクセス数としては3.6%の向上となりました。 (原因)トップページや瓢湖関連、火災情報などの消防関連へのアクセスが高く、増加したものと思われます。					対前年度 (向上)
						目標達成度 (低)

## 基本事業02 広聴活動・情報公開の充実

指標	広聴等による意見・提案・質問数（件） 【市長政策・市民協働課】	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対基準値
		70	98	99	74	(比較不可)
評価	(状況)平成30年度の市長へのたよりとして寄せられた意見・提案・質問数は99件で、昨年度比較では1件増加しました。 (原因)本制度の投稿内容を「広報あがの」10月号から掲載し始めたことにより、制度の認知度が高まり投稿数が維持できたことが原因と考えます。					対前年度 (比較不可)
						目標達成度 (---)

### 基本事業02 広聴活動・情報公開の充実

指標	不服申立てによる情報公開決定件数（件）	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対基準値
	【総務課】	0	0	0	0	☀️ (向上)
評価	（状況）平成30年度は0件で、総合計画開始以降、0件を維持しています。 （原因）公開請求は、415件ありました。情報不保有1件、部分公開1件、全部公開413件の内訳となっており、適正な運用がなされているためと思われます。					対前年度
						☀️ (向上)
						目標達成度
						🏰 (達成)

### 基本事業03 情報発信の強化

指標	この1年間で知人・友人に対し、阿賀野市への居住・観光を勧めたことのある市民の割合（％）	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対基準値
	【市長政策・市民協働課】	14.5	18.5	20.9	20	☀️ (向上)
評価	基準値は、初取得の平成27年度の値 （状況）平成30年度は20.9%で、前回調査に比べて2.4ポイント向上、目標値を達成しました。内訳は、居住・移住を勧める人が11.4%、観光を勧める人は30.3%で観光を勧める割合が高くなっています。 （原因）2項目とも数値は増加していますが、居住・移住について約6割、観光について約5割の人が「そのような機会がなかった」と回答しており、勧める機会がなかったことも一因となっています。					対前年度
						☀️ (向上)
						目標達成度
						🏰 (達成)

### 基本事業03 情報発信の強化

指標	移住・定住窓口相談件数（件）	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対基準値
	【市長政策・市民協働課】	2	19	26	20	☀️ (向上)
評価	基準値は、初取得の平成27年度の値 （状況）平成30年度は26件で、前回調査に比べ7件増加し、目標値を達成しました。 （原因）移住・交流イベントで、資料の配布や相談者への呼びかけを行ったことが要因となっています。					対前年度
						☀️ (向上)
						目標達成度
						🏰 (達成)

### 基本事業03 情報発信の強化

指標	移住・定住ホームページアクセス数（回）	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対基準値
	【市長政策・市民協働課】	25,708	31,268	30,155	50,000	☁️ (横ばい)
評価	ページビューで算定（基準値は平成27年度取得） （状況）平成30年度は30,155回で、前回調査に比べて1113件低下しましたが、ほぼ横ばいと考えています。 （原因）「空き家バンク」や「住まい」以外の情報の充実や、移住希望者が多くアクセスする国や県のサイトでの情報発信を行ったことが要因となっています。					対前年度
						☁️ (横ばい)
						目標達成度
						🏰 (低)



政策 07 信頼される行政経営

施策 01 行政経営の推進

あるべき姿

効率的・効果的な行財政運営が行われています。

施策の成果状況と評価

指標	効率的・効果的な行財政運営が行われていると感じる市民の割合（％） 【企画財政課】	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対基準値																								
		50.6	47.9	47.2	70																									
評価	基準値は、初取得の平成27年度の値 （状況）平成30年度は47.2%と、前回調査より0.7ポイント低下しましたが、アンケートによる統計誤差の範囲であり横ばいの状態です。 （原因）年齢別では70～74歳で対前年度16.8ポイント向上し55.5%となりましたが、ほぼすべての年代で50%未満となっています。職業別では、農林水産業は9.4ポイント向上し50.7%となりましたが、自営業、会社員や公務員、パートタイマーは前回調査とほぼ変動がなく、評価が低い傾向にあります。	<table border="1"> <caption>実績値と目標値の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値 (%)</th> <th>目標値 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>44.0</td> <td>44.0</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>45.0</td> <td>45.0</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>47.9</td> <td>47.9</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>47.2</td> <td>47.2</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>47.2</td> <td>47.2</td> </tr> <tr> <td>R元</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>R02</td> <td>-</td> <td>70.0</td> </tr> </tbody> </table>				年度	実績値 (%)	目標値 (%)	H26	44.0	44.0	H27	45.0	45.0	H28	47.9	47.9	H29	47.2	47.2	H30	47.2	47.2	R元	-	-	R02	-	70.0	対前年度 目標達成度 (低)
年度	実績値 (%)	目標値 (%)																												
H26	44.0	44.0																												
H27	45.0	45.0																												
H28	47.9	47.9																												
H29	47.2	47.2																												
H30	47.2	47.2																												
R元	-	-																												
R02	-	70.0																												

指標	施策目標の達成率（％） 【企画財政課】	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対基準値																								
		17.9	17.9	10.7	100																									
評価	（状況）平成30年度時点で目標を達成している施策は28施策中3施策で、達成率は10.7%となります。昨年度から7.2ポイント低下しています。 （原因）目標を達成している施策は、「セーフティネット」「高齢者福祉」「生活衛生・環境」となっています。残る施策についても、「障がい者福祉」「上水道」「汚水処理」「防災減災体制」などが、目標達成に近い状況です。	<table border="1"> <caption>実績値と目標値の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値 (%)</th> <th>目標値 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>17.9</td> <td>17.9</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>17.9</td> <td>17.9</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>10.7</td> <td>10.7</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>10.7</td> <td>10.7</td> </tr> <tr> <td>R元</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>R02</td> <td>-</td> <td>100.0</td> </tr> </tbody> </table>				年度	実績値 (%)	目標値 (%)	H26	0.0	0.0	H27	17.9	17.9	H28	17.9	17.9	H29	10.7	10.7	H30	10.7	10.7	R元	-	-	R02	-	100.0	対前年度 目標達成度 (低)
年度	実績値 (%)	目標値 (%)																												
H26	0.0	0.0																												
H27	17.9	17.9																												
H28	17.9	17.9																												
H29	10.7	10.7																												
H30	10.7	10.7																												
R元	-	-																												
R02	-	100.0																												

# 基本事業の成果状況と評価

## 基本事業01 成果重視の行政経営の推進

指標	基本事業目標の達成率(%)	実績値(H28)	実績値(H29)	実績値(H30)	目標値(R02)	対基準値
	【企画財政課】	11.7	15.3	15.3	100	☀️ (向上)
評価	対象は、目標達成度の算出が可能な111基本事業です。					対前年度
	<p>(状況)平成30年度時点で目標を達成している基本事業は111基本事業中17基本事業で、その割合は15.3%となっています。目標を達成した基本事業の割合は横ばいです。</p> <p>(原因)昨年度までに目標を達成した基本事業で、目標を下回った事業がある一方で、「災害時支援体制の確立」「防犯設備の充実」「効率的な除排雪推進」などの基本事業が新たに目標を達成しています。</p> <p>なお、目標達成が近い基本事業が6事業(5.4%)となっています。</p>					☁️ (横ばい)

## 基本事業01 成果重視の行政経営の推進

指標	成果が順調・向上した事務事業の割合(%)	実績値(H28)	実績値(H29)	実績値(H30)	目標値(R02)	対基準値
	【企画財政課】	25.1	22.5	15.3	100	☀️ (向上)
評価	対象は、指標を設定した通常評価事業のみです。					対前年度
	<p>(状況)平成30年度で成果が順調・向上な事務事業は15.3%(83事業/541事業)で昨年度より7.2ポイント低下しています。</p> <p>(原因)「安全・安心な暮らしの実現」分野では23.7%、「子どもの育成支援の充実」分野では7.3%、「高齢者や障がい者福祉の充実」分野では13.6%、「地域経済の活性化」分野では8.7%、「生活に密着した住環境整備の促進」分野では22.7%、「市民協働の推進」分野では6.7%、「信頼される行政経営」分野では28.6%となっています。</p> <p>課題解決のための取り組みが少なく、維持・横ばいの状況が多いと考えます。</p>					☔️ (低下)

## 基本事業01 成果重視の行政経営の推進

指標	施策や事業の成果を意識して業務を行っている職員の割合(%)	実績値(H28)	実績値(H29)	実績値(H30)	目標値(R02)	対基準値
	【企画財政課】	85.7	91.7	83.6	100	☀️ (向上)
評価	基準値は、初取得の平成27年度の値					対前年度
	<p>(状況)平成30年度は83.6%で、平成29年度より8.1ポイント減少していますが、平成29年度アンケートの質問設定が異なっていたため、同様の質問設定の平成28年度との比較では2.1ポイントの減少であり、統計誤差の範囲で横ばいの状態です。</p> <p>(原因)平成29年度は否定意見にのみ追加質問を設定したことで肯定意見が大きく増えたことが、平成30年度の成果指標減少の主な要因です。</p> <p>年齢別では、35~44歳と55歳以上で11ポイント以上減少しています。職種別では技能労務職が100%を達成しています。他職種よりも現場で成果を確認しやすいことが要因と考えられます。</p>					☁️ (横ばい)

## 基本事業01 成果重視の行政経営の推進

指標	行政評価と予算・決算が連動していると感じる職員の割合(%)	実績値(H28)	実績値(H29)	実績値(H30)	目標値(R02)	対基準値
	【企画財政課】	54.0	78.0	55.5	100	☀️ (向上)
評価	基準値は、初取得の平成27年度の値					対前年度
	<p>(状況)平成30年度は78.0%で、前年度より22.5ポイント減少していますが、前年度アンケートの質問設定が異なるため、同様の質問設定の平成28年度との比較では1.0ポイントの減少で統計誤差の範囲で横ばいの状態です。</p> <p>(原因)平成29年度は否定意見のみ追加質問を設定し肯定意見が大きく増えたことが、平成30年度の成果指標減少の主な要因です。年齢別では、全年齢層で14~30ポイント減少していますが、25歳未満は72.0%である一方、45~54歳は48.7%と23.3ポイントの差があります。日常から予算管理を行う中堅以上の職員ほど連動を感じていない割合が高くなっています。</p>					☁️ (横ばい)

**基本事業02 健全な財政運営の推進**

指標	実質公債費比率（％）	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対 基準値
	【企画財政課】	13.5	12.4	10.6	13	☀ (向上)
評価	(状況)平成30年度は10.6%で、平成28年度より1.8ポイント減少し、改善しました。 (原因)元利償還金が前年比で約1億円減少したことなどによります。					対 前年度
						☀ (向上)
						目 標 達 成 度
						☀ (達成)

**基本事業02 健全な財政運営の推進**

指標	将来負担比率（％）	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対 基準値
	【企画財政課】	151.4	154.1	147.9	177.5	☀ (向上)
評価	(状況)平成30年度は147.9%で平成29年度より6.2ポイント改善しました。また、早期健全化基準の350%を大きく下回っていて、財政の健全な水準を維持しています。 (原因)標準財政規模の減額幅は平成29年度比約1億円にとどまり、充当可能基金残高が約6.5億円増加したことから改善したものです。					対 前年度
						☁ (横ばい)
						目 標 達 成 度
						☀ (達成)

**基本事業02 健全な財政運営の推進**

指標	財政調整基金残高（千円）	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対 基準値
	【企画財政課】	1,961,099	1,961,289	1,961,491	2,100,000	☁ (横ばい)
評価	(状況)平成30年度は1,961,491千円で、平成29年度に比べて202千円増加しました。 (原因)平成30年度においても引き続き、総合計画等に掲げた目標値を達成するための積極的な予算編成を行い、前年度比で増額となりましたが、税収や普通交付税が予算よりも上振れしたことなどにより財源を確保したため、財政調整基金の取り崩しを行いませんでした。					対 前年度
						☁ (横ばい)
						目 標 達 成 度
						■ (中)

**基本事業03 組織・人事マネジメントの充実**

指標	職員数（人）	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対 基準値
	【総務課】	476	472	469	467	☀ (向上)
評価	(状況)平成30年度は469名で、平成29年度より0.6ポイント減少（3名減）、総合計画基準値との比較では3.9ポイント減少（19名減）となりました。目標達成に向け順調に推移しています。 (原因)退職者数と新規採用者及び再任用者数の調整が円滑に行えたことが要因です。					対 前年度
						☀ (向上)
						目 標 達 成 度
						■ (中)

### 基本事業03 組織・人事マネジメントの充実

指標	市の職員がそれぞれの職責を果たしていると感じる職員の割合（％） 【総務課】	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対基準値
	基準値は、初取得の平成27年度の値	86.3	89.9	90.4	100	☀️ (向上)
評価	(状況)平成30年度は90.4%で、平成29年度より0.5ポイント向上しました。 (原因)35歳から54歳までの階層でやや低い傾向となっている一方、25歳未満と55歳以上の階層では高い傾向となっています。約90%の職員が概ね職責を果たしていると認識していますが、職員により事務量の差があるとの意見があることから、事務量を調査・分析して平準化していく必要があります。					対前年度 ☁️ (横ばい)
						目標達成度 ■ ■ ■ (低)

### 基本事業03 組織・人事マネジメントの充実

指標	組織間・組織内連携が十分に図られていると感じる職員の割合（％） 【総務課】	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対基準値
	基準値は、初取得の平成27年度の値	53.5	70.5	54.0	75	☁️ (横ばい)
評価	(状況)平成30年度は54.0%で、平成29年度より16.5ポイント低下しました。 (原因)年齢別では25歳未満の階層は80.0%と高い傾向ですが、25歳以上の階層になると50%前後に大きく低下します。課を越えた連携は必要と認識しながらも仕事の押付け合いになることが懸念されるという意見もあります。これまでの業務を見直して効率化を図ること、業務の偏りをなくすよう調整が必要と思われる。					対前年度 ☔️ (低下)
						目標達成度 ■ ■ ■ (低)

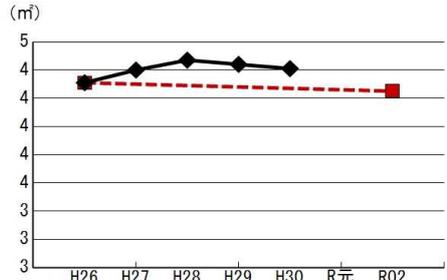
### 基本事業03 組織・人事マネジメントの充実

指標	組織・職員が市民・地域の問題や行政課題に関し、迅速かつ適切に対応・解決できていると感じる職員の割合（％） 【総務課】	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対基準値
	基準値は、初取得の平成27年度の値	76.1	84.6	72.8	80	☀️ (向上)
評価	(状況)平成30年度は72.8%で、平成29年度より11.8ポイント低下しました。 (原因)7割強の職員が市民・地域の問題や行政課題に対し、迅速かつ適切に対応・解決できていると感じていますが、内容が複雑で早期の解決が難しい案件が多く、解決に要する時間が増大し、人員不足となっているという意見があることから適正な人員配置に努めていく必要があります。					対前年度 ☔️ (低下)
						目標達成度 ■ ■ ■ (低)

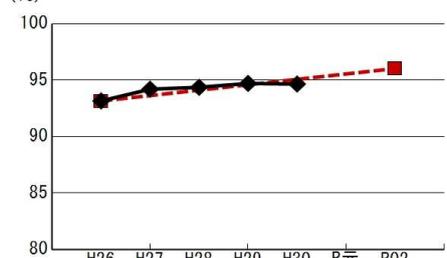
### 基本事業03 組織・人事マネジメントの充実

指標	適材適所な人材が配置されていると感じる職員の割合（％） 【総務課】	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対基準値
	基準値は、初取得の平成27年度の値	49.6	67.5	55.0	70	☀️ (向上)
評価	(状況)平成30年度は55.0%で、平成29年度より12.5ポイント低下しています。目標値の達成には更なる努力が必要です。 (原因)男女別では男性が、年齢別では35歳から44歳までの職員が、適材適所な人材が配置されていないと思う傾向が高くなっています。専門的な知識が必要な部署では、平均年齢が高いためその経験を継承できないという懸念もあることから、年代も考慮した人事異動を行っていく必要があります。					対前年度 ☔️ (低下)
						目標達成度 ■ ■ ■ (低)

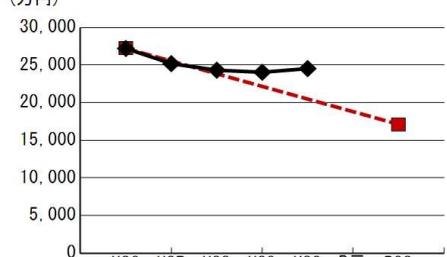
**基本事業04 公共施設等のマネジメントの推進**

指標	市民1人当たりの公共施設等延床面積 (m <sup>2</sup> )	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対基準値
	【管財課】	4.47	4.44	4.41	4.25	 (横ばい)
評価	(状況)平成30年度は4.41m <sup>2</sup> で、平成29年度に比べて0.03m <sup>2</sup> 減少しています。 (原因)ティールセンターわかばの里、旧白鳥ルームの用途廃止、旧安田学校給食センターの解体等によりトータル 4,315.79m <sup>2</sup> の面積減となりましたが、人口減少(昨年比 634人)があり、市民1人当たりの公共施設等延床面積が微減に留まったことが原因です。					対前年度
						 (横ばい)
						目標達成度
						 (低)

**基本事業05 自主財源の確保**

指標	市税収納率 (%)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対基準値
	【税務課】	94.36	94.70	94.65	96.02	 (向上)
評価	確定値は6月上旬					対前年度
	(状況)平成30年度は94.65%で、対前年度で0.1ポイント減少しているものの、総合計画基準値からは1.5ポイント向上しており、現時点では、ほぼ順調です。 (原因)現年度分の収納状況では、固定資産税及び軽自動車税を除き概ね各税目とも昨年度より向上していますが、滞納繰越分では殆んど低下しているところ。収納率が低下しているのは、各税目の滞納繰越分の収納率低下が大きく影響しているところがその主な要因です。					 (低下)
						目標達成度
						 (低)

**基本事業05 自主財源の確保**

指標	市税滞納額 (万円)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対基準値
	【税務課】	24,317	24,047	24,529	17,126	 (向上)
評価	確定値は6月上旬					対前年度
	(状況)平成30年度は24,529万円で対前年に比べては2.0%低下、総合計画基準値からは9.8%向上していますが、目標に向かっては圧縮幅が僅少化しています。 (原因)滞納繰越分の収納率の低下及び徴収不可能な債権の滞納整理の進捗遅延が主な要因です。					 (低下)
						目標達成度
						 (低)



政策 07 信頼される行政経営

施策 02 適切な事務執行とサービス提供

あるべき姿

職員が適切な事務執行を行い、行政サービスが提供されています。

施策の成果状況と評価

指標	適正な事務処理がされず市民に影響を与えた件数（件）	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対基準値
		【総務課】	0	1	1	0
評価	(状況) 平成30年度は1件で、選挙事務(投開票事務)において不適正な事務処理が発生しました。 (原因) 投票事務に従事する職員が当日投票者数に不在者投票者数を二重計上したもので、数値の確認不足が原因です。					対前年度
						目標達成度
						■ (低)

指標	事務執行や行政サービスに満足している市民の割合（％）	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対基準値
		【総務課】	85.1	84.0	83.1	90
評価	基準値は、初取得の平成27年度の値					対前年度
	(状況) 平成30年度は83.1%で、前回調査より0.9ポイント低下しています。 (原因) 「満足」が4.6%、「やや満足」が12.0%、「ふつう」が66.9%となっており、前回調査との比較で、「満足」と「ふつう」が横ばい、「やや満足」が0.5ポイント低下、平成29年度から微減で推移しています。地区別でもすべての地区で満足度が低下していることからより良い行政サービスを行っていくことが必要です。					
						目標達成度
						■ (低)

# 基本事業の成果状況と評価

## 基本事業01 情報の適切な管理

指標	情報漏えい件数（件）	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対基準値
	【総務課】	0	0	0	0	☀ (向上)
評価	(状況) 平成30年度は0件で、総合計画開始以降、情報が漏えいした案件はありません。 (原因) 各部署において、適正な事務処理に努めている成果と考えられます。					対前年度 ☀ (向上)
						目標達成度 🏠 (達成)

## 基本事業02 出納事務の適正執行

指標	会計事務処理の事故件数（件）	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対基準値
	【会計課】	0	0	0	0	☀ (向上)
評価	(状況) 平成30年度は0件で、適正に事務処理を行っています。前年度と同様に、会計事務処理において事故はありませんでした。 (原因) 法令等に基づき、適正な事務処理に努めている成果と考えられます。執行部署、財政部門、会計課の各プロセス毎の複数回チェックをしているので事務処理の事故が起きていないと考えられます。					対前年度 ☀ (向上)
						目標達成度 🏠 (達成)

## 基本事業03 積極的な選挙啓発と適正な選挙事務の執行

指標	国政選挙投票率（％）	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対基準値
	【市民生活課】	60.05	64.28	-	56.5	(比較不可)
評価	(状況) 平成30年度は国政選挙はありませんでした。					対前年度 (比較不可)
						目標達成度 (---)

## 基本事業03 積極的な選挙啓発と適正な選挙事務の執行

指標	県政選挙投票率（％）	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対基準値
	【市民生活課】	65.92	-	61.40	69.6	☁ (横ばい)
評価	基準値は、平成24年度県政選挙の投票率 (状況) 平成30年の新潟県知事選挙の投票率は、61.40%となり、2年前の同選挙と比較して4.52ポイントの低下でした。 (原因) 選挙の投票率は、その時の社会情勢にも影響されるので、一概に言えませんが、前回の知事選は市議会議員選挙と同時であったことが要因の一つと考えられます。					対前年度 ☁ (横ばい)
						目標達成度 ■■ (低)

**基本事業03 積極的な選挙啓発と適正な選挙事務の執行**

指標	市政選挙投票率（％）	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対基準値
		【市民生活課】	54.71	-	-	70.6
評価	基準値は、平成24年度市政選挙の投票率					(比較不可)
	(状況)平成30年度は市政選挙はありませんでした。					対前年度
		(比較不可)				
		目標達成度				
		(低)				

**基本事業03 積極的な選挙啓発と適正な選挙事務の執行**

指標	選挙事務上の事故件数（件）	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対基準値
		【市民生活課】	0	1	1	0
評価	(状況)平成30年度の新潟県知事選挙において、選挙事務上の事故が1件発生しました。					(横ばい)
	(原因)当日投票者数に不在者投票者数を二重計上した案件があり、数値の確認不足が原因と考えます。					対前年度
		(横ばい)				
		目標達成度				
		(低)				

**基本事業04 迅速・確実な窓口サービスの提供**

指標	窓口の職員対応に満足している市民の割合（％）	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対基準値
		【総務課】	91.7	91.3	91.6	95
評価	基準値は、初取得の平成27年度の値					(横ばい)
	(状況)平成30年度は91.6%で、前回調査より0.3ポイント向上しましたが、統計誤差の範囲であり、ほぼ横ばいです。					対前年度
	(原因)「満足」が32.2%、「やや満足」が18.6%、「ふつう」が40.8%となっており、前回調査との比較で、「満足」が2.2ポイント、「やや満足」が0.1ポイント低下しました。迅速、確実に事務処理ができるように事務処理マニュアルを整備し対応した結果、ふつう以上の評価を得ていますが、今後はより親切、丁寧な対応で満足度を上げていく必要があります。	(横ばい)				
		目標達成度				
		(低)				

**基本事業04 迅速・確実な窓口サービスの提供**

指標	窓口業務での不適切な事務処理を行った件数（総紀委員会の指摘件数）（件）	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対基準値
		【総務課】	0	0	0	0
評価	(状況)平成30年度は0件で、総合計画開始以降、0件を維持しており、順調となっています。前年度と同様に、窓口業務で不適切な事務処理を行った案件は、ありませんでした。					(横ばい)
	(原因)各窓口において、適切な事務処理に努めている成果と考えられます。					対前年度
		(横ばい)				
		目標達成度				
		(達成)				

### 基本事業05 監査事務の適正執行

指標	監査事務処理の事故件数（件）	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対 基準値
	【監査委員事務局】	0	0	0	0	☀ (向上)
評価	<p>(状況) 前年度と同様に、監査事務処理において事故はありませんでした。</p> <p>(原因) 法令等に基づき、適正な事務処理に努めている成果と考えられます。</p>					対 前年度
						☀ (向上)
						目 標 達成度
						☀ (達成)

### 基本事業06 議会事務の適正執行

指標	議会事務処理の事故件数（件）	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対 基準値
	【議会事務局】	0	0	0	0	☀ (向上)
評価	<p>(状況) 平成29年度は0件で、総合計画開始以降、0件を維持しており、順調となっています。</p> <p>(原因) 適正な事務処理に努めている成果と考えられます</p>					対 前年度
						☀ (向上)
						目 標 達成度
						☀ (達成)

### 基本事業07 ITの適切な管理

指標	システムダウン件数（件）	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対 基準値
	【総務課】	0	0	0	0	☀ (向上)
評価	<p>(状況) 平成30年度は0件で、総合計画開始以降、0件を維持しており、順調となっています。前年度と同様に、電算システムがダウンした案件は、ありませんでした。</p> <p>(原因) 定期的にシステム及び機器のメンテナンス作業を実施するなどして、適正な管理に努めている成果と考えられます。</p>					対 前年度
						☀ (向上)
						目 標 達成度
						☀ (達成)

### 基本事業07 ITの適切な管理

指標	ウイルス感染件数（ウイルス対策ソフトで駆除されたものは除く。） （件）	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	対 基準値
	【総務課】	0	0	0	0	☀ (向上)
評価	<p>(状況) 平成30年度は0件で、総合計画開始以降、0件を維持しており、順調となっています。前年度と同様に、ウイルスに感染した案件は、ありませんでした。</p> <p>(原因) 常時ウイルス検知ソフト・機器により監視するなど、適正な管理に努めている成果と考えられます。</p>					対 前年度
						☀ (向上)
						目 標 達成度
						☀ (達成)